年報 37(令和 6 年度版)

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

目次

令和6年度1年間のあゆみ ---------- 1
令和6年度のトピック ---------- 2
千葉県立中央博物館の概要(令和6年度) ---------- 3

Ⅰ 資料収集・整理保存
第1 本館
1 資料の登録 ---------- 6
2 資料の収集 ---------- 7
3 資料の寄託・仮保管・借用 ---------- 8
4 資料の利用 ---------- 11
5 保存環境の整備等 ---------- 15
6 図書の利用 ---------- 15
第2 大利根分館
1 資料の登録 ---------- 16
2 資料の収集 ---------- 16
3 資料の寄託・借用 ---------- 16
4 資料の利用 ---------- 16
第3 大多喜城分館
1 資料の登録 ---------- 17
2 資料の収集 ---------- 17
3 資料の寄託・借用 ---------- 17
4 資料の利用 ---------- 18
第4 分館海の博物館
1 資料の登録 ---------- 20
2 資料の収集 ---------- 20
3 資料の利用 ---------- 21
4 保存環境の整備等 ---------- 21

Ⅱ 調査研究
第1 本館
1 研究課題 ---------- 22
2 外部資金等による研究 ---------- 33
3 研究成果の公表・周知 ---------- 35
4 研究員の執筆・研究発表 ---------- 36
5 研究交流 ---------- 45
第2 大利根分館
1 研究課題 ---------- 50
2 外部資金等による研究 ---------- 50
3 研究員の執筆・研究発表 ---------- 50
4 研究交流 ---------- 50
第3 大多喜城分館
1 研究課題 ---------- 51
2 外部資金等による研究 ---------- 51
3 研究員の執筆・研究発表 ---------- 51
4 研究交流 ---------- 51
第4 分館海の博物館
1 研究課題 ---------- 52
2 外部資金等による研究 ---------- 53
3 研究成果の公表・周知 ---------- 53
4 研究員の執筆・研究発表 ---------- 54
5 研究交流 ---------- 56

Ⅲ 展示
第1 本館
1 常設展示 ---------- 58
2 野外展示(生態園) ---------- 58
3 特別展 ---------- 59
4 季節展 ---------- 62
5 生態園トピックス展 ---------- 66
6 トピックス展 ---------- 67
7 その他の展示 ---------- 70
8 出前展示 ---------- 70
第2 大利根分館
1 出前展示 ---------- 71
第3 大多喜城分館
1 常設展示 ---------- 72
2 企画展 ---------- 72
3 テーマ展示 ---------- 72
第4 分館海の博物館
1 常設展示 ---------- 73
2 マリンサイエンスギャラリー ---------- 73
3 収蔵資料展 ---------- 74
4 その他の展示 ---------- 75

Ⅳ 教育普及
第1 本館
1 展示観覧支援 ---------- 76
2 講座・観察会等の開催 ---------- 80
3 アウトリーチ支援 ---------- 84
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等 ---------- 89
5 県民参画 ---------- 90
6 外部機関との協定等 ---------- 93
第2 大利根分館
1 展示観覧支援 ---------- 95
2 講座・観察会等の開催 ---------- 95
3 アウトリーチ支援 ---------- 95
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等 ---------- 95
5 県民参画 ---------- 95
第3 大多喜城分館
1 展示観覧支援 ---------- 96
2 講座・観察会等の開催 ---------- 96
3 アウトリーチ支援 ---------- 96
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等 ---------- 96
5 県民参画 ---------- 96
第4 分館海の博物館
1 展示観覧支援 ---------- 97
2 講座・観察会等の開催 ---------- 97
3 アウトリーチ支援 ---------- 99
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等 ---------- 100

Ⅴ 情報発信
1 出版物・印刷物の発行 ---------- 101
2 インターネットの活用 ---------- 102
3 マスコミ等の活用 ---------- 104
4 郵メンバー ---------- 110

Ⅵ　施設維持保守
1　施設維持保守工事　----------111
Ⅶ　千葉県立博物館ネットワーク
1　千葉県立博物館情報システム　----------112
2　千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」　---112

Ⅷ　入館者状況
1　月別入館者数　----------113
2　団体入館状況　----------115
3　団体の種類・地域内訳　----------117

Ⅸ　組織・運営
1　千葉県博物館協議会　----------119
2　職員　----------119
3　分掌　----------120
4　運営推進チーム・委員会・専門グループ・
　プロジェクトチーム　----------120
5　利用方法　----------120

令和６年度１年間のあゆみ

（令和５年度から継続）

令和５年度春の展示「理科室のタイムマシン　学校標本」（～5 月 12 日）【本館】
トピックス展「生命(いのち)のにぎわい　生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
（～5 月 6 日）【本館】
生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」（～7 月 7 日）【本館(生態園)】
出張展示「伝馬船模型展示」（令和４年７月５日～当面の間）
【大利根分館/会場　千葉県香取地域振興事務所合同庁舎】
研修館展示「大多喜城と城下町」【大多喜城分館/研修館】（令和３年３月 14 日～当分の間）
マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ２　-ノリの世界-」（～5 月 6 日）【分館海の博物館】

令和６(2024)年

４月	１日	（月）	本館への機能集約のため休館【大利根分館】
			施設改修のため一部休館、研修館展示「大多喜城と城下町」【大多喜城分館】
６月	８日	（土）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」（～7 月 15 日）【本館】
６月	15 日	（土）	施設無料開放(千葉県民の日)
７月	13 日	（土）	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」（～9 月 1 日）【分館海の博物館】
７月	27 日	（土）	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」（～9 月 29 日）【本館】
８月	２日	（金）	第１回千葉県博物館協議会【本館】
８月	３日	（土）	ミニトピックス展「周期ゼミの秘密」（～9 月 1 日）【本館】
10 月	12 日	（土）	秋の展示「二口善雄植物画展」（～11 月 24 日）【本館】
10 月	16 日	（水）	生態園トピックス展　房総のミニチュア「生態園」関連展示「生態園の地衣類」
			（～12 月 22 日）【本館(生態園)】
10 月	19 日	（土）	トピックス展示「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」（～11 月 17 日）【本館】
11 月	３日	（日・祝）	施設無料開放(文化の日)
			自然誌フェスターみんなで楽しむちばの自然と歴史－
12 月	21 日	（土）	トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～
			―公益財団法人千葉県教育振興財団設立 50 周年記念展 part1―」（～2 月 9 日）【本館】
12 月	24 日	（火）	トピックス展「十二支にちなんで－巳年－」（～1 月 26 日）【本館】

令和７(2025)年

１月	24 日	（金）	第２回千葉県博物館協議会【本館】
２月	１日	（土）	トピックス展「神社の屋根より絵馬出づる～富津市三柱神社の修復工事より～」
			（～3 月 16 日）【本館】
			生態園トピックス展　房総のミニチュア「生態園」関連展示
			「生態園からはじめる房総の自然観察」（～6 月 29 日）【本館(生態園)】
２月	８日	（土）	千葉学講座【本館】
２月	22 日	（土）	千葉学講座【本館】
			春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの 35 年～」
			（～6 月 8 日）【本館】
			マリンサイエンスギャラリー「超深海」（～5 月 11 日）【分館海の博物館】
３月	11 日	（火）	第３回千葉県博物館協議会【本館】
			トピックス展「生命(いのち)のにぎわい」写真展(～5 月 6 日)【本館】
３月	18 日	（火）	トピックス展「世界最大級の花、ショクダイオオコンニャク」（～6 月 15 日）【本館】
３月	25 日	（火）	海の生きもの観察ノート 19「新　磯でみられるエビ・ヤドカリ・カニ」発行【分館海の博物館】

令和６年度のトピック

本館は、特別展「万祝博覧会－海をまとう－」(7 月 27 日～9 月 29 日)を開催。青森から静岡まで各地域に残る漁師の祝い着「万祝」を展示し、漁師の文化、染色工芸、デザイン、美術など、様々な視点から「万祝」の魅力を紹介した。また、文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」(6 月 8 日～7 月 15 日)を開催。当館オリジナルコーナー「地域展」では、令和 3 年度に寄贈された千葉県指定有形文化財「半円方格帯神獣鏡」(大多喜 台古墳群鏡)を初公開。県内各地の貴重な出土品とあわせて展示を行い、歴史的な重要性について紹介した。

季節展では、秋の展示「二口善雄植物画展」(10 月 12 日～11 月 24 日)」を開催。当館で所蔵する日本最大の二口善雄コレクションから約 200 点の作品とともに、千葉県鎌ケ谷市にあったアトリエでの制作風景写真、作品が掲載された図鑑等を紹介した。また、春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの 35 年～」(2 月 22 日～6 月 8 日)では、開園から 35 年が経ち森らしく成長した生態園を、造り、守り、育て、調べ続けてきた研究員たちの、時に地道、時にユニークな活動とその成果を、標本、写真、調査風景の再現ジオラマや研究員の等身大パネル等で視覚的に楽しく紹介した。

トピックス展は、アメリカで採集した 13 年周期、17 年周期で発生する「周期ゼミ」の標本を紹介した「周期ゼミの秘密」(8 月 3 日～ 9 月 1 日)や、香取郡神崎町で醸造業を営む寺田家の二十代当主寺田憲と文人たちの交流の様子を紹介した「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」(10 月 19 日～11 月 17 日)などを開催した。また、千葉県教育振興財団 50 周年を記念した巡回展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～ －公益財団法人千葉県教育振興財団設立 50 周年記念展 part1－」(12 月 21 日～2 月 9 日)は、設立からこれまで積み重ねた発掘調査の実績と考古学上の成果を総括し、将来にわたって公益に資する事業を継続していくことを紹介するもので、本館に加えて房総のむら風土記の丘資料館においても展示された。

生態園は生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」(2 月 20 日～7 月 7 日)、「生態園の地衣類」(10 月 16 日～12 月 22 日)、「春の展示関連展示 生態園からはじめる房総の自然観察」(2 月 1 日～6 月 29 日)を開催。また、11 月 3 日に体験イベント「生態園でツリーラリー」を開催したほか、「森の調査隊(個人向け)(12 回)」、「生態園観察会(3 回)」を実施した。房総のフィールド・ミュージアムでは、君津市立清和小学校で「清和小教室博物館」を延べ 24 日間開館したほか、11 月 9 日～10 日には「第 52 回清和地区文化祭」に出展した。文化祭では、清和小学校児童と共同制作した「清和小生きもの図鑑」を展示した。野外行事としては「のんびり観察会(4 回)」、「東京大学千葉演習林連携事業 夏の山の昆虫」を開催した。また、麻賀多神社(成田市台方)を取り上げた観察ガイドマップ「自然と文化 案内帖」を作成し、ホームページ掲載した。

大利根分館は令和 5 年度に寄贈を受けた「寺田家資料」を、ミニトピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」として、本館で展示した。国の登録有形民俗文化財に登録される「利根川中下流域の川船および関連用具」の紹介として、3 月 1 日から本館のエントランスで利根川高瀬船の模型を公開している。

大多喜城分館は令和 3 年度から一部休館中であり、見学者への配慮と地域の観光拠点の振興のため、研修館を活用しパネル展「大多喜城と城下町」(令和 3 年 3 月 14 日～)を開催している。

分館海の博物館では、7 月 13 日～9 月 1 日に夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」を開催した。千葉県勝浦市の磯で見られる様々な魚類や甲殻類、棘皮動物などを生きた状態でじっくり観察できるよう、多数の水槽を並べて展示した。開催期間中に博物館利用者から提供のあった生きものも随時追加した。2 月 22 日からはマリンサイエンスギャラリー「超深海」を開催した。超深海とは水深 6,000 メートルより深い海のことで、海の博物館職員が参加したこれまでの調査の様子や、調査で収集されたエビやナマコ、魚類など、約 60 種におよぶ標本を紹介した。また、シリーズで発行している「海の生きもの観察ノート」の第 19 号として、「新　磯でみられるエビ・ヤドカリ・カニ」を発行した。

千葉県立中央博物館の概要(令和６年度)

1　使　命

千葉県立中央博物館は、地域の市民と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示その他全ての博物館活動を通して県民や社会へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的総合博物館として、さまざまな市民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2　場　所

(1)本館　千葉市中央区青葉町 955-2(県立青葉の森公園内)
(2)大利根分館　香取市佐原ハ 4500
(3)大多喜城分館　夷隅郡大多喜町大多喜 481
(4)分館海の博物館　勝浦市吉尾 123

3　機関設置

(1)本館　平成元年１月 11 日(同年２月７日　一般公開)
(2)大利根分館　平成 18 年４月１日分館化　令和４年６月 19 日から休館
(大利根博物館　昭和 54 年４月１日機関設置　同年 11 月 21 日一般公開)
(3)大多喜城分館　平成 18 年４月１日分館化　令和３年 12 月 27 日から休館
(総南博物館　昭和 50 年４月１日機関設置　同年９月 10 日一般公開)
(4)分館海の博物館　平成 11 年３月 12 日(同日　一般公開)
※平成４年３月 30 日文部省科学研究費補助取扱規定に基づく研究機関指定)

4　施　設

(1)本館　敷地面積　13,178 ㎡
建物延床面積　15,254 ㎡
(展示室面積 4,291 ㎡/収蔵庫面積 3,591 ㎡/研究・管理部門 6,812 ㎡)
生態園　敷地面積　66,000 ㎡
建物延床面積　758 ㎡
(2)大利根分館　敷地面積　13,195 ㎡
建物延床面積　1,751 ㎡(展示室 536 ㎡/収蔵庫 254 ㎡)
(3)大多喜城分館　敷地面積　5,673 ㎡
建物延床面積　1,953 ㎡
(展示室 657 ㎡/収蔵庫 311 ㎡/研修室 247 ㎡等)
(4)分館海の博物館　敷地面積　7,161 ㎡
建物延床面積　7,696 ㎡(本館棟 3,919 ㎡/駐車場 3,694 ㎡等)

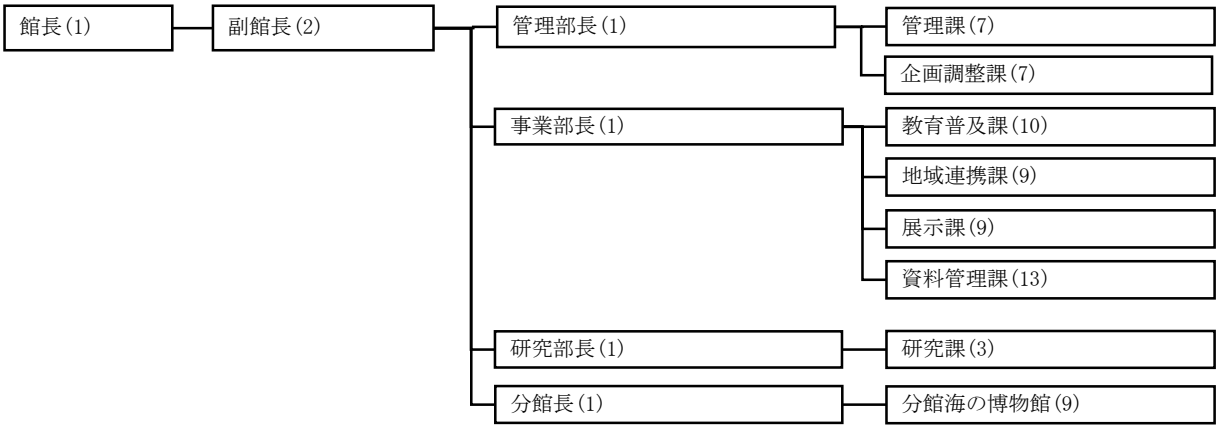
5　組　織

(1)　職員数　72 名(うち、再任用 16 名)

区分	行政職	研究職	計
本　　館	13 名(1 名)	45 名(11 名)	58 名
大 利 根 分 館	0 名	2 名(0 名)	2 名
大 多 喜 城 分 館	0 名	2 名(2 名)	2 名
分館海の博物館	3 名(1 名)	7 名(1 名)	10 名
計	16 名(2 名)	56 名(14 名)	72 名

(注)自然保護課千葉県生物多様性センター兼務職員１名、文化振興課兼務職員２名を含む。
(　)内は再任用。

(2)組織図



(3)博士号取得者数

理学	農学	水産学	学術	文学	生物資源科学	工学	合計
15名	3名	2名	4名	1名	1名	1名	27名

6　予　算

	令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	増減(千円)
本館	279,238	270,444	8,794
大利根分館	26,248	29,126	△2,878
大多喜城分館	44,744	33,698	11,046
分館海の博物館	270,007	93,075	176,932
合　計	620,237	426,343	193,894

7　常設展示の構成

(1)本　館　　房総の自然と人間
　　房総の自然誌(房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室)
　　房総の歴史
　　自然と人間のかかわり
　　体験学習室
　生態園　　房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
(2)大利根分館　　利根川の自然と歴史、千葉県の農業
(3)大多喜城分館　　房総の城と城下町
(4)分館海の博物館　　房総半島の海の自然
　　房総の海
　　さまざまな海の姿
　　博物館をとりまく自然
　　海と遊ぼう

8　収蔵資料点数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
本館	1,141,155点	1,120,438点	1,106,797点
大利根分館	17,191点	16,570点	18,535点
大多喜城分館	2,848点	2,856点	2,858点
分館海の博物館	78,168点	76,762点	75,361点
合　　計	1,239,362点	1,216,626点	1,203,551点

9　入館者数

(1)令和6年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	98,277 人	22,066 人	10,170,820 円
大利根分館	0 人	0 人	0 円
大多喜城分館	45,545 人	0 人	0 円
分館海の博物館	78,630 人	32,687 人	8,012,260 円
合　　計	222,452 人	54,753 人	18,183,080 円

(2)令和5年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	96,381 人	21,659 人	9,988,620 円
大利根分館	0 人	0 人	0 円
大多喜城分館	39,550 人	0 人	0 円
分館海の博物館	60,118 人	30,158 人	5,851,900 円
合　　計	196,049 人	51,817 人	15,840,520 円

(3)令和4年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	108,754 人	23,766 人	12,707,710 円
大利根分館	1,855 人	547 人	111,700 円
大多喜城分館	38,530 人	0 人	0 円
分館海の博物館	58,531 人	28,968 人	5,634,520 円
合　　計	207,670 人	53,281 人	18,453,930 円

10　令和6年度主要展示事業

(1)本館

ア　特別展

・文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」
令和6年6月8日(土)～7月15日(日)
・特別展「万祝博覧会－海をまとう－」
令和6年7月27日(土)～9月29日(日)

イ　季節展示等

・春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」
令和6年3月9日(土)～5月12日(日)
・秋の展示「二口善雄植物画展」
令和6年10月12日(土)～11月24日(日)
・春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの35年」
令和7年2月22日(土)～令和7年6月8日(日)
・トピックス展「生命のにぎわい　生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
令和6年3月5日(火)～5月6日(月・休)
・トピックス展「周期ゼミの秘密」
令和6年8月3日(土)～9月1日(日)
・トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」
令和6年10月19日(土)～11月17日(日)
・トピックス展「地中からのメッセージ　～旧石器・縄文・弥生～」
令和6年12月21日(土)～令和7年2 月9日(日)
・トピックス展「十二支にちなんで－巳年－」
令和6年12月24日(火)～令和6年1月26日(日)
・トピックス展「利根川高瀬船フォトアルバム」
令和7年1月29日(水)～3月16日(日)
・トピックス展「神社の屋根より絵馬出づる～富津市三柱神社の修復工事より～」
令和7年2月1日(土)～3月16日(日)
・トピックス展「生命のにぎわい　生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
令和7年3月11日(火)～5月6日(火・休)
・トピックス展「世界最大級の花、ショクダイオオコンニャク」
令和7年3月18日(火)～6月15日(日)

ウ　生態園トピックス展

・生態園の野鳥たち
令和6年2月20日(火)～7月7日(日)
・生態園の地衣類
令和6年10月16日(水)～12月22日(日)
・生態園からはじめる房総の自然観察
令和7年2月1日(土)～6月29日(日)

(2)分館海の博物館

・マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2 －ノリの世界－」
令和6年2月23日(金・祝)～5月6日(月・休)
・令和6年度収蔵資料展「勝浦・磯の生きものミニ水族館」
令和6年7月13日(土)～9月1日(日)
・マリンサイエンスギャラリー「超深海」
令和7年2月22日(土)～5月11日(日)

Ⅰ　資料収集・整理保存

第１　本館

1　資料の登録

(1)資料の登録・情報システムの登録　　（令和７年３月 31 日現在）

分　野		年間増加	総登録点数	情報システム総点数
動物資料	哺乳類	1	5,436	685
	鳥類	1	1,675	522
	魚類	447	24,104	23,989
	両生類・爬虫類	0	2,057	0
	昆虫	1,778	207,681	140,244
	甲殻類	176	17,975	16,672
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	11	719	571
	クモ類	110	1,573	237
	軟体動物	1,450	85,487	2,507
	多毛類	0	1,127	2
	その他無脊椎動物	35	111	37
	小計	4,009	347,945	185,466
植物・菌類資料	維管束植物	6,464	412,428	177,348
	蘚苔類	0	42,883	6,899
	藻類	0	6,110	3,484
	植物資料小計	6,464	461,421	187,731
	地衣類	1,334	30,752	6,206
	担子菌類	5	26,493	6,265
	子嚢菌類他	41	3,143	190
	変形菌類	0	191	2
	菌類資料小計	1,380	60,579	12,663
	小計	7,844	522,000	200,394
地学資料	岩石・鉱物※1	384	21,116	21,358
	地層(はぎとりなど)	0	27	23
	植物化石	0	210	207
	軟体動物化石	269	7,668	7,668
	その他無脊椎動物化石	63	4,077	2,469
	微化石	0	436	436
	脊椎動物化石	0	8,399	8,329
	地学景観画像	0	279	280
	その他	0	821	0
	小計	716	43,033	40,770
	自然誌資料合計	12,569	912,978	426,630
人文資料	美術工芸品	－	－	573
	文献資料	－	－	1,597
	考古資料	－	－	3,065
	歴史資料	－	－	160
	民俗資料	－	－	85
	絵はがき	－	－	15,386
	古写真	－	－	4,177
	その他	－	－	1,530
	人文資料合計	140	60,819	26,573
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	－
	生態・環境にかかわる映像資料	0	2,042	－
	環境教育資料	0	8	－
	小計	0	3,918	－
特殊資料・貴重書	リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	0
	その他稀覯本	6,416	6,466	129

分　野		年間増加	総登録点数	情報システム総点数
	小計	6,416	11,863	129
図書資料	図書(冊数)	128	55,800	22,253
	雑誌(冊数)	1,468	95,777	－
	雑誌(誌数)※2	31	5,087	2
	小計	1,596	151,577	22,255
合　計		20,721	1,141,155	475,585

※1 岩石・鉱物の情報システム総点数が総登録点数より多いのは、情報システムで参考レコードを作成した分が増えたため。
※2 雑誌(誌数)は、年間増加分・総登録点数には含めない。

(2)タイプ標本(ホロタイプ)の登録

分　野		収蔵数
動物資料	哺乳類	0
	鳥類	0
	魚類	6
	両生類・爬虫類	0
	昆虫	322
	甲殻類	215
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	20
	クモ類	6
	軟体動物	4
	多毛類	21
	緩歩動物門、有爪動物門	3
	その他無脊椎動物	0
	小計	597
植物・菌類資料	維管束植物	5
	蘚苔類	6
	藻類	1
	植物資料小計	12
	地衣類	104
	担子菌類	26
	子嚢菌類他	48
	不完全菌類	4
	接合菌類	0
	変形菌類	0
	菌類資料小計	182
	小計	194
地学資料	植物化石	0
	軟体動物化石	11
	その他無脊椎動物化石	8
	微化石	0
	脊椎動物化石	4
	小計	23
合　計		814

2　資料の収集

(1)収集点数

種別	点数
購入	0
製作委託	0
寄附	803
保管換え	597
館員による収集	12,529

種別	点数
寄託	25
仮保管	0
借用(長期)	0
合　計	13,954

※寄託・仮保管・借用は、新規受入・返却の変更があった増減を計上

(2)内訳

ア　寄附

資料系	資料名	点数	寄贈者
動物資料	ヤマドリ	1	個人
動物資料	枝重夫トンボコレクション	1	個人
地学資料	象牙(アフリカゾウ切歯)	2	個人
人文資料	太刀	1	個人
人文資料	文机、短歌雑誌、画帖	11	個人
人文資料	行商身分証明書	2	個人
人文資料	書籍『蘇峰随筆愛書五十年』	1	個人
人文資料	永野一枝氏甲冑関係資料	32	個人
貴重書	大野徹三植物スケッチ集	752	個人

イ　保管替え

資料系	資料名	点数	寄贈者
動物資料 植物資料 地学資料	旧千葉県薬草園生薬標本コレクション	562	千葉県健康福祉部薬務課
人文資料	柳田國男関係資料	35	千葉県立中央図書館

ウ　館員による収集等

資料系	資料名	点数	収集者
動物資料	哺乳類	0	館員
	鳥類	0	館員
	魚類	447	館員
	両生類・爬虫類	0	館員
	昆虫	1,778	館員
	甲殻類	176	館員
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	11	館員
	クモ類	110	館員
	軟体動物	1,450	館員
	多毛類	0	館員
	その他無脊椎動物	35	館員
植物・菌類資料	維管束植物	6,464	館員
	蘚苔類	0	館員
	藻類	0	館員
	地衣類	1,334	館員
	担子菌類	5	館員
	子嚢菌類他	41	館員
	変形菌類	0	館員
地学資料	岩石・鉱物	384	館員
	地層	0	館員
	植物化石	0	館員
	軟体動物化石	269	館員
	その他無脊椎動物化石	21	館員
	微化石	0	館員
	脊椎動物化石	0	館員
	地学景観画像	0	館員
	その他	0	館員
人文資料		4	館員

3　資料の寄託・仮保管・借用

(1)寄託(新規)

資料系	資料名	点数	寄託者	備考
人文資料	迎接寺の鬼舞面(13 面、附衣裳 11 点、菊紋葵紋付桐箱 1 合)	25	迎接寺	千葉県指定有形民俗文化財

(2)寄託(更新)

資料系	資料名	点数	寄託者	備考
地学資料	習志野隕石(2 号標本破片)	1	個人	
人文資料	鋳銅唐草文釣灯籠	1	笠森寺	重要文化財(2 基のうち 1 基)
	鋳銅鰐口	1	笠森寺	千葉県指定有形文化財
	鋳銅孔雀文磬	1	笠森寺	千葉県指定有形文化財
	板絵馬著色武者絵(弁慶)	1	縣神社	千葉県指定有形文化財
	板絵馬著色武者絵(牛若)	1	縣神社	千葉県指定有形文化財
	大絵馬(会津藩士遊泳)	1	三柱神社	富津市指定有形文化財
	木造菩薩半跏像	1	三柱神社	
	三柱神社 絵馬(一括)	39	三柱神社	
	地曳網絵馬(天保 14 年)	1	玉前神社	
	地曳網絵馬(安政 2 年)	1	玉前神社	
	地曳網絵馬(慶応元年)	1	玉前神社	
	地曳網絵馬(明治 26 年)	1	玉前神社	
	揚繰網絵馬(大正 3 年)	1	玉前神社	
	板絵馬著色(武者絵)	1	大宮神社	
	板絵馬著色(伊勢参宮図)	1	大宮神社	
	神宮寺文書(一括)	554	神宮寺	千葉県指定有形文化財
	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺	香取市指定有形文化財
	神崎神社文書(一括)	91	神崎神社	一部千葉県指定有形文化財
	十六島図	1	香北土地改良区	
	和同開珎(銀銭)	1	野田稲生大神	
	明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻	1	勝浦市教育委員会	千葉県指定有形文化財
	下総国海上郡柴崎村御朱印地裁許之事絵図	1	柴崎町内会	
	東圓寺書上	1	柴崎町内会	
	昭和 20 年 8 月 15 日付け論告	1	柴崎町内会	

(3)仮保管(更新)

資料系	資料名	点数	保管者	備考
人文資料	千葉寺経塚出土資料	10	千葉県立千葉高等学校	千葉県指定有形文化財

(4)借用(新規返却) なし

(5)常設展示資料の借用(更新)

展示室	資料名	点数	借用先
房総の地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校
	馬蹄石	1	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
房総の生物	海岸漂着物(動物)	16	個人
	海岸漂着物(植物)	17	個人
房総の歴史	飯山満東遺跡出土土器	5	国立歴史民俗博物館
	太平洋戦争関係資料	10	印西市立印旛歴史民俗資料館
	鳥浜貝塚出土遺物	11	福井県立若狭歴史博物館
	山武郡姥山貝塚出土土器	9	慶應義塾大学文学部
	鎌ケ谷市林跡遺跡出土遺物	8	鎌ケ谷市郷土資料館
	千葉市城の腰遺跡出土遺物	33	千葉県立房総のむら
	千葉市中野僧御堂遺跡出土遺物	41	千葉県立房総のむら
	市原市大厩遺跡出土遺物	5	千葉県立房総のむら
	成田市関戸遺跡出土遺物	4	千葉県立房総のむら
	市原市菊間遺跡出土遺物	1	千葉県立房総のむら
	成田市木の根遺跡出土遺物	4	千葉県立房総のむら
	多古町林小原子台遺跡出土遺物	7	千葉県立房総のむら
	西広貝塚出土遺物	3	市原市教育委員会

展示室	資料名	点数	借用先
	小田部新地遺跡出土管玉	9	市原市教育委員会
	南向原遺跡出土石器	1	市原市教育委員会
	祇園原貝塚出土石器	1	市原市教育委員会
	大山台遺跡出土土器	1	市原市教育委員会
	国分尼寺出土土器	1	市原市教育委員会
	国分僧寺出土土器	1	市原市教育委員会
	山田水呑遺跡出土遺物	17	東金市教育委員会
	滝東台遺跡出土石器	7	東金市教育委員会
	三田遺跡出土土器	4	芝山町教育委員会
	空港№7 遺跡出土石器	36	芝山町教育委員会
	草木撰種録	1	個人
	農業要集	1	個人
	版木(農業要集)	1	個人
	地租改正の丈量器具	1	富津市文化協会
	君津市本名輪遺跡炭化米	1	君津市教育委員会
	大山台第 36 号墳出土遺物	24	木更津市教育委員会
	新坂 1 号墳出土遺物	60	山武市教育委員会
	宮内井戸作遺跡出土遺物	13	佐倉市
	中山新田Ⅰ遺跡出土遺物	14	千葉県教育委員会
	今富新山遺跡出土石器	11	千葉県教育委員会
	元割遺跡出土石器	15	千葉県教育委員会
	復山谷遺跡出土石器	10	千葉県教育委員会
	木戸作貝塚出土遺物	33	千葉県教育委員会
	泉北側第 2 遺跡出土遺物	7	千葉県教育委員会
	有吉北貝塚出土遺物	64	千葉県教育委員会
	武士遺跡出土遺物	1	千葉県教育委員会
	庚塚遺跡出土遺物	1	千葉県教育委員会
	毛内遺跡出土遺物	2	千葉県教育委員会
	バクチ穴遺跡出土遺物	3	千葉県教育委員会
	石揚遺跡出土遺物	2	千葉県教育委員会
	有吉南貝塚出土遺物	3	千葉県教育委員会
	三輪野山貝塚出土遺物	2	千葉県教育委員会
	三直貝塚出土遺物	35	千葉県教育委員会
	踊ヶ作遺跡出土遺物	1	千葉県教育委員会
	草刈遺跡 A 区出土遺物	1	千葉県教育委員会
	取香和田戸遺跡(№60 遺跡)出土遺物	18	千葉県教育委員会
	東峰御幸畑西遺跡(№61 遺跡)出土遺物	18	千葉県教育委員会
	天神峰奥之台遺跡(№65 遺跡)出土遺物	17	千葉県教育委員会
	十余三稲荷峰遺跡(№67 遺跡)出土遺物	8	千葉県教育委員会
	草刈六之台遺跡出土遺物	26	千葉県教育委員会
	草刈遺跡(東部地区旧石器時代)出土遺物	8	千葉県教育委員会

(6)調査等における資料の借用(更新)

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	山岳鳥瞰図	408	個人

※企画展示資料の借用資料は、Ⅲ展示を参照のこと。

4　資料の利用

(1)利用点数

利用方法	件数	点数
閲覧	37	29,490
撮影・複製	37	189
貸出	19	330
デジタル情報の複製	67	30,644
その他	－	－

利用方法	件数	点数
研究用貸出	11	118
標本データの提供	2	192,680
館内利用	2	18
合　計	175	253,469

※利用種別が複数にわたる場合は、それぞれにカウントした
※一式の場合は１点とカウントした

(2)閲覧・撮影・複製・貸出・デジタル情報の複製・その他

ア　動物資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧・館内撮影	キョン剥製、マスクラット剥製、ハクレン剥製、ヘラオオバコのレプリカ	4	栃木県立博物館
閲覧・館内撮影	ハシボソミズナギドリ、ハイイロミズナギドリ骨格標本	2	個人
閲覧・館内撮影	貝類標本	一式	千葉県立千葉盲学校
貸出	アライグマ、タヌキ、アナグマ、ハクビシン剥製	4	千葉県環境生活部自然保護課
貸出	カラムシロ	1	栃木県立博物館
貸出・デジタル情報	コイ、サヨリ剥製、サケムシ画像	3	千葉県立関宿城博物館
デジタル情報	ノウサギ仔、糞写真	2	(株)スタジオタッククリエイティブ
デジタル情報	マダラツマキリヨトウの幼虫画像	3	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
デジタル情報	アオバアリガタハネカクシ画像	1	関西テレビ
デジタル情報	アオバアリガタハネカクシ画像	1	チューリップテレビ
デジタル情報	オビカレハのテント画像	1	中学受験専門塾ジーニアス
デジタル情報	シロスジナガハナアブの写真	1	(株)小学館
デジタル情報	オイカワ、ウグイ、ホトケドジョウ、ヒガシシマドジョウ、スナゴカマツカ、ギバチ、シマヨシノボリの写真	7	君津市教育センター
デジタル情報	イノシシ、ニホンジカ他写真	32	君津市教育センター
デジタル情報	アライグマ、タヌキ、アナグマ、ハクビシンの顔、尻尾の画像	8	東京都農林水産部食料安全課
デジタル情報	千葉県長生郡一宮町の生物分布情報	114	長生郡一宮町

イ　植物・菌類資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	外国産ブナ科植物標本	一式	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
閲覧・館内撮影	ショウガ科植物、スイカズラ科タニウツギ属押し葉標本	2	市原植物研究会
閲覧・館内撮影	植物標本オオミズトンボ	1	植物地理分類学会
閲覧・館内撮影	大型菌類資料	一式	中央博共同研究員
閲覧・館内撮影	コケシノブ科ハイホラゴケ属、コバノイシカグマ科フモトシダ属、ヒメシダ科ヒメワラビ属、ノコゴリヒゴタイ(キク科トウヒレン属)の乾燥標本	4	日本シダの会
閲覧・館内撮影	植物標本(与世里盛春採集標本)及び関連資料	一式	練馬区立牧野記念庭園
閲覧・館内撮影	カモメヅル属、イケマ属、キジョラン属(キョウチクトウ科)	3	東京大学大学院理学系研究科附属植物園
閲覧・デジタル情報	福島県産維管束植物標本データ	3,631	福島大学共生システム理工学類
閲覧・デジタル情報	愛知県産植物標本データ	25,677	豊橋市自然史博物館
館内撮影	オオミズトンボ植物標本	1	個人
貸出	ブナ科果実、ブナ科さく葉標本	31	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
貸出・デジタル情報	ハツタケレプリカ、ショウロ生態写真	2	千葉県立関宿城博物館
デジタル情報	スダジイ画像	1	(株)えふぶんの壱
デジタル情報	きのこ石画像	1	(株)ザ・ワークス
デジタル情報	ヤドリギ寄生根画像	1	(株)CNインターボイス
デジタル情報	印旛沼で調査する牧野富太郎の写真画像	1	千葉大学園芸学部
デジタル情報	マムシグサ画像	1	コロンビア農業・畜産研究機構

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	ウメノキゴケ画像	1	湊川神社
デジタル情報	北海道産ヤマミズ標本	6	ノーザンクリフフロラ研究所
デジタル情報	維管束植物標本及び植物関係資料(与世里盛春関係)	8	(株)BAM(練馬区立牧野記念庭園運営業務受託者)
デジタル情報	維管束植物画像モミ、マタタビ	2	FILE Publications, inc.
デジタル情報	アカメガシワ	2	NACOT 自然観察指導員東京連絡会
デジタル情報	千葉県長生郡一宮町の生物分布情報	737	長生郡一宮町

ウ　地学資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	地学資料および動物液浸資料	一式	千葉大学人文系学務課
閲覧・館内撮影	ストロマライト、イチョウ類化石、リンボク、石炭紀種子シダ類、クラドスレビス、ナウマンヤマモモ	6	(NPO)千葉県森林インストラクター会
閲覧・館内撮影	化石(主に脊椎動物化石)	一式	千葉県立千葉盲学校
閲覧・館内撮影	化石(主に脊椎動物化石)	一式	東京農工大学科学博物館支援学生団体 muset
閲覧・館内撮影	化石(主に脊椎動物化石)	一式	東京海洋大学
閲覧・館内撮影	化石(主に脊椎動物化石)	一式	東京農工大学農学部
閲覧・館内撮影	鳥類化石(主に万田野層産)	一式	立教大学
閲覧・館内撮影	銚子産シロアリ類コプロライト、微小巻貝類化石、耳石化石等	3	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
閲覧・館内撮影	鳥類化石(主に万田野層産)	一式	立教大学
閲覧・館内撮影	石川県手取層群産二枚貝化石	一式	大野市教育委員会
貸出	ダイオウグソクムシ類、コミナトダイオウグソクムシ化石	一式	神栖市歴史民俗資料館
貸出	銚子産石灰石標本	1	千葉県立関宿城博物館
貸出	アンモナイト化石	2	むさしの・こどもエコフォーラム
貸出	コミナトダイオウグソクムシ、オオグソクムシ属化石、タカアシガニ属ハサミ化石	3	サンシャイン水族館
貸出	地磁気逆転現象学習模型	1	(NPO)田淵チバニアンズ
デジタル情報	「空からみた千葉県(1987-88 年)」のうち「千葉市美浜区稲毛海浜公園・中央卸売市場」	1	千葉市立稲毛高等学校
デジタル情報	トウヨウゾウ復元模型写真	1	日本放送協会第2制作センター(文化ジャンル)
デジタル情報	景観復元画「チバニアン期の大地」、「チバニアン期の海」	2	港区立みなと科学館
デジタル情報	空からみた千葉県(1987-88 年)」のうち「銚子市屏風ヶ浦南東から」	1	(株)NHK エデュケーショナル
デジタル情報	空からみた千葉県(1987-88 年)」のうち「銚子市屏風ヶ浦南東から」	1	東京都立大学都市環境学部地理環境学科
デジタル情報	空からみた千葉県(1987-88 年)」のうち「銚子市屏風ヶ浦南東から」	1	(一財)放送大学教育振興会
デジタル情報	「空からみた千葉県(1987-88 年)」のうち「曲流する久留里付近の小櫃川」、笹川の川廻し鳥観図	2	君津市教育センター
デジタル情報	チバニアン図録古地理図	2	(株)ぷろぺら
デジタル情報	市宿層クジラ発掘風景等、化石・地層関係写真	20	君津市教育センター

エ　人文資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧・館内撮影	千葉県緊急民俗調査、絵馬・彫刻調査、石仏調査のうち木更津市分	一式	木更津市史編さん部会民俗部会
閲覧・館内撮影	写真集「水郷の原風景」掲載写真および関連民具	一式	さいたま市立春岡小学校
閲覧・館内撮影	宮内井戸作遺跡出土縄文注口土器	一式	京都大学
閲覧・館内撮影	草刈遺跡群出土銅鏡	一式	千葉県教育庁文化財課
閲覧・館内撮影	荒海川表遺跡出土貝製品など	41	千葉市教育振興財団
閲覧・館内撮影	菱田コレクションのうちアイヌ関係資料	一式	国立歴史民俗博物館
閲覧・館内撮影	菱田コレクションのうち若潮国体関係資料	29	千葉経済大学
閲覧・館内撮影	神崎神社文書	1	横芝光町教育委員会
閲覧・館内撮影	木造菩薩半跏像(三柱神社蔵・寄託)	1	木更津市教育委員会
閲覧・館内撮影	画文帯環状乳神獣鏡(半円方格帯神獣鏡)	1	個人

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧・館内撮影	三柱神社寄託資料	2	富津市教育委員会
館内撮影	千葉市有吉北貝塚他出土サメ歯製垂飾 4 点、サメ椎骨製垂飾 2 点	6	個人
館内撮影	明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻	1	個人
館内撮影	押送船模型	1	(株)コグワークス
貸出	菱田コレクション絵葉書 銚子名所「あしか島」、「千奇岩」、「犬若崎の若犬岩」	3	千葉県立関宿城博物館
貸出	土摺臼	1	稲敷市立歴史民俗資料館
貸出	荒海川表遺跡出土貝製品等	27	千葉市教育振興財団
貸出	高城胤則書状(天正 19 年)(複製)	1	柏市教育委員会
貸出	干鰯模型、〆粕模型、干鰯俵	3	いすみ市郷土博物館
貸出	菱田コレクション(若潮国体関連資料)	29	千葉経済大学地域経済博物館
貸出	「日本博覧図 千葉県 後編」から	13	いすみ市郷土資料館
貸出	浅間山古墳出土資料	194	千葉県立房総のむら
デジタル情報	職人尽絵 扇師	1	(株)岩波書店
デジタル情報	本草図譜ハツタケ、小金原鹿狩図屏風他	6	個人
デジタル情報	大日本物産図絵 上総国九十九里鰮漁之図	1	教育出版(株)
デジタル情報	浅間山古墳出土資料 金銅製冠飾	1	栄町教育委員会
デジタル情報	吉野章郎氏写真	2	(株)いき出版
デジタル情報	林辰雄写真、吉野章郎写真	21	(株)いき出版
デジタル情報	諸国名所百景下総舟橋第神宮	1	(株)イースト・フィルム
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県 初編」のうち「田中玄蕃」	1	千葉県立房総のむら
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県 初編」のうち「醤油醸造家 浜口儀兵衛店」	1	千葉県立房総のむら
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県 初編」のうち「東條喜惣治邸宅」	1	千葉県教育庁文化財課
デジタル情報	大多喜町台古墳群出土画文帯環状乳神獣鏡	1	大多喜町生涯学習課
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県 初編、後編」から	39	いすみ市郷土資料館
デジタル情報	「日本博覧図 後編」のうち「吉野忠吾邸宅」	1	個人
デジタル情報	魚肥(干鰯・〆糟)生産ジオラマ眺望	1	(株)山川出版社
デジタル情報	大日本物産図会 丹後国 同鰤磯場之図	1	(株)朝日新聞出版
デジタル情報	菱田コレクション絵葉書 清澄山農科大学校野獣園	1	君津市教育センター
デジタル情報	大日本物産図会 土佐国 鰹釣之図、鰹節を製ス図	2	(株)ビリビリ団
デジタル情報	林辰雄撮影写真	1	(株)フォト・パブリッシング
デジタル情報	ハーマン号資料	2	(株)山川出版社
デジタル情報	菱田コレクション絵葉書 安房北条停車場通り	1	(株)平凡社
デジタル情報	半円方格帯神獣鏡	1	(株)吉川弘文館
デジタル情報	林辰雄撮影写真	1	(株)フラジャイル
デジタル情報	香取神宮神幸軍神祭図	1	(株)山川出版社
デジタル情報	林辰雄撮影写真	2	(株)日企
デジタル情報	大日本物産図会 越中滑川大章魚之圖	1	世界文化社
デジタル情報	職人尽画貼りまぜ屏風 鋳物師打出屋	1	(株)サイズビジョン
デジタル情報	林辰雄撮影写真	1	千葉市立郷土博物館
デジタル情報	旧三島小学校古写真	1	君津市清和地域市民センター

オ　生態・環境資料

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	蒲谷鶴彦録音資料	1	江戸川区 SDGs 推進部広報課
デジタル情報	生物音声資料	239	(株)ポプラ

カ　特殊資料・貴重書

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧・館内撮影	リンネ関係レンスコーク・コレクション、「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より和漢書	6	個人
閲覧・館内撮影	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より和漢書	39	個人
閲覧・館内撮影	リンネ関係レンスコーク・コレクション、フンボルトの諸著作(特に鉱物など地学系資料部分)	2	個人
閲覧・館内撮影	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より和漢書	18	個人
デジタル情報	Nova Plantarum Genera 植物の新しい属より「タマハジキダケの図」	1	個人
デジタル情報	二口善雄植物画	25	(株)ミュージアムクルー
貸出・デジタル情報	レーシッヒ バラ彩色図譜他	8	ふくやま美術館

(3)研究用貸出

資料系	資料名	件数	点数
動物資料	魚類	4	22
	昆虫	3	62
	甲殻類	2	2
植物資料	菌類	1	31
地学資料	岩石	1	1
合計		11	118

(4)標本データの提供

資料系	資料名	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685
	魚類	660	9,043
	昆虫	910	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	660	7,450
	小計	2,230	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	11,790	87,045
	蘚苔類	0	10,395
	藻類	660	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
	小計	12,450	116,258
古生物資料	古無脊椎動物	120	－
	古脊椎動物	200	－
	小計	320	－
合　計		15,000	177,680

(5)館内利用

ア　行事等での利用

資料系	資料名	利用方法	対応件数	点数
動物資料	哺乳類	閲覧	1	17
動物資料	甲殻類	同定比較	1	1

5　保存環境の整備等

(1)環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	実施回数：4 回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回 263 個
温湿度測定	自記温湿度計：収蔵庫 10 カ所・歴史展示室 4 カ所、閲覧コーナー1 カ所、一時保管庫 1 カ所
	データロガー：企画展示室 3 カ所、収蔵庫 1 カ所、図書室 1 カ所、第 5 収蔵庫(臨時)
	温湿度の維持：空調機の不調により夏・秋期に除湿器を運転した。収蔵庫前室 2 台、恒温低湿収蔵庫 1 台、恒温恒湿収蔵庫 1 台

(2)清掃

収蔵庫の定期清掃	各収蔵庫 2 回実施
収蔵庫の清掃委託	実施なし

(3)燻蒸・殺虫・殺菌

収蔵庫の燻蒸	実施なし
燻蒸釜の運転(殺虫・殺菌)	実施回数：年 8 回 使用薬剤：酸化エチレン(商品名：エキヒューム S)
低温処理(冷凍庫)による殺虫	常時運転
高温処理(乾燥機)による殺虫	常時運転
二酸化炭素による包み込み殺虫処理	実施なし
空間噴霧処理	実施回数：1 回 実施区域：第 1 企画展示室ウォールケース 使用薬剤：蒸散性防虫炭酸ガス製剤(商品名：エコミュアーFT ドライ　1.0 kg)
植物標本保管ケースへの防虫シート設置作業	実施なし

(4)施設・設備の改善　実施なし

6　図書の利用

(1)館職員利用

ア　貸出冊数　371 冊

(2)来館者利用

ア　閉架図書出納　5 件 33 冊

イ　複写サービス　32 件 386 枚(うちカラー7 件 36 枚)

ウ　閲覧コーナーでの図書公開　全開館日

エ　体験学習室での図書公開　全開館日

(3)資料保全

ア　館内修理　6 冊

第２　大利根分館

1　資料の登録

（令和７年３月31日現在）

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム総登録点数
人文資料	民俗資料	279	5,539	16,938
	歴史(古文書)	0	10,584	
	考古(埋蔵文化財)	0	167	
	文字・絵画(絵葉書等)	0	637	
	小計	279	16,927	16,938
自然資料	動物・地学	0	264	264
合　計		279	17,191	17,202

2　資料の収集

(1)資料収集点数

種別	点数
寄附	資料整理による増278
寄託	0
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	1
合計	279

(2)寄附　なし

3　資料の寄託・借用

(1)寄託　なし(令和６年度より本館収蔵)

(2)借用(常設展・長期)　なし

4　資料の利用

(1)資料利用点数

種別	件数	点数
閲　覧	1	10
撮影・複製	0	0
貸　出	5	7

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	12	22
その他	0	0
合　計	18	39

※一式を１点とカウントした

(2)閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	分野	資料名	点数	施行先
閲覧	民俗資料	『写真集水郷の原風景』掲載写真及び関連民具	10	学校関係団体
貸出	歴史資料	板碑(二次資料レプリカ)	1	香取市教育委員会
貸出	民俗資料	土摺臼	1	神栖市歴史民俗資料館
貸出	民俗資料	土摺臼	1	稲敷市立歴史民俗資料館
貸出	民俗資料	房丁茶船模型	1	印西市立木下交流の杜歴史資料センター
貸出	民俗資料	『佐原村分見絵図』、利根川図志、鮭の剥製	3	千葉県立関宿城博物館
デジタル情報	画像	あんか、豆炭あんか、石炭ストーブ	3	(株)ポプラ社
デジタル情報	画像	升	1	(株)今人社
デジタル情報	画像	水郷の情趣、十二橋巡り	2	テレビ朝日映像(株)
デジタル情報	画像	鴻の台公園からの眺望、樽を運ぶ高瀬船	2	(株)マゾンラテルナ
デジタル情報	画像	樽を運ぶ高瀬船	1	(株)ジャンプコーポレーション
デジタル情報	画像	明治大正時代の講談本	1	(有)キャップストーン
デジタル情報	画像	さつき丸	1	(株)文化工房
デジタル情報	画像	横利根閘門、田畑とエンマ、嫁入り	3	(株)広域高速ネット二九六
デジタル情報	画像	絵はがき「市川鴻之台公園町眺望」	1	(株)山川出版社
デジタル情報	画像	唐櫃	5	(株)山川出版社
デジタル情報	画像	大日本物産図会　下総国醤油製造之図	1	(株)山川出版社
デジタル情報	画像	電気ストーブ	1	(株)エディキューブ

※本館・分館での展示利用は、Ⅲ展示の展示資料を参照のこと

第３　大多喜城分館

１　資料の登録

（令和７年３月31日現在）

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	−7	930	2,848
	生活	1	529	
	芸術	0	6	
	宗教	0	59	
	文学	0	18	
	古文書	0	784	
	考古	0	11	
	その他	0	511	
合　計		−6	2,848	2,848

２　資料の収集

(1)資料収集点数

種別	点数
購入	0
寄附	0
寄託	0
借用(長期)	−8

種別	点数
保管換え	0
仮保管	0
館員による収集	0
合計	−8

※新規収集および返却の増減をカウント。

３　資料の寄託・借用

(1)寄託

ア　返却　なし

イ　更新

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	袴 など	23	個人
歴史・民俗資料	木造薬師如来坐像 など	2	青龍寺
歴史・民俗資料	上総国伊北荘山中郷御縄打水帳 など	10	堀之内区
歴史・民俗資料	絵馬 など	6	広厳院観音堂
歴史・民俗資料	善光寺参詣絵馬 など	3	清水寺
歴史・民俗資料	奉納額 など	3	船子八幡神社
歴史・民俗資料	西畑の内平沢村坪入改帳 など	6	妙厳寺
歴史・民俗資料	脇差(豊永行秀鍛之) など	2	個人
歴史・民俗資料	紺糸威桶側胴具足(覆輪兜付)など	2	個人
歴史・民俗資料	沢瀉紋銭紋散刀筒 など	3	個人
歴史・民俗資料	芝居絵	1	個人
歴史・民俗資料	額(熊野神社遷宮額)	1	小佐部区長
歴史・民俗資料	短刀(関住兼氏) など	2	個人
歴史・民俗資料	木札 など	4	個人
歴史・民俗資料	槍(銘 藤原国重作)	1	個人
歴史・民俗資料	総房軍記・全 など	21	個人
歴史・民俗資料	中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会中滝城址調査団
歴史・民俗資料	房総志料 など	2	個人
歴史・民俗資料	熊野観心十界図	1	宝聚院
歴史・民俗資料	紺糸威伊予札二枚胴具足 など	6	個人
歴史・民俗資料	刀(平安城住大隅守平広光) など	12	個人
歴史・民俗資料	大河内信敬油絵 など	2	八幡神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	9	個人
歴史・民俗資料	百万遍講中道具 など	2	個人
歴史・民俗資料	鎧通し など	13	個人
歴史・民俗資料	松平正和書	1	個人
歴史・民俗資料	四季豊年図	1	個人

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	刀(人見神社御神刀・長旨作)	1	人見神社
歴史・民俗資料	太刀(波平吉安) など	3	個人
歴史・民俗資料	薬箪笥 など	8	個人
歴史・民俗資料	蒋介石総統扁額 など	2	個人
歴史・民俗資料	俳句帳 など	20	個人
歴史・民俗資料	銭箱	1	個人
歴史・民俗資料	段替胴腰取具足(日根野頭形兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	紫糸威連山頭桶側胴具足(桃形兜付) など	2	個人
歴史・民俗資料	陣笠	1	個人
歴史・民俗資料	三ツ葉葵紋付宇瓦	1	紺屋区観音寺
歴史・民俗資料	木造大日如来坐像 など	9	猿稲区
歴史・民俗資料	大多喜御在城私宅江殿様入れられ候節の覚書 など	7	個人
歴史・民俗資料	紺糸威仏胴具足(小星兜付) など	316	大多喜町長
歴史・民俗資料	紺糸菱綴桶側胴具足(覆輪筋兜付) など	5	神明神社
歴史・民俗資料	色々威腹巻(筋兜付) など	38	玉前神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	染付土瓶 など	6	個人
歴史・民俗資料	白磁製マリア観音像	1	下大多喜台区
歴史・民俗資料	木造僧形坐像(院廣 銘) など	48	応徳寺
歴史・民俗資料	短刀(氏貞・白鞘入り) など	2	個人
歴史・民俗資料	古書籍 など	2	個人
歴史・民俗資料	光福寺八代華徳院日妙曼荼羅	1	個人
歴史・民俗資料	松平家紋所付御膳 など	20	圓照寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	10	薬王寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	2	白子神社
歴史・民俗資料	太刀(大和國住包永)	1	個人
歴史・民俗資料	遠山金四郎景元公肖像画 など	2	遠山講
歴史・民俗資料	刀 など	2	個人
歴史・民俗資料	正質公・みね(金へんに丘)子夫人合作軸 など	3	個人

(2)借用(長期)

ア　更新

資料系	資料名	点数	借用先
歴史・民俗資料	梅僊筆 梅図掛図 など	14	個人
歴史・民俗資料	紙本著色本多忠勝画像など	3	良玄寺
歴史・民俗資料	屏風 など	6	個人
歴史・民俗資料	キリシタン禁制 など	2	個人
歴史・民俗資料	萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	黒糸肩裾取威胴丸(兜･小具足付) など	3	個人
歴史・民俗資料	鰐口	1	法華寺
歴史・民俗資料	鉄砲所持許可鑑札 など	3	個人
歴史・民俗資料	紺糸威鋲綴桶側胴具足	1	個人
歴史・民俗資料	朽葉糸威素懸胴具足(頭形兜付) など	11	個人
歴史・民俗資料	本多家御膳 など	10	東長寺
歴史・民俗資料	鋸鍛冶道具	1	個人

※企画展示での借用は、Ⅲ展示の各展示での展示資料を参照のこと

4　資料の利用

(1)資料利用点数

種別	件数	点数
閲　覧	1	1
撮影・複製	1	6
貸　出	7	53

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	22	36
館内利用	2	14
合　計	33	110

※一式を１点とカウントした

(2)閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	東海テレビプロダクション番組制作部
貸出	須恵甕、鉄製燈籠	2	いすみ市郷土資料館
貸出	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)イーストファクトリー
貸出	体験用刀剣、刀剣手入れ道具	12	千葉県立房総のむら
閲覧	赤絲威大鎧・星兜(複製)	1	大倉集古館
デジタル情報	後三年合戦絵巻	5	(株)テレビ朝日コンテンツ編成局
貸出・デジタル情報	赤絲威大鎧・星兜(複製)、赤絲威大鎧・星兜の画像	7	大倉集古館
貸出	弓(無銘)、鏃、蟇目、熊毛空穂	9	大田区立郷土博物館
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	日本BS放送(株)
デジタル情報	兎形変兜の画像	1	(株)ネクサス
デジタル情報	兎形変兜の画像	1	(株)小学館文化事業局
貸出	十手、鉄扇、鳶口、手習、軍配、鎖鎌、火縄銃切断模型、馬上筒、火縄銃	18	千葉県立房総のむら
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)グレイル
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)テレビ朝日
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	東京書籍(株)
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)TBSスパークル
撮影・デジタル情報	上総大多喜城下大絵図(模写)、城内献立図、大多喜城大絵図額、大多喜水道絵図、大多喜御城山大絵図	6	(株)人と古民家
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)TBSスパークル
デジタル情報	正質・正敏肖像画像	1	(株)オニオン新聞社
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)山川出版社
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)イースト
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	読売新聞大阪本社事業局文化事業部
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)現代書館
デジタル情報	黒糸肩裾取威胴丸	1	(株)山川出版社
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	テレビ朝日映像(株)
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)テレビ朝日コンテンツ編成局
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	九度山・真田ミュージアム
貸出	車券機など木原線関係資料	10	房総中央鉄道館

(3)資料の館内利用(主催事業での利用)

資料名	利用方法	対応件数	点数
刀	体験イベント	2	14

第 4　分館海の博物館

1　資料の登録

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	10	368	0
	刺胞動物	170	10,798	845
	環形動物	30	2,331	618
	貝類	828	18,447	112
	頭足類	0	291	108
	甲殻類	40	3,072	924
	棘皮動物	28	1,993	179
	その他	16	671	204
	魚類	112	15,420	3,231
	動物資料小計	1,234	53,391	6,221
植物資料	種子植物	0	75	75
	藻類	172	8,500	8,500
	植物資料小計	172	8,575	8,575
映像資料	写真	0	12,215	－
	動画	0	1,577	－
	映像資料小計	0	13,792	－
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	0	2,410	0
	合計	1,406	78,168	14,796

2　資料の収集

(1)資料収集点数

種別	点数
購入・製作委託	0
寄附	0

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	1,406
合　計	1,406

(2)内訳(館員による収集)

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	10
	刺胞動物	170
	環形動物	30
	貝類	828
	頭足類	0
	甲殻類	40
	棘皮動物	28
	その他	16
	魚類	112
	小計	1,234
植物資料	種子植物	0
	藻類	172
	小計	172
映像資料	写真	0
	動画	0
	小計	0
図書資料	図書・雑誌等	0
	合計	1,406

3　資料の利用

(1)資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
展示用標本の貸出	0	0
研究用標本の貸出	4	32

種別	件数	点数
映像資料の貸出	3	33
標本の複製	0	0
標本データの提供	2	1,320
合　計	9	1,385

※一式を 1 点とカウントした

(2)内訳(展示用標本の貸出)

※該当なし

(3)内訳(研究用標本の貸出)

資料名	点数	利用者
甲殻類液浸標本	1	水土舎
刺胞動物液浸標本	3	国立科学博物館
魚類液浸標本	1	長崎大学
魚類液浸標本	27	千葉県立中央博物館（本館）

(4)内訳(映像資料の貸出)

資料名	点数	利用者
メジナ等の写真	28	千葉県勝浦海中公園センター
アサクサノリ等の写真	4	大森海苔のふるさと館
コスジノリの写真	1	テイクオパール

4　保存環境の整備等

(1)環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、当該部屋管理責任者に注意を喚起した。
	実施回数：6 回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回 15 個
温湿度測定	自記温湿度計：乾燥収蔵庫 1 カ所

(2)清掃

乾燥収蔵庫の定期清掃	月 1 回実施
液浸収蔵庫の定期清掃	月 1 回実施
大型標本庫の定期清掃	年 1 回実施

(3)燻蒸

※空調工事のため今年度は実施せず

Ⅱ 調査研究

第1 本館

1 研究課題

(1) 重点研究(本館・大利根分館・大多喜城分館)

① 下総台地西部の自然

【担　　当】御巫由紀(代表者)、浅野紗彩、天野　誠、大津千晶、奥田昌明、尾崎煙雄、小田谷嘉弥、小林大純、斎木健一、坂田歩美、樽　宗一朗、栃原行人、西内李佳、萩野康則、山中　蛍、山本伸子

【研究内容】下総台地西部の植物相及び動物相の調査や生態学的調査、地学分野の調査を行う。下総台地は、県南部の丘陵地に比べるとこれまでに実施された調査研究報告が少ない。その一方で開発が進んで人口が多く、身近な自然環境に興味を持つ県民が多い。令和 2～4 年度に実施した重点研究「下総台地東部の自然」と合わせて下総台地の自然誌の基礎的な知見と資料(登録標本含む)を収集するとともに、生物相の多様性と特異性や、地学分野の特性を明らかにする。

【年度実績】下総台地西部において、引き続き植物相及び動物相の調査を行うとともに、表層花粉の試料を採取した。また、今年度から下総台地西部の地形も対象に加えた。維管束植物については昨年度同様、印西市域で市役所の協力のもとボランティアグループを組織し、網羅的な植物相踏査を実施した。

・昆虫のファウナ調査(尾崎・樽)：昆虫調査を 1 回行った。また、ツルグレン装置から抽出された昆虫の同定を行い、標本を作成した。

・魚類相調査 (小林)：印旛沼・手賀沼地域を中心に 6 回の野外調査を実施した。約 100 個体の魚類標本を採集し、撮影と固定処理を行った。また、水産総合研究センター内水面水産研究所所蔵の魚類標本の次年度以降の受け入れについても打ち合わせを行った。

・多足類・クモ類相調査(萩野)：昨年度に引き続きこれまでに採取してツルグレン装置で抽出しておいた 24 地点の試料から、多足類約 3,150 個体及びクモ類約 750 個体をソーティングし、専門家に同定を依頼した。 また、調査地域内で得られたエダヒゲムシ類約 1,000 個体をプレパラート化した。

・鳥類相調査(小田谷)：令和 6 年 10 月から令和 7 年 3 月まで、千葉県我孫子市中峠の調査地において月 1 回の鳥類標識調査を行い、鳥類相の調査を実施した。合計 275 羽の鳥を標識放鳥し、133 羽の鳥を再捕獲した。適宜計測値の収集と写真撮影を行った。

・維管束植物相の調査(御巫、浅野、天野、大津、斎木、栃原、西内、山本)：印西市における市域の 1 ㎢メッシュ毎に出現した植物の調査記録を継続した。令和 6 年度は、11 回の調査により 47 メッシュで採集した標本及びボランティアの協力を得て集めた標本を同定して仮登録した。

・地衣類相調査(坂田)：昨年、地衣類相調査を実施した流山市市野谷の森、市川市法華経寺、松戸市の標本について同定作業を進めた。

・地形地質調査(山中)：下総台地の人為的地形変化の特徴を示すため、青葉の森公園周辺を例に公園開発前後の数値標高データを用いた標高差分解析を行い、地形変化量の分布を明らかにした(中央博物館研究報告 17 巻 2 号)。また、湾岸地域を中心に空中写真判読による段丘面の分類作業および現地での露頭調査を行った。

・表層花粉調査(奥田)：令和 6 年 12 月 20 日～25 日に、印西市瀬戸の自然林(千葉メッシュコード 1877)へ赴き、谷津田の合間に残存するシイ・カシ林を調査し、12 点の表層花粉試料(空中花粉を捕集したコケ群落)を採取した。

② 東京湾の変遷を探る

【担　　当】小田島高之(代表者)、米谷　博、島立理子、加藤久佳、小出麻友美、坂田歩美、小川宏和

【研究内容】千葉県にとって一番身近な海である東京湾について、当館を主体として県内の他の博物館と共に連携して調査・研究を行う。調査は、沿岸の動・植物相の調査、沿岸の地質学的調査等の自然科学的な側面のみならず、東京湾沿岸の景観や周辺の生業の変化等、人文科学的な側面からもアプローチする。

【年度実績】令和 6 年度は 10 月と 12 月に研究会を開催し、東京湾の変遷についての理解を深めた。10 月の研究会では国立歴史民俗博物館の松田睦彦教授に「東京湾の環境と海辺のくらし」と題した講演を、12 月には市原歴史博物館の芝崎浩平学芸員に「明治期以前の製塩について－市原市を中心に－」と題した講演をそれぞれしていただいた。研究会では当館職員も研究の成果を発表した。

(2) 地域研究

ア　地球誌系(房総の大地から探る地球の歴史/房総半島南部の大地の動きを探る/房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人とのくらしの関連性)

① 房総半島の無脊椎動物化石相

【担　　当】加藤久佳

【研究内容】房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。

【年度実績】下総層群や完新統の十脚甲殻類化石を中心に、化石資料を収集した。これらの中にはこれまでに化石としては産出が知られていない種や、現生でも房総半島から記録のない種を含む。

② 房総半島の軟体動物化石相

【担　　当】伊左治鎭司

【研究内容】房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。

【年度実績】銚子地域の白亜系銚子層群および新第三系名洗層から発見された軟体動物貝類 13 点を登録し、資料附随画像とともに公開した。

③ 房総半島の脊椎動物化石相

【担　　当】丸山啓志

【研究内容】房総半島に分布する地層から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。

【年度実績】鯨類の耳骨化石をはじめとした、房総半島産の多様な脊椎動物化石を収集した。また、鳥類化石など、外部の研究者への研究協力も行なった。

④ 房総周辺の花粉・環境誌

【担　　当】奥田昌明

【研究内容】2020 年 1 月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細な MIS 19 の古気候復元を行った後、MIS 1 の古気候状態と比較する。(令和 5 年度より採択された科研費を使用)

【年度実績】2020(令和 2)年から取り組んできた市原市田淵の千葉セクションにおける花粉化石の再分析作業をほぼ終了し、成果の一部をとりまとめて令和 7 年 5 月に幕張で実施される地球惑星合同学会(JpGU)の古気候・古海洋セッションで発表すべく、館外協力者 3 名との連名で講演要旨を作成し、2 月に実行委員会へ投稿した(発表は 5 月)。

⑤ 房総半島の最終氷期以降の植生変遷

【担　　当】西内李佳

【研究内容】最終氷期(主に 2〜3 万年前)から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】房総半島南部の最終氷期末期以降の照葉樹林の拡大過程を明らかにするため、南房総市で採取した過去約 1 万年間の年代を示すボーリングコアの花粉分析を進めている。また、房総半島南部の河川にて露頭調査を行い、葉や種実化石の分析を進めている。史前帰化植物と考えられてきた種や、過去の栽培の可能性のある種などの化石が発見され、分析を継続している。

⑥ 房総の化石密集層の成因

【担　　当】千葉友樹

【研究内容】房総半島の地層に見られる化石密集層の成因を堆積物や化石群集に基づき明らかにする。また、当時の環境と生物の関わりを化石密集層から読み解く。

【年度実績】房総半島に分布する沖積層について、貝化石と甲殻類化石の放射性炭素年代測定を行った。定量試料に含まれる貝化石の同定を進め、調査で得られた貝化石 269 点を標本登録した。現在の房総半島に棲息していない貝類が含まれていることが判明した。

⑦ 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明

【担　　当】高橋直樹

【研究内容】嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。

【年度実績】嶺岡帯内で蛇紋岩類が最も広く分布する嶺岡山地の嶺岡中央林道沿いで新たな蛇紋岩露頭を観察し、斑れい岩の細脈が蛇紋岩を貫いている様子が観察された。通常は破砕された状態で見いだされる蛇紋岩と斑れい岩が、もともと同一の岩体起源であることが確認された。

⑧ 房総半島南部の暁新統〜中新統の層序と構造の解明

【担　　当】菊川照英

【研究内容】房総半島南部に分布する暁新世から中新世の地層の層序や地質構造について、詳細な野外調査と微化石を用いた地質年代に基づき明らかにする。

【年度実績】房総半島南部に分布する中-上部中新統三浦層群天津層及び下-中部中新統保田層群の地質調査を実施した。ルートマップ及び柱状図の作成、また年代決定のための泥岩及び生痕化石試料を採取した。生痕化石内部からは年代決定に有効である保存状態良好な放散虫化石や未記載種が多量得られたので、その成果をまとめた論文を国際誌に投稿し、受理・掲載された。また、各種学会や研究集会において、得られた成果を公表した。

⑨ 房総半島の段丘地形と第四紀地殻変動の諸相

【担　　当】山中　蛍

【研究内容】房総半島では、南部で地震性の隆起が生じる一方、北部で波長の緩やかな広域変形が見られ、第四紀地殻変動の様相は地域ごとに大きく異なる。房総半島の地形発達史およびこれに関わる地殻変動の様式を明らかにすることを目的とし、指標となる段丘面群の分布、形態、形成環境、形成時期を調査する。

【年度実績】房総半島全域の段丘面分類図作成に向けて、地形が大規模に人工改変される前に撮影された空中写真データを収集するとともに、近年の航空レーザ測量に基づく数値標高データを収集した。以上の 2 種類のデータをステレオ画像化し、地理空間情報システム上でシームレスに表示できるようにすることで、効率的かつ詳細な地形判読を可能とするデータセットを構築した。これを用いて、下総台地西部より順次地形段丘面分類を実施している。

⑩ 房総半島における水利用に関する研究

【担　　当】小田島高之

【研究内容】川廻しや上総掘り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それらの分布や変遷を調査する。

【年度実績】令和6年度は主に養老川上流の川廻しについての調査を行った。

⑪ 千葉県に生息するタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究

【担　　当】大木淳一

【研究内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

【年度実績】館山丘陵に生息するタゴガエルの早期産卵場所の調査を実施したが、新たな産卵場所を発見することはできなかった。

⑫ 千葉県で観測される蜃気楼の発生メカニズムに関する基礎研究

【担　　当】大木淳一

【研究内容】千葉県で観測される蜃気楼の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。

【年度実績】現地観測と定点カメラによる 24 時間観測態勢によって、令和 6 年は年間を通して上位蜃気楼を 130 日観測することができた。これは 2018 年に本観測方法が確立してから最高の観測日数となり、日本で一番観測日数が多い記録となった。

イ　生命誌系

(ア) 房総の分類学的多様性の特徴とその保全

① 房総の哺乳類誌

【担　　当】下稲葉さやか

【研究内容】千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。

【年度実績】絶滅危惧種のロードキル、漂着個体の回収を実施し、目撃情報等を収集した。

② 千葉県内の鳥類相とその季節性・経年変化に関する研究

【担　　当】小田谷嘉弥

【研究内容】千葉県内に分布する鳥類について、標本および観察情報の収集や文献調査を行い、分布状況を把握する。それに加え、渡来時期や個体数の経年変化を記録する。利根川流域で継続されてきた調査地における捕獲標識調査を行い、鳥類相の変化を観測する。

【年度実績】千葉県内各地からの標本資料および記録の収集を行った。野田市菅生調節池において月 1 回以上の鳥類標識調査を継続し、鳥類相および個体数のデータを取得した。同調査地のオオヨシキリの経年変化に関する報告を準備中。

③ 房総の魚類誌

【担　　当】宮　正樹、後藤　亮

【研究内容】千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにするとともに、DNA 種判定のための組織片を採取する。また、2017 年度 8 月から続けてきた房総半島南部 11 測点における環境 DNA 隔週調査を、月別調査に変更して引き続き魚類群集モニタリングを継続する。6 年度はその第 95～106 回目の調査を行う。

【年度実績】環境 DNA を用いた房総半島南部 11 地点における魚類群集月別調査の第 107～118 回を実施した。計 132 サンプルについて、MiFish 法を用いたメタバーコーディングを行った。得られたデータについては、既に実施した調査のデータと併せて、今後さまざまな角度から時空間分析を行う。また、新たに得られた 100 種近い魚類組織から MiFish リファレンスデータを得てデータベースに追加した。

④ 房総丘陵の両生爬虫類相

【担　　当】大木淳一、栗田隆気、尾崎煙雄

【研究内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 ㎢メッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。

【年度実績】県内 10 箇所において下記 11 種の両生類を記録し生態写真を撮影した。トウキョウサンショウウオ、アカハライモリ、アズマヒキガエル、アマガエル、カジカガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル、タゴガエル、ヤマアカガエル、 ニホンアカガエル、ヌマガエル。 また、南アフリカ共和国ステレンボス大学の研究者 1 名と県内 2 箇所で外来種アフリカツメガエルの生息実態調査を実施し、繁殖集団が存在することを確認した。

⑤ 房総の甲殻類誌

【担　　当】駒井智幸

【研究内容】房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種(外来種を含む)の公表を随時進める。ツノモエビ属やカイメンヤドリアナエビ属で未記載種が発見されているので年度内の発表を目指す。

【年度実績】地域連携課の業務のため、野外調査に出ることができず、新たな知見は得られなかった。隣接した相模湾から採集された資料を検討し、アミメスジエビ、アカムラサキエビの 2 新種を発表した。館蔵資料の検討を進め、同定結果は情報データベースに登録された。

⑥ 房総丘陵の昆虫相

【担　　当】尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、房総丘陵に特有の昆虫およびクモ類を記録する。

【年度実績】ヒメコマツの球果を食するガ類 3 種を発見し、その生態の一部を解明した。また、外来昆虫のキマダラカメムシをまだ記録のなかった君津市内で記録した。

⑦ 房総の土壌動物誌

【担　　当】萩野康則

【研究内容】房総に生息する多種多様の土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。

【年度実績】昨年度ソーティングしておいた千葉県内 23 地点の試料から得られたワラジムシ類、ヨコエビ類、ザトウムシ類、カマアシムシ類、半翅類、甲虫類など数千個体の土壌動物を館内外の各類の専門家に送付して、同定を依頼した。この内ヨコエビ類とザトウムシ類については同定が済み、標本も返却されたので館資料として登録した。

⑧ 房総の昆虫誌

【担　　当】樽　宗一朗

【研究内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とし、千葉県の記録の網羅、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。

【年度実績】県内において昆虫の調査を行い、千葉県初記録種 1 種を報告した。また、千葉県から記録のある甲虫についてデータベース化を進め、2025 年 1 月末時点の千葉県産甲虫は 3,276 種であることを確認した。

⑨ 房総の維管束植物誌

【担　　当】天野　誠、斎木健一、御巫由紀、山本伸子、西内李佳、浅野紗彩

【研究内容】千葉県印西市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。

【年度実績】過去に採集された標本と今回採集標本および目視のデータを比較して、草原性の植物と水辺の植物が採集されていないことが明らかになった。以前見られなかったナガエノツルノゲイトウのような特定外来種も採集された。

⑩ 房総丘陵の維管束植物相

【担　　当】尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。

【年度実績】東京大学千葉演習林においてムヨウラン類 3 種を確認した。うち 1 種は千葉県未記録の可能性があり、調査を継続している。

⑪ 房総の菌類誌

【担　　当】栃原行人

【研究内容】これまで房総半島の菌類相は大型菌類を主体として解明されてきたが、今後は微小菌類についても解明を目指す。特に、宿主植物およびその部位に強い特異性をもつビョウタケ目菌類を主な対象として、房総半島全域から標本採集を行って菌類相リストを作成するとともに、千葉県内の植生との相関等も考察する。

【年度実績】主に東京大学千葉演習林でビョウタケ目菌類のサンプリングを行った。十分な採集量を確保できなかったが、未記載種と思われる標本も得られた。

⑫ 房総の地衣類誌

【担　　当】坂田歩美、原田　浩

【研究内容】千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

【年度実績】本研究の成果を、デジタルミュージアム「房総の地衣類誌」に反映し更新した。チェックリストのデータを更新(未発表)するとともに、既に収集した標本から未記録種の洗い出しを行った。一部の種群について、県外産標本とともに検討中である。

(イ) 房総の生態学的多様性の特徴とその保全

① 生態園の生態系変遷に関する研究

【担　　当】西内李佳、尾崎煙雄、栗田隆気、小田谷嘉弥、栃原行人、山本伸子、斎木健一、樽　宗一朗、林　紀男、照屋清之介、後藤　亮、浅野紗彩、小林大純、坂田歩美

【研究内容】生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティアの協力を得て実施する。

【年度実績】生物全般についてほぼ毎日調査し、858 件以上の観察記録と 1,081 点以上の写真を収集した。植物および野鳥のモニタリング調査、舟田池の水質および生物調査を実施した。気象観測装置により気象データを収集した。開園以来または近年の調査の結果に基づき、春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの 35 年」を開催した。

② 房総のヒメコマツの保全生態学的研究

【担　　当】尾崎煙雄、西内李佳

【研究内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。

【年度実績】生育状況調査、進階個体探索調査、繁殖状況調査、補強試験区モニタリング調査、植栽試験区モニタリング調査を行った。球果食のガの幼虫を多数発見し、ヒメコマツ個体群に対するその影響を継続調査中。

③ 千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究

【担　　当】尾崎煙雄

【研究内容】ブナ科樹木萎凋病(通称：ナラ枯れ)はナラ菌 *Raffaelea quercivora* が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980 年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により 2017 年 8 月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の 1 種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。

【年度実績】房総丘陵、県北部、生態園においてナラ枯れのモニタリングを行い、千葉県内におけるナラ枯れが収束に向かいつつあることを確認した。また、樹木医向けに千葉県内のナラ枯れに関する講演を行った。

④ 侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究

【担　　当】林　紀男

【研究内容】侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。

【年度実績】県内全域を対象に、侵略的外来水生植物の河川・水路における繁茂状況の変遷を調査し比較検証した。結果は、県手賀沼事業「印旛沼におけるナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの大規模群落駆除」等に供与し事業達成に貢献した。手賀沼流入河川「大津川」および印旛沼流入河川「鹿島川」でのオオカワヂシャの繁茂拡大を検証した。

⑤ 房総の陸水性魚類の生態に関する研究

【担　　当】小林大純、後藤　亮

【研究内容】野外観察、微量元素分析や集団遺伝学などのアプローチによって、房総に生息する回遊生態・分散性が不明な陸水性魚類(特にハゼ類)の生活誌を解明する。本年はヨシノボリ属の分析サンプルの収集と野外観察を行う。

【年度実績】本年度は房総半島および近隣地域(栃木県、茨城県、東京都)のクロダハゼ種群を収集し、複数の解析に耐える資料を作成できた。また、系統解析の外群となる同属他種の収集も併せて行った。

ウ 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 房総丘陵における人々の生活と自然のかかわりに関する研究

【担　　当】島立理子

【研究内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたかを調査する。

【年度実績】房総丘陵(君津市山間部)における農業用水二五穴について調査を行った。地域住民が用水を維持管理していこうというモチベーションには、研究者などが地域を訪れ、アプローチしていることが大きいことがわかった。

② 房総における生業の複合的なありかたと環境について

【担　　当】小林裕美

【研究内容】近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。

【年度実績】北海道博物館で千葉県の女性の鉄道行商について発表し、また全国各地(愛媛県や鳥取県、北海道)の女性の行商の事例発表を聞き情報交換を行うことができた。研究を具体的に進めることはできなかった。

③ 千葉県内の神社由緒と祭礼に関する研究

【担　　当】鈴木建人

【研究内容】千葉県内の神社の縁起や神像・奉納物などの資料、分布や立地環境、そして祭礼のあり方から、房総三国の歴史的・文化的位置と時代変化について考察する。

【年度実績】千葉県の「おはまおり」習俗の成立を探る中で、全国の神社祭礼や民俗行事の中に残る「潮汲み」の習俗に着目し、千葉・神奈川を中心に神前に潮水・潮砂・海藻を奉献する事例を収集した。これにより、海浜で禊を行った証として海浜採取物が神前に供えられており、「おはまおり」もこうした禊の文脈で解される可能性に至った。論文発表準備中。

④ 房総における暮らしと民俗信仰の変遷

【担　　当】渡瀬綾乃

【研究内容】近現代の房総における暮らしの変化と、それによって民俗信仰がどのように変遷したのかを調査する。

【年度実績】万祝製作や、香取地域の民俗について調査し、その成果を特別展や講師派遣事業に還元した。

⑤ 房総の万祝製作に関する研究

【担　　当】玉井里奈

【研究内容】千葉県内で現在も継承されている万祝製作技術や作業の担い手、製品について調査し、現代における万祝の位置づけについて考察する。

【年度実績】万祝の配布時期や形態について、「江澤日記」(勝浦市教育委員会所蔵)をもとに考察。またマイワイ等の大漁祝着調査を継続。これら成果を基に令和 6 年度特別展「万祝博覧会―海をまとう―」開催、同図録執筆。

⑥ 利根川流域における民間信仰の成立と伝播に関する研究

【担　　当】榎　美香

【研究内容】利根川流域で現在まで継承されている行事や信仰について、その成立と変遷の過程を考察する。

【年度実績】印西市の観音信仰について調査を行った。

⑦ 房総の古墳出土副葬品に関する研究

【担　　当】石井友菜

【研究内容】千葉県内の古墳から出土する副葬品を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討する。
【年度実績】千葉県内の古墳から出土する副葬品のうち、主に銅鏡・石製品について実見調査を行い、製作技術について検討した。さらに、副葬品の年代検討の材料とするため埴輪の実見調査を行った。成果の一部は「発掘された日本列島2024」展に反映した。

⑧ 近世の房総における寺社と門前町の研究
【担　　当】須田華那
【研究内容】近世の房総における寺社および門前町のあり方を、周辺の社会との関係に着目して考察する。
【年度実績】近世房総の代表的な門前町である成田について史料調査を行い、館内外の講演会等を通して成果を還元した。

⑨ 千葉県地域美術史に関する調査研究
【担　　当】幅　大
【研究内容】戦後の千葉県美術会設立以前の県内の地域美術について、団体等の活動記録等を中心に調査研究を行う。
【年度実績】戦前の県内美術団体主要会員の遺族の所在調査を行い、所蔵する関係資料の目録化を進めたほか、新出資料について関係機関で補足調査を行った。

⑩ 中世の下総千葉氏に関する研究
【担　　当】園部華与
【研究内容】中世の下総千葉氏について、地域社会との関わりといった社会面を中心に、政治や文化などを多角的に考察する。
【年度実績】中世の下総千葉氏について史料調査を行い、ミュージアムトーク等の館内事業に還元した。

⑪ 古代房総の特産品に関する研究
【担　　当】小川宏和
【研究内容】古代房総から朝廷に貢納された特産品の生産と消費の実態について調査研究を行う。
【年度実績】古代房総の特産品であったアワビ、真珠、海藻に関する史料およびそれらの採集技術に関する史料の収集を行った。

⑫ 中世の房総における信仰の広がりに関する研究
【担　　当】小出麻友美
【研究内容】中世社会において重要な役割を果たした宗教勢力が、房総半島でいかに教線を拡大し、信者を獲得していったのかを調査する。
【年度実績】飯高檀林をはじめとする、前近代の房総に所在した学問所に関する文献や資料の収集を行った。その過程において、上総国において刊行された古活字本の編纂及び出版の過程を明らかにすることの重要性を再認識するに至った。次年度以降はこの点に関しても引き続き資料収集を続けていく予定である。

エ　博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

① 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究
【担　　当】榎　美香、友田暁子、萩野康則、小出麻友美、千葉友樹、小林大純、天野　誠、樽　宗一朗、御巫由紀
【研究内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためは、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
【年度実績】継続的な温湿度管理、燻蒸処理、トラップ調査などを行いながら、現行の燻蒸薬エキヒュームＳに代わる燻蒸方法の調査、検討を行った。また、固定展示ケース内のミスト燻蒸の検討と実施を行った。

② 旧千葉県薬草園生薬標本コレクションと千葉県における生薬・伝統薬に関する研究
【担　　当】御巫由紀、山本伸子、丸山啓志、鈴木建人
【研究内容】中央博物館で旧千葉県薬草園生薬標本コレクションを受け入れることをきっかけとしてコレクションの内容を詳細に調査し、合わせて千葉県における生薬や伝統薬の生産・活用について、多面的なアプローチで研究を行う。
【年度実績】旧千葉県薬草園生薬標本コレクションの概要調査に加えて、岩石鉱物標本について詳細を検討した。また、当館所蔵の貴重書のうち生薬について記載がある資料(大和本草等)を確認した。内藤記念くすり博物館、少彦名神社くすりの道修町資料館等、生薬について展示している他館の調査も行った。

(3) 普遍研究

ア 地球誌系(地形地質学的多様性に関する基礎研究)

① 東北日本弧新第三紀火山活動の特質
【担　　当】高橋直樹
【研究内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的関係を中心に調査を進める。
【年度実績】栃木県真岡市の「磯山石」石材(凝灰角礫岩)、並びに、同県茂木町の「茂木石」石材(凝灰岩～凝灰角礫岩)を観察し、これらの石材を供給した新第三紀前期中新世中川層群茂木層の岩相のバリエーションを確認した。玄武岩～安山岩質噴出物と流紋岩質噴出物(軽石)の混在が確認され、群馬県太田市の「藪塚石」(藪塚層)とも類似し、新第三紀前期中新世に北関東地域に広く共通した火山活動が存在したことが暗示された。

② 日本産化石十脚甲殻類の分類と古生態

【担　　当】加藤久佳

【研究内容】主として東日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状、共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。

【年度実績】宮城県の三畳系や福島県の白亜系から得られている十脚甲殻類化石の検討を継続した。前者はこれまでに知られていない種であり、後者は北米白亜系から近縁の種が産出していることがわかった。

③ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

【担　　当】伊左治鎭司

【研究内容】白亜系手取層群(福井県・石川県)の淡水生貝類化石および白亜系銚子層群(千葉県)の海生貝類化石について、未記載の微小種を中心に、その多様性を明らかにし、幼生生態や古生物地理を議論する。

【年度実績】白亜系銚子層群の貝類化石調査に伴って産出した微小化石を調査し、白亜紀バレミアン期として世界初となる海水魚類の耳石化石を国際誌に報告した。銚子層群の微小貝類については、2025 年 2 月に開催された微化石シンポジウムにおいて、一般向けに講演した。

④ 日本列島及び関連する海外地域の花粉・環境誌

【担　　当】奥田昌明

【研究内容】化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。また、令和 5 年度に採択された科研費を用い、チバニアンの競合地となったイタリア 2 地点に渡航して、化石花粉を含んだ現地露頭を調査する。

【年度実績】令和 8 年夏に実施予定のチバニアン GSSP に係る特別展の目玉のひとつとして、チバニアンの競合地となったイタリア 2 地点に渡航調査する予定だったが、上記の特別展が令和 10 年夏に順延実施となったため、渡航予定も 1 年遅らせ、令和 7 年度に実施することとし、財源である科研費の海外旅費も次年度へ繰り越すなど、順延に向けた諸手続きを行った。

⑤ 日本列島の最終氷期以降の植生変遷

【担　　当】西内李佳

【研究内容】最終氷期(主に 2〜3 万年前)から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】長野県北部の山岳地域において、低標高域と高標高域の 2 地点で採取した最終氷期以降の湿原堆積物と、周辺地域の露頭から採取した同時代の堆積物の分析を進めている。

⑥ 日本海形成に関わる銚子火山岩の地球化学的研究

【担　　当】大木淳一

【研究内容】銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。

【年度実績】今年度は実施できなかった。

⑦ 化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義

【担　　当】丸山啓志

【研究内容】ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態(頭骨など)を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因(機能形態学的・系統的など)を統計学的手法から明らかにする。

【年度実績】これまで集めたイルカ類頭骨の 3D データに加えて、スジイルカ頭部の X 線 CT スキャンを行い、骨格と軟体部との関係性についても取り組んだ。この資料に関して、1 件、学会発表を行なった。

⑧ 人新世の生物学

【担　　当】千葉友樹

【研究内容】浅海域の堆積物(砂、泥、貝殻など)から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。

【年度実績】福島県相馬市松川浦において、4 本の堆積物コアを採取した。堆積物コアの剥ぎ取り標本を製作し、堆積相を記載した。堆積物コアに含まれる貝殻の拾い出しを進めている。

⑨ 西南日本の古第三紀から新第三紀地質体発達史の解明

【担　　当】菊川照英

【研究内容】南西諸島から房総半島にかけて分布する西南日本外帯の古第三紀から新第三紀の地質体に関して、その層序や年代、構造を明らかにし、その地域全体の形成過程や地史を復元する。

【年度実績】種子島に分布する始新-漸新統、室戸半島に分布する始新統、三浦半島に分布する中新統、瑞浪に分布する中新統、熊野に分布する中新統の地質調査を実施した。種子島の地質調査の結果判明した層序・年代・構造に関する論文を投稿し、受理・掲載された。また、種子島、三浦半島、瑞浪の調査・研究で得られた成果を各種学会や研究集会で公表した。他地域についても同様に研究中であり、成果は速やかに論文や学会で公表予定である。

⑩ 島弧斜め衝突帯の地殻構造改変に関する地形学的研究

【担　　当】山中　蛍

【研究内容】関東〜中部の複雑な地形環境の成立要因として、第四紀におけるフィリピン海プレートの北西進を反映した伊豆弧の本州弧に対する右斜め衝突運動に着目する。本州弧中央部と伊豆弧北端部を対象に活構造の分布・運動様式・運動速度・活動開始時期および活動履歴を解明し、それらの変遷にもとづいて島弧の斜め衝突に伴う地殻構造改変がどのような時空間スケールで生じるかを考察する。

【年度実績】海域活断層の平均的運動速度および活動履歴を解明する手法構築に向けて、2024 年に地震性海岸隆起が観測された能登半島を対象として、海岸部の地形調査を実施した。

イ 生命誌系

(ア)分類学的多様性に関する基礎研究

① 十脚甲殻類の分類

【担　　当】駒井智幸

【研究内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。環境 DNA 分析も広く試行されるようになってきているので、16S rRNA マーカーの配列の蓄積も進める。

【年度実績】館蔵資料の研究の他、国内外の研究機関からの同定依頼に対応し、新知見について 10 編の英文原著論文を公表した。10 新種が記載された。これらの新種について COI、16S rRNA の塩基配列が GenBank に登録された。アンダマン海から報告されたトゲヒラタエビ属の 2 種は今回の論文で初めて詳細な記載が公表された。

② 地衣類の多様性に関する研究

【担　　当】原田　浩・坂田歩美

【研究内容】主として日本および周辺地域を対象として、地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1)「日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開」(科研費)、(2)海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、(3)東アジア産(主に中国雲南省)地衣類の分類学的研究、(4)石造文化財上の地衣類の多様性解明、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

【年度実績】海岸生アナイボゴケ科 1 新種を記載、石灰岩生ツブノリ科 2 新種を記載した。栃木県産のモクハンゴケ、西表島のマルゴケ属 17 種(日本新産 4 種を含む)、同島産のシロトゲミゴケ(日本新産)、台湾産のマルゴケ属 12 種(1 新種を含む)を詳細に報告した。市民研究員の成果として、苗場山の地衣類相を報告した。デジタルミュージアム「日本の地衣類(ウェブ図鑑)」の掲載種 700 種を超えるとともに、画像を追加した。

③ 日本産地衣類の分類学的研究

【担　　当】坂田歩美

【研究内容】リトマスゴケ科を中心に日本産地衣類の分類を形態、分子系統、含有成分に基づいて明らかにする。

【年度実績】日本産ツノマタゴケモドキについて、形態観察、含有化学成分分析、分子系統解析を行った。

④ 樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発

【担　　当】坂田歩美、宮　正樹

【研究内容】樹幹流を利用した樹上生物多様性モニタリングの新たな基盤技術の開発を行う。

【年度実績】東京大学千葉演習林と屋久島で樹幹流回収を行い、環境 DNA を抽出した。また、前年度に青葉の森公園で採取したサンプルを用いて、DNA 抽出前の破砕処理が環境 DNA メタバーコーディングに与える影響を検討し、その成果は Metabarcoding and Metagenomics に掲載された。

⑤ バラ属植物の香りの研究

【担　　当】御巫由紀

【研究内容】バラ属の野生種、オールドローズ、現代品種の香りを分析し、フルーツ香の香りの起源を明らかにする。

【年度実績】フルーツ香の香りに混じる成分として知られる、中近東のバラ属野生種ロサ・フォエティダの不快臭成分(2,4-デカジエナール, 2,4-デカジエノール)の、他のバラ属野生種での分布を明らかにした。また、ポリアンタ系統などノイバラ由来の品種群の香りに、カメムシのフェロモンである 2,4-デカジエン酸メチル(2,4-DD)及び 2,4,6-デカトリエン酸メチル(2,4,6-DT)が含まれることを発見した。

⑥ 環境 DNA メタバーコーディング法の改良・開発・実践

【担　　当】宮　正樹、後藤　亮

【研究内容】魚類環境 DNA メタバーコーディング法(同時並列多種分析法)を日本各地・世界各地のさまざまな生態系に適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。また、多地点高頻度魚類多様性モニタリングを可能にするため、調査法・実験法の改良を試みる。

【年度実績】房総半島 11 地点の環境 DNA 月別定期調査を 12 回実施した。また、屋久島、竹島、黒島、沖縄本島、甑島、五島列島、神津島、八丈島、宮古島の環境 DNA 調査を実施した。これらの調査から得られた計 328 サンプルについて MiFish 法を用いた超並列シークエンスを行い魚類群集構造を明らかにした。また、環境 DNA を用いた魚類メタバーコーディングにおける潮汐の影響を評価した論文を出版した。

⑦ 関東地方に生息するメダカの系統及び分布に関する研究

【担　　当】後藤　亮

【研究内容】メダカは関東地方に固有の系統がいることが知られている。環境 DNA メタバーコーディング法を用いて、各系統がどのように分布しているのか明らかにする。

【年度実績】本年度は、千葉県・神奈川県・栃木県の範囲で調査を実施した。調査を進めていく過程で、通常魚類の環境 DNA メタバーコーディングに使用される MiFish プライマーでは、コイ等の多く生息する魚類にリード数が多く採られメダカの検出力が低下することがわかった。そのため新しくメダカ専用のプライマーを作成した。このプライマーを用いて実験したところ、神奈川県の 2 地点で関東固有系統が検出された。

⑧ アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究

【担　　当】栗田隆気

【研究内容】アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間(有鱗目)が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。

【年度実績】沖縄県久米島で科学研究費の研究課題に関係する調査を実施し、同島の爬虫両生類の標本および遺伝子分析用検体を収集した。マレーシア サラワク州のサントゥボン国立公園から発見したヤモリ類の 1 新種を国際学術誌上で発表した。また、ブルネイ・ダルサラームで予備的調査を行い、未記載種の爬虫類を含む資料を収集した。

⑨ 高山帯における植物分類学的研究

【担　　当】天野　誠

【研究内容】高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。

【年度実績】ヒマラヤおよびヨーロッパの標本約 200 点を貼り付け、配架した。

⑩ 糞ハンズオン標本の研究

【担　　当】丸山啓志

【研究内容】様々な動物の糞ハンズオン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の 3 次元データを CT スキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。

【年度実績】これまで蓄積した、糞ハンズオン標本製作のノウハウについて、館外研究者へのフィードバックを行った。

⑪ アリヅカムシ亜科甲虫の分類学的研究

【担　　当】樽　宗一朗

【研究内容】日本を中心としたアリヅカムシ亜科について分類学的研究を行い、ファウナを明らかにする。

【年度実績】千葉県を含む関東地方にて調査を行った。

⑫ 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究

【担　　当】萩野康則

【研究内容】日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。

【年度実績】昨年度ソーティングしておいたエダヒゲムシ類約 850 個体をプレパラート化した。

⑬ 日華区系植物の分類学的研究

【担　　当】山本伸子

【研究内容】千葉県をはじめとする日本の植物相の起源と成立を解明するために、分類学的観点から東アジア・ヒマラヤ地域における維管束植物の解析を行う。

【年度実績】東ネパール・タプレジュン地域で植物相の調査を行った。また、千葉県を中心にサンプルの採取および標本作成を行った。

⑭ 海産貝類の分類学的研究

【担　　当】照屋清之介

【研究内容】日本列島に分布する海産貝類を対象として分子系統、形態、生態等の観点から分類学的研究を行う。

【年度実績】日本列島に分布する海産貝類を対象として分子系統、形態、生態等の観点から分類学的研究を行った。成果として、査読済みを含め論文・報告 4 編の執筆し、研究発表 5 回を行った。

⑮ 魚類の分類と生活史

【担　　当】小林大純

【研究内容】インド太平洋の陸水魚を中心とする世界の魚類について系統を考慮した分類学的研究を行うとともに、回遊様式をはじめとする各種の生活史についても検討する。

【年度実績】本年度はインドネシア(スラウェシ)およびマレーシア西部(エンダウ)にてノコギリハゼ科、コモチサヨリ科、メダカ科を中心に標本収集を行い、それぞれに関する分類学的な研究と新種記載論文の執筆を進めた。また、フィリピン産淡水魚標本について調査を行い、トウゴロウメダカ科の北限集団の発見など、今後の生物地理的研究の基礎となるデータを収集できた。

⑯ 植物宿主に特異的な微小菌類の分子系統地理

【担　　当】栃原行人

【研究内容】植物宿主に対して強い選択性をもつ微小菌類について、国内からの網羅的サンプリングと SNP データを用いた解析に基づき、分布や遺伝構造、および種分化のプロセス等を解明する。

【年度実績】鹿児島県および沖縄県の島嶼、および小笠原諸島を訪れ、対象となる微小菌類およびその宿主植物のサンプリングを行った。

(イ) 生態学的多様性の維持機構に関する基礎研究

① ヤドリギ類の生態学的研究

【担　　当】尾崎煙雄

【研究内容】半寄生植物のヤドリギ類(ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等)の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。

【年度実績】千葉県内におけるヤドリギ類の分布調査を行った。また、マツグミを食草とするマツグミヒメハマキの生態調査を行った。

② 水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証

【担　　当】林　紀男

【研究内容】水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。

【年度実績】環境生態工学の視点を取り入れた舟田池での水位攪乱による水環境保全技術を、環境省自然環境局皇居外苑管理事務所が所管する「皇居外苑濠」に適用し、外苑濠の水環境保全に役立てた。

③ ジシギ類とヤマシギの生活史および分類学的研究

【担　　当】小田谷嘉弥

【研究内容】ジシギ類とヤマシギ(チドリ目シギ科)について、野外での捕獲調査や博物館標本の調査を行い、渡りや換羽等の生活史の記載および分類学的問題の解決を目指す。

【年度実績】2024 年 4-5 月及び 7-10 月にジシギ類、2024 年 10 月から 2025 年 3 月にヤマシギの捕獲標識調査を実施した。ヤマシギには GPS タグを装着し、渡り経路の追跡調査を開始した。

④ 絶滅危惧植物の生息域外保全に関する生態・遺伝学的研究

【担　　当】浅野紗彩

【研究内容】博物館で行われる絶滅危惧植物の生株維持、種子保存などの生息域外保全について、現在の取り組みが長期的な保全に有効か検証し、より効果的に生息域外保全を実行する手法について検討する。

【年度実績】各国の絶滅危惧植物の生息域外保全状況を調査し、日本国内で行われている保全状況との比較検討を行った。

ウ　人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 近代日本におけるマッチラベルの果たした役割

【担　　当】島立理子

【研究内容】マッチラベルをメディアとしてとらえ、近代日本におけるマッチラベルの果たした役割について考える。

【年度実績】研究のための基礎資料として、中央博物館所蔵の吉澤貞一マッチラベルコレクション(75 万点)の整理作業を行った。

② 民俗文化の伝播と伝承について

【担　　当】小林裕美

【研究内容】講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。

【年度実績】「房総のお浜降り習俗」のなかでも、旧埴生郡の祇園、勝浦の祭礼について重点的に調査を行い、記録映像と解説書をまとめた。

③ 生業や民俗技術の継承に関する研究

【担　　当】玉井里奈

【研究内容】生業や、生活と結びついて継承されてきた民俗技術が、社会環境が変化する中でいかにして継承されているかを研究する。

【年度実績】1. 千葉県内の養蚕について：県内農家へのフィールドワークを実施。千葉県の養蚕に関する統計資料を調査した。2. 門松カードについて：千葉県内で配布されている門松カードを中心に収集。門松カードの使用方法についても情報収集を行った。

④ 民俗知識の継承と情報伝達について

【担　　当】榎　美香

【研究内容】地域ごとに継承されてきた民俗知識や民俗技術、また相互の情報伝達の系譜などについて調査研究を行う。

【年度実績】東京湾の神社の屋根材から発見された絵馬の分類及び近年まで製作されていた東上総の小絵馬等の比較から、江戸から内房、そして外房地方にまで広まっていった絵馬習俗の変化の様相を展示で紹介した。

⑤ 河川の流域における信仰の伝播と変容

【担　　当】渡瀬綾乃

【研究内容】河川の流域(とくに利根川)における信仰の広がりや地域ごとの変容について考究する。

【年度実績】利根川流域の絵馬調査を行い、絵馬に描かれた事象から暮らしの変遷を把握した。千葉県内の犬供養の調査を行い、資料を収集し、成果を学会で発表した。〃

⑥ 寺社祭礼の歴史的変遷と地域社会との関わりについて

【担　　当】鈴木建人

【研究内容】寺社祭礼の歴史的変遷から、地域における社会構造の変化や都市文化の影響、祭礼由緒を通じた地域の人々のアイデンティティ形成について考察する。

【年度実績】旭市浦賀神社、香取市香取神宮において祭礼調査を行った。前者は 12 年毎に行われる式年の祭礼であるため、祭りを取り巻く社会環境の変化に比例して参加者が感じる祭礼の意義や神社に対する意識が前回と今回で大きく変わっているように見受けられた。反面、古いものを残すことに価値を感じる人々によって堅守されている部分もあり、地域の中での意識の濃淡が浮彫になっていた。

⑦ 近世の都市における寺社境内地の動向

【担　　当】須田華那

【研究内容】近世の都市における寺社境内地の動向について、主に隠売女(非公認の売春)の取締という視点から考察する。
【年度実績】岡場所でもあった江戸の門前町について史料調査を実施した。また、新たに比較的小規模な寺社地を対象に、史料調査・講読を進めた。

⑧ 中世法と社会の様相に関する研究
【担　　当】園部華与
【研究内容】中世前期に発令された法を中心に、収集・整理をし検討することで、法の特徴や当時の社会様相について考察する。
【年度実績】鎌倉幕府関係の法令史料を中心に、史料調査・収集を実施し、中世前期の法の特徴について調査を進めた。

⑨ 明治以降の学校教育と教員の様相
【担　　当】石渡克彦
【研究内容】明治以降、政治的背景や思想的背景のもと変遷していく学校教育のなかで、最前線でその対応を担った教員たちに焦点を当て、その様相を考察する。
【年度実績】明治～戦前の小学校・師範学校の教員を中心に、任用年・所属・職名などの基礎データ収集、および私文書・千葉教育会機関誌などを手掛かりに情報収集を進めた。

⑩ 日本古代の物質文化
【担　　当】小川宏和
【研究内容】日本古代における生産技術、道具と身体の関係、物がもつ象徴性について調査研究を行う。
【年度実績】論文「平安時代の鵜飼－異文化としての古代鵜飼－」卯田宗平編『鵜飼の日本史－野生と権力、表象をめぐる 1500 年』(昭和堂　2025)

⑪ 文献史料を用いた中世の儀礼と身分秩序の在り方に関する研究
【担　　当】小出麻友美
【研究内容】中世社会における儀礼及び身分秩序の在り方や地域社会における変容について、文献史料の分析を通じて検討する。
【年度実績】香取神宮など、畿内の中央勢力と強いつながりを持つ宗教的拠点において催される儀礼を対象として、その変遷過程を中世前期の古記録類を用いて検討した。

エ 博物館誌系(博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎研究)

① 展示や展示物のイメージに関する基礎的研究
【担　　当】丸山啓志
【研究内容】来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える指針となる。本研究では、①展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、②様々な来館者にやさしい展示に関する研究、③“クジラ・イルカ”を例とした展示物に関する研究、④新型コロナウイルス感染症の影響に関する研究、以上 4 つの課題を基に多角的に取り組む。
【年度実績】①イメージへの解析について形態素解析を行った、②ミュージアム・アクセシビリティへの取り組みについて情報収集を行った。③コロナ後についてのアンケートを実施した。④関連する展示情報収集を行った。

② 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発
【担　　当】丸山啓志・髙橋一真
【研究内容】これからの博物館の役割として社会や地域の課題への対応が望まれている。とりわけ、様々な要因によって来館の難しい人がおり、アクセス可能なプログラムを開発する必要がある。そこで、千葉県下で知名度が高い「チバニアン」というテーマで、アクセシビリティの高い地域学習プログラムの開発に取り組む。
【年度実績】チバニアン期を題材とした教材を用いて、博物館について知ってもらうために、出前展示や盲学校での授業を実施した。この結果は、記事・報告を 2 編公表し、学会発表を 5 件実施した。また、併せて行った資料の 3D 化についても、記事・報告を 1 編公表し、学会発表を 7 件行った。

③ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践
【担　　当】大木淳一
【研究内容】未就学児、小学生、中学生の各子どもの発達段階において、「蜃気楼」を教材として授業に取り上げながら、身近な自然現象へ興味を抱く教育プログラムを博学連携を通して開発し実践する。これにより地域の魅力を発見することで、子ども達の郷土愛を育み身近な自然への関心を誘う。
【年度実績】九十九里町のこども園 5 才児組と小学校 1 校の 6 年生対象に、蜃気楼を題材に授業を実施した。こども園では逃げ水を中心に野外で観察し、室内で蜃気楼の水槽実験をすることで、身近に起きる不思議な現象を体験した。望遠鏡を使ってツバメの子育てを授業前に観察することで、望遠鏡の扱いにも慣れることが分かった。小学校では総合的な学習の時間を活用し、年間を通して蜃気楼を学ぶことができた。

④ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究
【担　　当】水野大樹
【研究内容】学校と博物館が連携した事業の一例である自由研究支援事業を対象として、学芸員による助言指導が児童・生徒の学びにどのような効果をもたらしているか明らかにする。
【年度実績】昨年度に引き続き、夏休みの自由研究相談会の参加者に対してアンケート調査を実施した。その結果、参加者の多くは作品展等への出展へ意欲があり、博物館へ相談した方が良いと回答していたが、学校の先生以外の指導を受

けたことがある参加者は少なかった。この傾向は昨年度と同様であり、博物館における自由研究支援事業が児童・生徒の自由研究の遂行上有益に機能している可能性があることが示された。

⑤ 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担　　当】髙橋一真、石渡克彦

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】博物館の最大の強みは「触れることのできる標本」だと考え、博物館学習に取り組んだ。今年度は千葉盲学校と連携した授業を学芸員の協力を得ながら3回実施した。これにより、視覚に障害を持つ児童生徒を対象にした場合、標本のもたらす影響は大きく、効果的に学習を進めることができた。また、博物館における合理的配慮について理解を深めるため、特別支援教育課より2名の講師を招き、博物館職員対象の研修会を二度開催した。当館を多くの学校に利用していただくため、今後も博物館学習の内容を精査していきたい。

⑥ 明治期から戦前にかけて収集された哺乳類標本の保管状況に関する研究

【担　　当】下稲葉さやか

【研究内容】日本では、明治期に近代的動物学が欧米より取り入れられて以降、多くの標本が制作・蓄積されてきた。戦前に収集された哺乳類標本を中心に保管状況を調査し、それらの標本の収集・移管・損失の経緯を明らかにする。

【年度実績】兼務のため、調査は実施できなかった。これまでの調査による普及書を執筆した(出版は来年度以降)。

⑦ 千葉県近代博物館史に関する調査研究

【担　　当】幅　大

【研究内容】昭和40年代の県立博物館整備開始以前の近代博物館について調査研究を行い、地域社会における博物館の役割について歴史的に考察する。

【年度実績】昭和30年代の県立富津海洋資料館について、当時の県関係者が所蔵する資料の目録化を行った。

⑧ 学校に保管されている自然誌標本の実態把握と活用方法開発に関する研究

【担　　当】斎木健一、奥野淳兒、黒住耐二、下稲葉さやか、樽　宗一朗

【研究内容】高等学校等に保管されている自然誌標本の保管状況を調査し、学校および博物館における、これらの標本の活用方法を検討する。

【年度実績】これまでの調査結果をもとに、高等学校における自然誌標本の保管・活用を図るための取り扱いマニュアルを編集、発行した。また、標本の記録が残されている媒体として生物部誌に注目し、調査結果を学会で発表し、生物部誌の保存を訴えた。

2 外部資金等による研究

(1)文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① 環境DNAによる沿岸海洋生物多様性の網羅的動態把握に向けた最新技術の実装と検証

【担　　当】宮　正樹

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和4年度／3年間

② 学校に収蔵された標本類を通した博学連携

【担　　当】斎木健一

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和2年度／5年間

③ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践

【担　　当】大木淳一

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／4年間

④ 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発

【担　　当】丸山啓志

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／4年間

⑤ 植物方言を地域研究資料として位置付けるための実践的な研究

【担　　当】島立理子

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／3年間

⑥ 堆積物中の貝殻に基づく干潟貝類の捕食-被食関係の解明と将来予測

【担　　当】千葉友樹

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／4年間

⑦ 千葉県市原市チバニアン露頭の化石花粉に基づいたMIS19間氷期の古気温定量復元

【担　　当】奥田昌明

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和5年度／3年間

⑧ 実験考古学的手法を用いた古墳時代石製品の穿孔技術の解明

【担　　当】石井友菜

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和5年度／3年間

⑨ メダカ関東地方固有系統とは何者か？ ―環境 DNA とゲノム解析からせまる―
【担　　当】後藤　亮
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和 5 年度／3 年間
⑩ 樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発：地衣類をモデルとして
【担　　当】坂田歩美・宮　正樹
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和 5 年度／3 年間
⑪ ゲノムワイドな相同領域に基づいた琉球列島の生物系統地理パターンの種間比較と標準化
【担　　当】栗田隆気
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和 6 年度／3 年間
⑫ 洞窟性魚類におけるゲノムサイズ多様性が駆動する適応形態の進化機構の解明
【担　　当】小林大純
【研究種目／開始年度／期間】特別研究員奨励費／令和 5 年度／3 年間
⑬ 黒姫山における最終氷期末期以降のオオシラビソ林形成過程に湿地が果たした役割
【担　　当】西内李佳
【研究種目／開始年度／期間】若手研究／令和 2 年度／5 年間
⑭ ホスト特異的菌類を対象とした植物-菌類の地理的変異のパターン解明
【担　　当】栃原行人
【研究種目／開始年度／期間】 若手研究／令和 5 年度／3 年間
⑮ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究　―児童・生徒と学芸員による博学連携―
【担　　当】水野大樹
【研究種目／開始年度／期間】若手研究／令和 4 年度／4 年間
⑯ 40 年間の半自然草原の植物群落動態：土地利用の変化・気候変動・草食獣の複合的影響
【担　　当】大津千晶
【研究種目／開始年度／期間】若手研究／令和 5 年度／4 年間
⑰ 生痕化石の微化石保存ポテンシャルの解明と新たな地質学的手法への適用
【担　　当】菊川照英
【研究種目／開始年度／期間】研究活動スタート支援／令和 5 年度／2 年間
⑱ 日本古代におけるアユの象徴性に関する研究
【担　　当】小川宏和
【研究種目／開始年度／期間】研究活動スタート支援／令和 6 年度／2 年間
⑲ 海成・河成段丘の一体的な形成史復元による海底活断層の変位繰り返しパターンの解明
【担　　当】山中　蛍
【研究種目／開始年度／期間】研究活動スタート支援／令和 6 年度／2 年間

イ　研究分担者
① 自然に関する文化的資産の保全・劣化要因の把握と教育・観光資源化にむけた検討
【研究分担者】島立理子
【研究代表者】柴崎茂光(東京大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和 3 年度／4 年間
② 日本沿岸海域の時系列環境 DNA データベースに基づく魚類生態の解明
【研究分担者】宮　正樹・後藤　亮
【研究代表者】吉武和敏(東京大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和 5 年度／3 年間
③ 長期定点観測と化石を併用した貝類・貝形虫類の環境激変イベントからの回復過程の比較
【研究分担者】千葉友樹
【研究代表者】佐藤慎一(静岡大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和 3 年度／4 年間
④ 侵略的外来生物対応における不適合メカニズムと政策革新の社会的要因の解明
【研究分担者】林　紀男
【研究代表者】上河原献二（滋賀県立大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和 6 年度／3 年間

(2) その他の助成金による研究
ア　研究代表者
① 東アジアにおける狩猟鳥ヤマシギの渡り経路の解明
【担　当】小田谷嘉弥
【助成名】公益財団法人中辻創智社　中辻創智社 研究費助成
【期　間】令和 6～7 年度

イ　研究分担者　実績なし

(3) 他機関との共同研究
ア　研究代表者　実績なし

イ　研究分担者
①「人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト
「横断的・融合的地域文化研究の領域展開：新たな社会の創発を目指して
国立歴史民俗博物館ユニット
「フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発」
【研究分担者】島立理子
【機関名】国立歴史民俗博物館
【期間】令和 4～9 年度
②「延喜式のデジタル技術による汎用化」
【研究分担者】小川宏和
【研究代表者】三上喜孝
【機関名】国立歴史民俗博物館
【期間】令和 4～9 年度
③「日本人にとって鳥とは何か―鳥の文化誌をめぐるＴ字型学際共同研究―」
【研究分担者】小川宏和
【研究代表者】卯田宗平
【機関名】国立民族学博物館
【期間】令和 6～9 年度

3　研究成果の公表・周知

(1) 自然誌シンポジウム「都市の中につくられた自然「生態園」のこれまでとこれから」
ア 開催日　3月9日(日)(会場：本館講堂)
イ 内　容　春の展示「生態園からはじめる房総の自然観察」に合わせて開催した。
① 講　演
西内李佳(千葉県立中央博物館)「生態園と研究員たちの35年」
大野啓一(千葉県立中央博物館　共同研究員)「生態園の植生の変遷と管理」
林　紀男(千葉県立中央博物館)「水位攪乱による池の水環境保全」
大庭照代(千葉県立中央博物館　共同研究員)「生態園の鳥類調査40年～バードガイド・野鳥調査員・ボランティアとともに」
下田彰子(国立科学博物館附属自然教育園)「都市の中の森の役割と目指す姿～自然教育園の事例から～」
吉田正人(筑波大学)「生態園のこれからを考える～都市における生物多様性保全の観点から」

(2) 中央博セミナー(会場：本館講堂・会議室)
① 4月16日(火)
宮　正樹　「研究者としてのキャリア形成と研究費の獲得：生成AIの活用による新時代の到来」
島立理子　「調書作成のコツ」
② 5月21日(火)
小田谷嘉弥　「ジシギ類の謎を解き明かす」
小川宏和　「異文化を「読む」―日本古代の鵜飼を例として―」
③ 6月18日(火)
栃原行人　「ミクロなきのこの多様性に迫る」
山中　蛍　「地形から探るプレート衝突帯の活断層と地殻変動」
④ 7月2日(火)
小林大純　「旅する魚たち、両側回遊性魚類の生物学的研究」
園部華与　「法にみる都市鎌倉の様相」
⑤ 11月27日(水)
榎　美香　「描かれた里山生態園 ～明治中期の房総の四季耕作図～」
⑥ 2月9日(日)
福地毅彦　「謎だらけの明治の美しい金魚たち～海を渡った幻の博物画家伊藤熊太郎～」
⑦ 3月11日(火)
宮　正樹　「新技術の開発で読み解いた魚類3万5千種の進化と生態：研究の軌跡40年を振り返る」
⑧ 3 月 21 日(金)
高橋直樹　「中央博で過ごした 36 年＋α」

⑨ 3月25日(火)
米谷　博　　「利根川下流域の石造物を読む」

(3)自然誌フェスタ-みんなで楽しむ千葉の自然と歴史-
市民団体・中央博サークル等による活動の紹介。10団体が参加した。令和4年度から参加募集を公募式に変更した。
ア 開催日　11月3日(日・祝)
イ 参加団体
市宿おばあちゃんの畑、千葉菌類談話会、千葉県昆虫談話会、千葉県生物学会、千葉県生物多様性センター、千葉県地学教育研究会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、中央博サークル歴史サークル、房総貝類談話会(五十音順)

(4) 研究報告の発行
ア 千葉県立中央博物館研究報告 17巻2号 2025年3月31日発行
① 山中　蛍・高橋直樹「人為作用による下総台地の地形変化の定量的可視化 ―千葉県立青葉の森公園周辺の例―」pp. 119-129
② 奥野淳兒・金子美織・松本光史「千葉県勝浦市および御宿町におけるマルオヘラムシ *Pentidotea rotundata* Richardson(甲殻亜門: 等脚目)の記録」pp. 131-134
③ 照屋清之介・寺本沙也加・宮崎息吹・吉田隆太・黒住耐二「2018-2019 年に千葉県館山湾からドレッジにより採集された貝類」pp. 135-142
④ 川村清志・柴崎茂光・島立理子・田中理恵子・真柄　侑「千葉県南房総地域における盆花利用の変容」pp. 143-151

4　研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆
※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メルマガコラム」を参照のこと。
【副館長】
小田島高之
普及書
・小田島高之. 2024. 野外を歩く楽しさ. 博物館研究. 59(8): 4-5.
【企画調整課】
伊左治鎭司
学術論文・学術書
・Miyata, S., S. Isaji, K. Kashiwagi and H. Asai. 2024. The first record of Lower Cretaceous otoliths from the Kimigahama Formation (Barremian) of the Choshi Group, Chiba Prefecture, Japan. Palaeontologia Electronica. 27: 1-23.
普及書
・宮田真也・伊左治鎭司・柏木健司・浅井秀彦. 2024. 世界初！白亜紀バレミアン期の地層から海水魚類の耳石化石を発見！ ～千葉の大地から探る恐竜時代の魚類化石～. 中央博物館ウェブサイト研究紹介コーナー. 6 pp
山本伸子
普及書
・山本伸子. 2025. 春はさくら. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 88: 1-2.
菊川照英
学術論文・学術書
・Kikukawa, A., Y. Nakamura, K. Kikuchi, N. Furukawa and Y. Aita. 2024. Exceptionally well-preserved radiolarian fossils within Miocene trace fossils from the Amatsu Formation, Chiba, Japan. Lethaia. 57(3): 1-20.
・菊川照英・相田吉昭・小竹信宏. 2024. 鹿児島県種子島北部、田之脇-沖ヶ浜田地域に分布する古第三系熊毛層群の地質. 地質学雑誌. 130(1): 313-328.
鈴木建人
普及書
・鈴木建人・幅　大・玉井里奈・渡瀬綾乃. 2024. 万祝博覧会-海をまとう-. 87pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.
【事業部長】
島立理子
学術論文・学術書
・川村清志・柴崎茂光・島立理子・田中理恵子・真柄　侑. 2025. 千葉県南房総地域における盆花利用の変容. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(2): 143-151.
普及書
・島立理子. 2024. 写真のチカラ. REKIHAKU　特集・カメラ越しの世界. 13: 35-38.

【教育普及課】

大木淳一

普及書

・大木淳一. 2025. 九十九里は日本一蜃気楼が見える街. 豊海地区社協だより. 33: 4.

幅　大

普及書

・鈴木建人・幅　大・玉井里奈・渡瀬綾乃. 2024. 万祝博覧会-海をまとう-. 87 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

小林裕美

普及書

・小林裕美. 2024. 房総の祭り　関万歳-九十九里町片貝の春の祭り-. ひまわり倶楽部. 61: 24-25.

・小林裕美. 2025. 「房総のお浜降り習俗」記録映像解説書-勝浦の秋祭り・旧埴生郡の祇園・松澤熊野神社式年神幸祭-. 101pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

尾崎煙雄

学術論文・学術書

・尾崎煙雄・小泉香代子. 2024. 君津市におけるキマダラカメムシの記録. 房総の昆虫. 74: 89-90.

・木村悟朗・足立行男・尾崎煙雄. 2024. BG ルアーを用いた CDC 型トラップによる蚊成虫捕獲. Medical Entomology and Zoology. 75(3): 173-175.

普及書

・尾崎煙雄. 2024. 千葉県におけるナラ枯れ被害について. 樹の生命. 22: 14-17.

・尾崎煙雄. 2025. ヤドリギの話. 植物の友. 859: 3-4.

栗田隆気

学術論文・学術書

・Kurita, T., K. Nishikawa, M. Y. Hossman, T. Mizuno, H. Sato and M. Gumal. 2024. Description of a new sandstone-dwelling species of genus Cnemaspis (Sauria: Gekkonidae) from Gunung Santubong National Park, southwestern Sarawak, Malaysia. Zootaxa. 5468(2): 361-378.

普及書

・栗田隆気. 2024. ヘビってなにもの？. 生物多様性ちばニュースレター. 84: 1-3.

須田華那

学術論文・学術書

・須田華那. 2024. 一九世紀前半における根津門前町と都市社会―三井家と江戸町会所に着目して―. 都市史研究. 11: 137.

小田谷嘉弥

学術論文・学術書

・小田谷嘉弥・岩見恭子・青木大輔・森本　元. 2024. 形態調査法. In: 野外鳥類調査ガイド. pp.90-118. 朝倉書店. 東京.

・先崎愛子・先崎啓究・小田谷嘉弥・齊藤安行. 2024. 新潟県岩船郡粟島におけるシベリアイワツバメ *Delichon lagopodum* の観察および死体拾得記録. 日本鳥学会誌. 73(2): 253-258.

・今村知子・齋藤武馬・小田谷嘉弥・齊藤安行. 2024. 千葉県柏市で死体拾得された黒い下嘴を持つニシオジロビタキ *Ficedula parva* について. 山階鳥類学雑誌. 56(2): 222-229.

普及書

・小田谷嘉弥(監修). 2024. 新海鳥ハンドブック　増補改訂版. 112pp. 文一総合出版. 東京.

・小田谷嘉弥. 2024. コラム　房総の動植物(5)利根川下流域の湿原に暮らす小鳥たち. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 85: 3.

・小田谷嘉弥. 2024. 千葉県の外来種　ガビチョウ. 生物多様性ちばニュースレター. 83: 4.

栃原行人

普及書

・栃原行人. 2024. コラム　房総の動植物(6)落ち葉や小枝に生えるミクロなきのこ. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 86: 3.

・栃原行人. 2024. 千葉県の希少種　スナジクズタケ. 生物多様性ちばニュースレター. 84: 4.

【地域連携課】

駒井智幸

学術論文・学術書

・Komai, T. 2024. A new species of the hermit crab genus *Catapagurus* A. Milne-Edwards, 1880 (Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa. 5523(5): 573-583.

・Komai, T. and C. Aungtonya. 2024. Deep-sea shrimps of the genus *Glyphocrangon* A. Milne-Edwards, 1881 (Decapoda: Caridea: Glyphocrangonidae) collected By the Thai-Danish Bioshelf Surveys (1996-2000) from the Andaman Sea, off Southwesern Thailand. Phuket Marine Biological Center Research Bulletin. 81: 51-73.

・Komai, T. and C. Aungtonya. 2024. Notes on two species of the deep-sea shrimp genus *Nematocarcinus* A. Milne-Edwards, 1881 (Decapoda: Caridea: Nematocarcinidae) collected by the Thai-Danish Bioshelf Surveys

(1996-2000) from the Andaman sea, off southwestern Thailand. Phuket Marine Biological Center Research Bulletin. 81: 105-115.
・Komai, T. and C. Chen. 2024. A new species of the thorid shrimp genus Lebbeus White, 1847 (Decapoda: Caridea) from the Amami Rift hydrothermal vent field in the Ryukyu region, Japan. Zootaxa. 5523(2): 254-268.
・Komai, T. and M. Hanai. 2024. A new shallow water species of the palaemonid shrimp genus *Palaemon* Weber, 1795 (Decapoda: Caridea) from Japan. Zootaxa. 5443(3): 417-430.
・Komai, T., S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2024. Two new species of the sponge associated axiid shrimp genus *Eiconaxius* Spence Bate, 1888 (Decapoda: Axiidea) from seamounts in the Nishi-Shichito Ridge, Japan.. Zootaxa. 5537(3): 357-376.
・Komai, T. and Y. Henmi. 2025. A new species of the alpheid shrimp genus *Athanas* Leach, 1814 (Decapoda: Caridea) from Japan, and additional record of *Athanas exilis* Komai & Henmi, 2023, clarifying male characteristics. Zootaxa. 5583(2): 353-370.
・Komai, T. and T. Higashiji. 2025. A distinctive new species of spongicolid shrimp assigned to the genus *Spongicola* De Haan, 1844 (Decapoda: Stenopodidea) from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa. 5594(3): 531-548.
・Sato, T., T. Komai and N. Shimizu. 2024. *Glypturus ferox*, a new species of ghost shrimp (Decapoda: Axiidea: Callichiridae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan. Zootaxa. 5432(3): 379-397.
・Yamashita, R., T. Komai and R. Koreeda. 2024. *Potamalpheops yamakawai* n. sp., representing the first record of the genus form Japan (Decapoda: Caridea: Alpheidae). Zootaxa. 5555(1): 91-104.

斎木健一

普及書
・斎木健一編. 2025. 学校標本取扱マニュアル. 22 p. 千葉県立中央博物館. 千葉.
・斎木健一. 2025. さく葉(押し葉)標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.19-20. 千葉県立中央博物館. 千葉.
・斎木健一. 2025. 館のない博物館から(87) アケビとスイカズラ. 館報せいわ. 393: 4.

原田　浩

学術論文・学術書
・Harada, H. 2024. Taxonomic study on calcicolous lichens of Japan (6). *Lichinella yoshimurae* sp. Nov. (Lichinaceae). Lichenology. 23(2): 83-91.
・Harada, H. 2024. Saxicolous and corticolous species of *Porina* (lichenized Ascomycota) from Taiwan, East Asia. Lichenology. 23(2): 109-123.
・Harada, H. and K. Hara. 2024. Illustrated flora of marine and maritime lichens of Japan (8), *Hydropunctaria nipponoamphibia* sp. nov. (Verrucariaceae). Lichenology. 23(1): 1-9.
・Harada, H. and K. Tanaka. 2024. Taxonomic study on calcicolous lichens of Japan (5). *Lempholemma tanakae* sp. nov. (Lichinaceae). Lichenology. 23(1): 11-22.
・原田　浩. 2024. 日本地衣類誌(11). *Peltula* タテゴケ属. Lichenology. 23(1): 23-51.
・原田　浩. 2024. 八重山諸島西表島の地衣類相(1). 岩上生および樹皮着生マルゴケ属(*Porina*). Lichenology. 23(1): 53-72.
・原田　浩. 2024. 八重山諸島西表島の地衣類相(2). 日本新産のシロトゲミゴケ *Monoblastia pellucida*. Lichenology. 23(1): 73-80.
・原田　浩. 2024. 日本地衣類誌(12). *Xylographa parallela* モクハンゴケ. Lichenology. 23(2): 101-107.
・小山内行雄・滝沢寿一・坂田歩美・原田　浩. 2024. 苗場山(長野県)の地衣類相. Lichenology. 23(2): 125-141.

普及書
・原田　浩. 2024. 「地衣学用語集」のウェブ公開. 日本地衣学会ニュースレター. 176: 697-698.
・原田　浩. 2024. 書評「王 立松・王 欣宇(主編). 2023. 中国地衣志, 第 5 巻, 梅衣科(Ⅱ). 203 pp., 24 pls. 科学出版社, 北京, ISBN 978-7-03-075913-9」. Lichenology. 23(1): 81.
・原田　浩. 2024. 落葉樹のクリの葉に生葉上地衣が着生する. 日本地衣学会ニュースレター. 179: 711-712.
・原田　浩. 2025. 第 43 回青空地衣教室(岡崎, 2024 年 11 月 17 日)に講師として参加して. 日本地衣学会ニュースレター. 183: 731-732.
・原田　浩・小杉真貴子. 2025. 第 43 回青空地衣教室(愛知県岡崎市, 2024 年 11 月 17 日)で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター. 183: 730.

高橋直樹

学術論文・学術書
・山中　蛍・高橋直樹. 2025. 人為作用による下総台地の地形変化の定量的可視化―千葉県立青葉の森公園周辺の例―. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(2): 119-129.

普及書

・Sugihara, K., K. Takenouchi, T. Ogawara, N. Takahashi and T. Brown. 2024. Tsukuba Massif Granite, Japan - The foundation of Modern Japanese architecture. In: IUGS Subcommission on Heritage Stones (ed). The First 55 IUGS Heritage Stones. pp.242-245. International Union of Geological Sciences. China.
・高橋直樹. 2024. 石材の分類と分布. In: 浜田弘明ほか(編). 日本石造文化事典. pp.698-699. 朝倉書店. 東京.
・高橋直樹. 2024. いずいし　伊豆石. In: 地学団体研究会(編). 最新　地学事典. pp.88. 平凡社. 東京.
・高橋直樹. 2024. かまくらいし　鎌倉石. In: 地学団体研究会(編). 最新　地学事典. pp.296. 平凡社. 東京.
・高橋直樹. 2024. こいけきよし　小池清. In: 地学団体研究会(編). 最新　地学事典. pp.461. 平凡社. 東京.
・高橋直樹. 2024. ぼうしゅういし　房州石. In: 地学団体研究会(編). 最新　地学事典. pp.1387. 平凡社. 東京.
・高橋直樹. 2024. みねおかそうぐん　嶺岡層群. In: 地学団体研究会(編). 最新　地学事典. pp.1467. 平凡社. 東京.

下稲葉さやか

普及書

・下稲葉さやか. 2025. 哺乳類・鳥類剥製標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.3-5. 千葉県立中央博物館. 千葉.
・下稲葉さやか. 2025. 脊椎動物骨格標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.6-7. 千葉県立中央博物館. 千葉.

石井友菜

普及書

・石井友菜. 2024. 文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」地域展　大多喜　台古墳群の鏡がうつし出す時代. 14pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

樽　宗一朗

学術論文・学術書

・樽　宗一朗. 2024. 君津市におけるチュウゴクアミガサハゴロモの記録. 房総の昆虫. 75: 87.
・樽　宗一朗・NPO法人亀成川を愛する会. 2024. 印西市でオオウラギンスジヒョウモンを撮影. 房総の昆虫. 74: 94-95.
・樽　宗一朗・斉藤明子. 2024. 本州初記録のナミヤコブソンムシを千葉県で採集. さやばねニューシリーズ. 55: 13.

普及書

・樽　宗一朗. 2024. 夏の演奏者　セミ. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 85: 1-2.
・樽　宗一朗. 2024. コラム　房総の動植物(7)冬もバッタ観察. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 87: 3.
・樽　宗一朗. 2024. 館のない博物館から(84) アリの巣の中に住むアリでない生き物. 館報せいわ. 391: 4.
・樽　宗一朗. 2024. 館のない博物館から(86) 冬に舞うガ. 館報せいわ. 392: 4.
・樽　宗一朗. 2025. 昆虫標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.11-12. 千葉県立中央博物館. 千葉.
・樽　宗一朗. 2025. コラム　房総の動植物(8)サクラに集まる昆虫. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 88: 3.

小川宏和

学術論文・学術書

・小川宏和. 2024. 回顧と展望　日本(古代)7世紀後半～奈良時代(信仰・生活). 史学雑誌. 133(5): 52-55.
・小川宏和. 2025. 平安時代の鵜飼　－異文化としての古代鵜飼－. In: 卯田宗平(編). 鵜飼の日本史　－野生と権力、表象をめぐる1500年－. pp.163-192. 昭和堂. 京都.

普及書

・小川宏和. 2024. 館のない博物館から(85) 芋粥のはなし. 館報せいわ. 392: 4.

【展示課】

御巫由紀

学術論文・学術書

・Mikanagi, Y. 2024. 山本章夫筆立山玫瑰(タカネバラ)図について . 近世京都. 7: 51-63.
・Oyama-Okubo, N. and Y. Mikanagi. 2024. Analysis of Floral Scent Components of Roses Exhibiting an Unusual Odor: Identification of Stink Bug Pheromone Compounds in Roses. The Horticulture Journal. 93(2): 185-193.
・Oyama-Okubo, N. and Y. Mikanagi. 2024. Analysis of floral scent components of roses with unpleasant odor . Acta Horticulturae. 1404: 875-880.

普及書

・御巫由紀. 2024. 野生種から園芸品種まで-バラのある風景. 生物の科学・遺伝. 78(5): 364-369.
・御巫由紀. 2024. バラの自然誌-世界のバラ, 日本のバラ. 生物の科学・遺伝. 78(5): 372-381.

宮　正樹

学術論文・学術書

・Oka, S., T. Sado, M. Ushio and M. Miya. 2024. Assessing the impact of tidal changes on fish environmental DNA metabarcoding in temperate and tropical coastal regions of Japan. Metabarcoding & .Metagenomics . 8: 469-488.

・Kumai, Y., T. Kobayashi, T. Yamakawa, T. Sado, M. Miya and M. Kuroki. 2024. Environmental DNA metabarcoding reveals the effect of river slope on diadromous fish communities in island rivers . Marine and Freshwater Research. 74: doi.org/10.1071/MF24029.
・Hidaka, H., T.S. Jo, S. Yamamoto, K. R. Katsuhara, S. Tomita, M. Miya and M. Ikegami, A.Ushimaru and T. Minamoto. 2024. Senstive and efficient surveillance of Japanese giant salamander (Andrias japonicus) distribution in western Japan using multi-copy. Limnology. 25: 189-198.
・Miller, E.C., R. Faucher, P.B. Hart, M. Rincón-Sandoval, A. Santaquiteria, W.T. White, C.C. Baldwin, M. Miya, R. Betancur-R, L. Tornabene, K. Evans and D. Arcila. 2024. Reduced evolutionary constraint accompanies ongoing radiation in deep-sea anglerfishes. Nature Ecology & Evolution. 9(3): 474-490.
・Sakata, A., T. Minamoto, T. Sado, R.O. Gotoh and M.Miya. 2025. Influence of homogenization methods on lichen species detection from environmental DNA metabarcoding. Metabarcoding and Metagenomics. 9: e144340.
・宮　正樹. 2024. 魚類3万5千種の由来と現在：データ駆動型・仮説探索型アプローチで解き明かした魚類の時空間ダイナミクス . 魚類学雑誌. 71(4): 1-26.

林　紀男

学術論文・学術書
・林　紀男. 2024. 侵略的外来水生植物がプランクトン相に及ぼす影響. 千葉生物誌. 73(2): 77.
・林　紀男. 2024. 千葉県内でのオオカワヂシャ繁茂域. 千葉生物誌. 74(1): 3-8.
・松木和雄 ・ 林　紀男 ・ 小松　新. 2024. 北印旛沼水草再生区のトンボ類. 房総の昆虫. 75: 105-108.
・松木和雄 ・ 林　紀男. 2024. 生態園のトンボー 2022～ 2024年の状況と追加種ー. 房総の昆虫. 75: 100-103.
・林　紀男. 2025. 龍毛堤(秋田県潟上市)の浮遊生物相. 秋田自然史研究. 82: 92-95.

普及書
・林　紀男. 2024. 水田を脅かす外来水生植物. In: 大塚泰介(編). 日本のいきものビジュアルガイド はっけん！ 田んぼのいきもの. pp.110-111. 緑書房. 東京.
・林　紀男. 2024. 深遠な田んぼの小宇宙に魅せられて. In: 大塚泰介(編). 日本のいきものビジュアルガイド はっけん！ 田んぼのいきもの. pp.130-131. 緑書房. 東京.
・林　紀男. 2024. 市民活動による調査への参加は自分なりの研究テーマ探しにもつながる. In: 大塚泰介(編). 日本のいきものビジュアルガイド はっけん！ 田んぼのいきもの. pp.138-139. 緑書房. 東京.
・林　紀男. 2025. 千葉県の外来種　オオカワヂシャ. 生物多様性ちばニュースレター. 85: 4.

丸山啓志

学術論文・学術書
・Maruyama, S.,S. Miyata, H. Kurosu and H. Matsuoka. 2024. Possibility of 3D Model Collections with LiDAR: Simply, Easily, and Inexpensively in Paleontology. Biodiversity Information Science and Standards. 8: e135060.
・丸山啓志・塚本明日香. 2025. 体験格差解消を目的とした博物館の関係人口獲得についての試論. 地域志向学研究. 9: 32-34.

報告書
・丸山啓志. 2025. 子ども博物館から広がる”つながり”の輪 . In: 京都大学子ども博物館事務局(編). 京都大学「子ども博物館」活動報告2004-2024. pp.30. 京都大学子ども博物館事務局. 京都.

普及書
・丸山啓志・宮川尚子. 2025. 海棲哺乳類(化石を中心として)に触れに，そうだ千葉中央博へ行こう！. 勇魚. 80: 40-43.

照屋清之介

学術論文・学術書
・Teruya, S., T. Fuchigami, T. Nakano and T. Sasaki. 2024. Phylogeography of the Intertidal Limpet *Lottia dorsuosa* (Mollusca: Gastropoda: Lottiidae) . Zoological Science. 41(5): 456-470.
・Setiamarga, D., K. Hirota, S. Nakashima, M. Yoshida, S. Teruya and T. Sasaki. 2025. Impact of glacial cycles and ocean currents on radiation events in the Japanese turban snail *Lunella coreensis*. Limnology and Oceanography Letters. https://doi.org/10.1002/lol2.70005
・照屋清之介・寺本沙也加. 2024. 洞窟外における海底洞窟性貝類の記録. ちりぼたん(日本貝類学会研究連絡誌). 54(12): 36-42.
・照屋清之介・寺本沙也加・宮崎息吹・吉田隆太・黒住耐二. 2025. 2018-2019年に千葉県館山湾からドレッジにより採集された貝類. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(2): 135-142.

玉井里奈

普及書
・鈴木建人・幅　大・玉井里奈・渡瀬綾乃. 2024. 万祝博覧会-海をまとう-. 87 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

山中　蛍

学術論文・学術書
・山中　蛍・高橋直樹. 2025. 人為作用による下総台地の地形変化の定量的可視化―千葉県立青葉の森公園周辺の例―. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(2): 119-129.

【資料管理課】

萩野康則

報告書

・鶴崎展巨・仲條竜太・神尾大地・萩野康則・小松　貴・吉田　譲・後藤好正・今井正己・長谷川順一・南谷幸雄. 2025. 関東地方のゴホントゲザトウムシの記録. Kishidaia. 126: 16-19.

普及書

・萩野康則. 2024. 手作りの退官記念文集追補. どろのむし通信. 81: 5-6.

天野　誠

普及書

・天野　誠. 2025. 千葉県のランの物語. 生物多様性ちばニュースレター. 85: 1-3.

後藤　亮

学術論文・学術書

・Sakata, A., T. Minamoto, T. Sado, R.O. Gotoh and M. Miya. 2025. Influence of homogenization methods on lichen species detection from environmental DNA metabarcoding. Metabarcoding and Metagenomics. 9: e144340.

小出麻友美

普及書

・小出麻友美. 2024. 病と祈り. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 87: 1-2.

千葉友樹

学術論文・学術書

・佐藤慎一・千葉友樹・加藤誠也. 2024. 松島湾東名浜における東日本大震災前10年間と震災後13年間に見られた貝類群集の経年変化. 日本ベントス学会誌. 79(1): 39-47.

普及書

・千葉友樹. 2024. リレー連載 SDGs な未来を拓く若手研究者たち(8) 海底に埋まっている貝殻から外来種の影響を読み解く. アクアネット. 318: 67.

小林大純

学術論文・学術書

・Kobayashi, H., B.K.A. Sumarto, D.F. Mokodongan, S.A. Lawelle, K.W.A. Masengi and K. Yamahira. 2024. *Redigobius fotuno*, a new limnetic goby from Muna Island, Indonesia (Teleostei: Gobiidae). Ichthyological Research. 72: 55-56.

・Dang, H.T.T., I.V. Utama, A.J. Nagano, H. Kobayashi, K. Maeda, H.D. Hoang, H.D. Tran and K. Yamahira. 2024. Distribution and Population Genetic Structure of the Hau Giang Medaka, *Oryzias haugiangensis*, Along the East Coast of the Indochinese Peninsula . Zoological Science . 41(3): 251-256.

・Maeda, K., H. Kobayashi, M. Iida and H.D. Tran. 2024. Taxonomy of freshwater gobies of the genus *Rhinogobius* (Oxudercidae, Gobiiformes) from central Vietnam, with descriptions of two new species . Zootaxa. 5493(5): 507-541.

・Nurjirana, N., Burhanuddin, A.I. Haris, A. Moore, A.M. Gani, A. Hasan, V. Motomura, H. Kobayashi, H. Haryono and D.F. Mokodongan. 2024. Occurrence and new data for the endemic amphidromous goby *Lentipes mekonggaensis* in Central Sulawesi, Indonesia. Cybium: International Journal of Ichthyology. 48(4): 303-307.

・Wada, H., T. Suzuki, H. Kobayashi and H. Senou. 2025. Two New Jawfishes, *Stalix albonotata* sp. nov. and S. yanoi sp. nov., from the Ryukyu Islands, Japan (Perciformes: Opistognathidae). Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science). 54: 205-217.

普及書

・小林大純. 2024. メダカなどのなかま(コモチサヨリ科, ダツ科)/ レインボーフィッシュのなかま. In: . 図鑑NEO 金魚・メダカ・熱帯魚. pp.158-159, 167. 小学館. 東京.

【研究課】

坂田歩美

学術論文・学術書

・Sakata, A., T. Minamoto, T. Sado, R.O. Gotoh and M. Miya,. 2025. Influence of homogenization methods on lichen species detection from environmental DNA metabarcoding.. Metabarcoding and Metagenomics. 9: e144340.

・小山内行雄・滝沢寿一・坂田歩美・原田　浩. 2024. 苗場山(長野県)の地衣類相. Lichenology. 23(2): 125-141.

報告書

・田中慶太・坂田歩美. 2024. 長崎県産地衣類報告(10). 長崎県生物学会誌. 95: 17-20.

普及書

・坂田歩美. 2024. 千葉県立中央博物館生態園トピックス展「生態園の地衣類」開催中. 日本地衣学会ニュースレター. 179: 712-713.

(2) 研究発表

【事業・研究部長】

島立理子

・島立理子・川村清志／2024.11.23／旅日記からみる昭和 10 年代の国立公園／林業経済学会 2024 年秋季大会／九州大学／福岡市.

【企画調整課】

伊左治鎭司

・伊左治鎭司／2025.2.16／千葉県から産出する恐竜時代の微小貝化石／シンポジウム「千葉県の微小化石～ミクロな世界から知る房総半島の地質～」／千葉県立中央博物館／千葉市.

菊川照英

・Kikukawa, A., Y. Nakamura, K. Kikuchi, N. Furukawa and Y. Aita／2024.5.31／Well-preserved radiolarian fossils within trace fossils from Miocene and Oligocene deep-sea sedimentary rocks in Japan／Japan Geoscience Union／Makuhari Messe／Chiba, Japan.

・菊川照英・辻林恭祐・相田吉昭／2024.9.8／鹿児島県種子島北部および中部に分布する熊毛層群の赤色泥岩から産出した放散虫化石／日本地質学会／山形大学／山形市.

・菊川照英／2024.10.4／生痕化石は珪質微化石を状態よく保存するのか？／名古屋大学地質合同セミナー／名古屋大学／名古屋市.

・菊川照英・相田吉昭・高橋　聡／2025.2.15／三浦半島,房総半島の付加複合体から産出した生痕コンクリーション中に保存された放散虫化石群集(予報)／第 16 回放散虫研究集会／千葉県立中央博物館／千葉市.

・菊川照英／2025.2.16／房総半島の生痕内部に見られる保存良好な放散虫化石／シンポジウム 「千葉県の微化石～ミクロな世界から知る房総半島の地質～」 ／千葉県立中央博物館／千葉市.

・五十嵐天飛・高橋　聡・菊川照英／2025.3.14／下部-中部中新統瑞浪層群生俵層の岩相層序と珪質微化石／微古生物学リファレンスセンター(MRC)研究発表会／島根大学／松江市.

・本山　功・白坂唯斗・萩野　穣・上栗伸一・菊川照英・渡部珠生／2025.3.15／千葉県南房総市の保田層群および三浦層群より産出した前期～中期中新世放散虫化石／微古生物学リファレンスセンター(MRC)研究発表会／島根大学／松江市.

【教育普及課】

大木淳一

・大木淳一・平田和彦／2024.5.19／博物館における野鳥観察を取り入れた蜃気楼観察会の実践例／令和 6 年度日本蜃気楼協議会研究発表会／魚津埋没林博物館／魚津市.

・大木淳一／2024.5.21／九十九里の蜃気楼／琵琶湖蜃気楼研究会研究集会／コラボ滋賀 21／大津市.

・山口　剛・大木淳一／2024.11.3／これは、アリのあそび！？／第 43 回日本動物行動学会／帝京科学大学東京西キャンパス／上野原市.

・大木淳一／2025.1.19／盲学校と連携したカエルを題材にした生きもの学習／シンポジウム「インクルーシブな博物館への取組みを考える～千葉盲学校と中央博物館の事例から～」／千葉県立中央博物館／千葉市.

尾崎煙雄

・尾崎煙雄・斉藤明子・樽　宗一朗・西内李佳／2024.5.23／2023 年度に千葉演習林で発見した昆虫と植物について／第 28 回千葉演習林利用者交流会／オンライン.

・斉藤　修・西内李佳・尾崎煙雄・楠本　大・遠藤良太／2025.2.16／千葉県でマツの毬果に発生した蛾類／千葉県昆虫談話会第 115 回例会／千葉県立中央博物館／千葉市.

・木村悟朗・菅澤颯人・佐藤雪太・尾崎煙雄／2025.3.28／ヒトスジシマカの CDC トラップによるマストラッピングの効果／第 46 回都市有害生物管理学会大会／慶應義塾大学 三田キャンパス／東京都港区.

栗田隆気

・栗田隆気・福山伊吹・山本拓海・佐藤文保・戸田　守／2024.11.2／キクザトサワヘビの保全遺伝学的研究／日本爬虫両棲類学会／兵庫県立大学／姫路市.

小田谷嘉弥

・小田谷嘉弥・山崎剛史・齋藤武馬・青木大輔／2024.9.14／タシギ属 3 種の種間交雑例とその外部形態／日本鳥学会 2024 年度大会／東京大学／文京区.

・小田谷嘉弥・仲村　昇・尾崎清明／2024.11.24／モンゴル東部における標識調査で捕獲された鳥類の識別ノート／日本鳥類標識協会 2024 年度大会／東京農業大学／世田谷区.

栃原行人

・栃原行人・大前宗之・細野天智・細矢　剛／2024.5.19／日本産シロキツネノサカズキ属の 4 新種／日本菌学会第 68 回大会／八戸ポータルミュージアム はっち／八戸市.

・Tochihara Y., S. Kakishima and T. Hosoya／2024.8.11-15／Molecular phylogeography of two-minute discomycetes specifically occurring on dead leaves of Japanese sweet gale, discretely in Japan／IMC12 (12th International Mycological Congress)／MECC Maastricht／Maastricht, Netherlands.

【地域連携課】

奥田昌明

・奥田昌明／2024.10.21／地球史新時代～チバニアンとは何か／千葉県生涯大学校講座／千葉県生涯大学校東葛飾学園／流山市.

・奥田昌明／2025.1.28／チバニアン期の千葉県～市原市田淵千葉セクションから得られた 77 万年前の化石花粉組成の新データ／柏シルバー大学院研究課程 2 年／アミュゼ柏／柏市.

斎木健一

・斎木健一／2025.3.15／生物室・理科室に保管されている自然誌資料の意義と価値／千葉県生物学会 2025 年度会員研究発表大会／千葉県立中央博物館／千葉市.

・斎木健一／2025.3.15／高等学校に残された生物部誌の意義と活用／日本生物教育学会第 109 回全国大会／安田女子大学／広島市.

原田　浩

・木下　薫・竹内結花・谷川寛典・佐々木寛朗・坂田歩美・原田　浩／2024.11.17／日本産地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用-2／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.

・谷川寛典・木下　薫・坂田 歩美・原田　浩／2024.11.17／日本産ツノマタゴケモドキ属 *Everniastrum* 地衣類の LC-MS による化学成分の分析／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.

・原田　浩／2024.11.17／カブトゴケ科のシアノモルフ,*Dendriscocaulon* デンドリスコカウロン／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.

・坂田歩美・佐土哲也・岡　慎一郎・潮　雅之・宮　正樹・源　利文・蘭光健人・池田裕二・海老原淳・井上侑哉・坪田博美・原田　浩／2024.11.17／環境 DNA メタバーコーディング法を活用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発―樹幹流を利用して―／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.

高橋直樹

・高橋直樹／2024.9.9／山形県置賜地方の二大石材-「高畠石」と「成島石」／日本地質学会　第 131 年学術大会／山形大学／山形市.

・高橋直樹／2024.12.15／国際地質科学連合(IUGS)ヘリテージストーン(天然石材遺産)の紹介／千葉県地学教育研究会 令和 7 年度研究発表会・談話会／千葉県立中央博物館／千葉市.

樽　宗一朗

・金子直樹・野村周平・大島千幸・柿添翔太郎・樽　宗一朗・内海幸弘／2024.12.28／皇居における大型コガネムシ類の発生状況について(2024 年度経過報告)／関東昆虫学研究会第 8 回大会／オンライン.

・尾崎煙雄・斉藤明子・樽　宗一朗・西内李佳／2024.5.23／2023 年度に千葉演習林で発見した昆虫と植物について／第 28 回千葉演習林利用者交流会／オンライン.

【展示課】

御巫由紀

・Oyama-Okubo, N. and Y. Mikanagi／2024.4.22／Unique fragrance of roses: Components of fried chicken-like odor and the old closet-like odor ／The 5th International Symposium on Woody Ornamentals of the Temperate Zone／Tottori University／Tottori, Japan.

・Mikanagi, Y.／2024.7.6／Stories of Roses which started with a wild rose in Japan: Rosa multiflora Thunb. <1> Polyantha Roses ／The World Federation of Rose Societies, Regional Convention, Nordic Roses 2024／Swedish Rose Society／Kalmar, Sweden.

・大久保直美・御巫由紀／2024.11.4／不快な香りを持つバラ野生種の発散香気成分の解析 ／園芸学会令和 6 年度秋季大会／琉球大学　千原キャンパス／中頭郡西原町.

宮　正樹

・宮　正樹／2024.6.18／環境 DNA メタバーコーディング法 － バケツ一杯の水から棲んでいる魚がわかる技術 －／千葉県バイオ・ライフサイエンスネットワーク会議／ペリエホール・ペリエ千葉 7F／千葉市.

・宮　正樹／2024.8.23／魚類 3 万 5 千種の由来と現在：データ駆動型・仮説探索型アプローチで解き明かした魚類の時空間ダイナミクス／第 26 回日本進化学会神奈川大会／東海大学湘南キャンパス／平塚市.

・岡　慎一郎・佐土哲也・照屋清之介・與那城由尚・宮　正樹／2024.9.6／沖縄・久米島海洋深層水の環境 DNA で探る深海魚類相とその季節的変動／2024 年度日本魚類学会年会／福岡工業大学／福岡市.

・坂田歩美・佐土哲也・岡　慎一郎・潮　雅之・宮　正樹・源　利文・蘭光健人・池田裕二・海老原淳・井上侑哉・坪田博美・原田　浩／2024.11.17／環境 DNA メタバーコーディング法を活用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発―樹幹流を利用して―／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.

・坂田歩美・源　利文・佐土哲也・宮　正樹／2024.12.2-3／環境 DNA メタバーコーディングにおける地衣類の検出に及ぼす細胞破砕の影響評価／第 7 回環境 DNA 学会／つくば国際会議場／つくば市.

・Ishihara Y., K. Aoki, A. Sakata, M. Miya, K. Hamano, M. K. Sakata, Q. Wu and T. Minamoto／2024.12.2-3／Collection of environmental DNA from stemflow for detecting terrestrial mammals／The 7th Annual Meeting of The eDNA Society／Tsukuba International Congress Center／Tsukuba, Japan.

林　紀男

・林　紀男／2024.11.16／身近に迫る侵略的外来水生植物～ 今や、手賀沼・印旛沼から千葉県全域へ！／手賀沼流域フォーラム／我孫子市生涯学習センターアビスタ／我孫子市.

・林　紀男／2024.11.20／千葉県における侵略的外来水生植物の繁茂域拡散の原因と対策／第 27 回自然系研究機関連絡会議(NORNAC27)／神奈川県立生命の星・地球博物館／小田原市.

・林　紀男／2024.11.28／生物顕微鏡による黄金藻類の検鏡法／第 39 回水処理生物基層講座／滋賀県立琵琶湖博物館／草津市.

・林　紀男／2024.12.15／コメ収穫断念も発生！迷惑な外来水草／第 15 回 琵琶湖地域の水田生物研究会／滋賀県立琵琶湖博物館／草津市.
・林　紀男／2025.2.2／侵略的外来水生植物の現状～市民の役割～／江戸川・ふれあい松戸川の自然と川を考えるシンポジウム／キテミテマツド／松戸市.
・林　紀男／2025.2.23／千葉県陸水域のプラクトン相　～ミジンコ～／千葉県生物学会 2025 年度研究発表会／千葉県立中央博物館／千葉市.

丸山啓志

・丸山啓志／2024.5.17／イルカの骨や遺体のお手軽 3D モデル作成と活用 ／ワークショップ 「イルカを手軽に計測・記録するには？」／三重大学／津市.
・丸山啓志・泉賢太郎・荻野慎諧・黒須球子・佐野瑞穂／2024.6.22／古生物学(者)が絶滅しないようにするには? ―古生物にかかわる方々の多様性を高めるためには― ／日本古生物学会 2024 年年会 ／高知大学／高知市.
・丸山啓志／2024.6.22／怒られないための古生物学で用いる化学物質関連法規まとめ／日本古生物学会 2024 年年会 ／高知大学／高知市.
・丸山啓志・宮田真也・黒須弘美・松岡廣繁／2024.7.7／お手軽 3D スキャンで広がる展示・展示室の可能性 ／第 43 回日本展示学会研究大会金沢大会／金沢美術工芸大学／金沢市.
・丸山啓志／2024.8.5／自然史博物館と合理的配慮～盲学校による博物館の利用～ ／鹿児島市小学校理科部会理科実験法研修会／星ヶ峯西小学校／鹿児島市.
・Maruyama, S.,S. Miyata, H. Kurosu and H. Matsuoka／2024.9.5／Possibility of 3D model Collections in paleontology simply, easily, and inexpensively using portable devices equipped with LiDAR-From on-hand to room-／SPNHC-TDWG 2024／Okinawa Convention Center／Ginowan, Japan.
・丸山啓志, 古山　歩, 船坂徳子, 松岡廣繁／2024.9.7／非侵襲的手法(3D スキャンと X 線 CT スキャン)と、侵襲的手法(解剖)を基にしたスジイルカ *Stenella coeruleoalba* 漂着個体に見られた左上顎吻部の欠損の記載と検討 ／日本哺乳類学会 2024 年度大会／兵庫県立大学／神戸市.
・Maruyama, S.,S. Miyata, H. Kurosu and H. Matsuoka／2024.9.12／How to inherit natural history museum exhibitions as collections for the future?／ICOM NATHIST 2024 Annual Conference／on line.
・丸山啓志／2024.9.13／千葉県立中央博物館 ー千葉県立盲学校との連携ー ／第 13 回小さいとこサミット／東京農工大学／小金井市.
・Maruyama, S. and A. Tsukamoto／2024.11.11-11.15／how can visually impaired people experience extinct marine mammals? ／SMM2024／Perth Convention and Exhibition Centre’s／Perth, Australia.
・丸山啓志／2024.12.1／お手軽 3D スキャンで、3D データが身近に／シンポジウム「博物館や地域における 3D データの現在・未来」／京都大学／京都市.
・丸山啓志／2024.12.22／生薬としての“一角” ―まだ見ぬイッカク資料を探す手がかりとして―／2024 年度勇魚会シンポジウム／東京科学大学／目黒区.
・丸山啓志／2025.1.10／海棲哺乳類における 3D データの収集と活用 ／近大イルカゼミ／近畿大学／奈良市.
・丸山啓志／2025.1.19／チバニアン期をテーマとした学習に合理的配慮を ／シンポジウム「インクルーシブな博物館への取組みを考える ～千葉盲学校と中央博物館の事例から～ 」／千葉県立中央博物館／千葉市.
・丸山啓志／2025.1.25／お手軽 3D スキャンによる 3D データの収集 ／日本古生物学会 2025 年第 174 回例会ランチョン小集会「古生物における 3D データの権利・取り扱いについて考える」／オンライン.
・丸山啓志／2025.2.14／博物館における合理的配慮とは？ ―千葉盲学校との連携を例に―／全国科学博物館協議会第 32 回研究発表大会 ／兵庫県立人と自然の博物館／三田市.
・丸山啓志／2025.2.14／目の不自由な方が博物館を楽しむためには？ ―体性感覚からのアプローチ― ／全国科学博物館協議会第 32 回研究発表大会 ／兵庫県立人と自然の博物館／三田市.
・丸山啓志／2025.3.28／旧千葉県薬草園生薬コレクションの過去・現在・未来 ／2025 日本薬学会福岡大会／福岡国際会議場／福岡市.

西内李佳

・尾崎煙雄・斉藤明子・樽　宗一朗・西内李佳／2024.5.23／2023 年度に千葉演習林で発見した昆虫と植物について／第 28 回千葉演習林利用者交流会／オンライン.
・斉藤　修・西内李佳・尾崎煙雄・楠本　大・遠藤良太／2025.2.16／千葉県でマツの毬果に発生した蛾類／千葉県昆虫談話会第 115 回例会／千葉県立中央博物館／千葉市.

照屋清之介

・照屋清之介・寺本沙也加／2024.4.13／洞窟外における海底洞窟性貝類の記録／日本貝類学会令和 6 年度大会／大阪市立自然史博物館／大阪市.
・岡　慎一郎・佐土哲也・照屋清之介・與那城由尚・宮　正樹／2024.9.8／沖縄県久米島の海洋深層水の環境 DNA からみた深海魚類相とその季節的変動／2024 年度日本魚類学会年会／福岡工業大学／福岡市.
・照屋清之介／2024.11.16／ヘビガイ類の自然史(分類、系統、生態等)／第 31 回房総貝類談話会／千葉県立中央博物館／千葉市.
・照屋清之介／2024.11.16／2017-2019 年に館山湾のドレッジ調査で得られた貝類／第 31 回房総貝類談話会／千葉県立中央博物館／千葉市.

・照屋清之介／2025.1.19／一般的なヒザラガイ類の同定ポイント／第 32 回房総貝類談話会／千葉県立中央博物館／千葉市.
・照屋清之介・寺本沙也加・佐々木猛智／2025.3.1／日本産ホタルガイ類の原殻サイズと分布／軟体動物多様性学会 2024 年度大会／国立科学博物館／つくば市.

山中　蛍

・牧田智大・後藤秀昭・原西絢太・森　渉・山中　蛍／2024.5.28／能登半島地震に伴う隆起海岸の GNSS による高密度測定結果／日本地球惑星科学連合 2024 年大会／幕張メッセ／千葉市.
・牧田智大・原西絢太・森　渉・山中　蛍・後藤秀昭／2024.11.2／2024 年能登半島地震に伴う海岸の隆起量分布－白化ピリヒバ上限高度の高密度な GNSS 測位－／日本活断層学会 2024 年度秋季学術大会／信州大学／長野市.

【資料管理課】

浅野紗彩

・中村剛・遊川知久・浅野(田村)紗彩／2025.3.10／研究後の植物株・種子・胞子試料を植物園に！生息域外保全の良質な資源としての活用／日本植物分類学会第 24 回大会／高知大学／高知.

小林大純

・小林大純／2024.4.20／「シーサー」とその類似種群の研究(予報) ／2024 年度 ゴリ研究会／環境省漫湖水鳥・湿地センター／那覇市.
・檜垣健介・Ying Giat Seah・Siti Tafzilmeriam Sheikh Abdul Kadir・木村清志・中江雅典・松沼瑞樹・日比野友亮・小林大純・中村潤平・松本達也・Roxanne Cabebe-Barnuevo・古楯龍星・是枝伶旺・出羽優凪・本村浩之／2024.9.8-7／マレー半島東岸クアンタンの魚類多様性／2024 年度 日本魚類学会年会／福岡工業大学／福岡市.
・日比野友亮・佐藤真央・松尾 怜・外山太一郎・小林大純・宿女太志・棟方航平・溝脇一輝・井上裕太・野村玲偉・遠藤詢介・高梨佑真・川西亮太・堀部 翔／2024.9.8-7／石垣島周辺の中有光層および稀有光層から得られた魚類／2024 年度日本魚類学会年会／福岡工業大学／福岡市.

渡瀬綾乃

・渡瀬綾乃／2025.1.25／門徒の持ちたる寺と僧侶―鹿児島県の真宗大谷派における在勤制度を事例に―／宗教民俗の会／オンライン.
・渡瀬綾乃／2025.3.15／暮らしが育む信仰 －茨城県常陸大宮市の事例に－／日本宗教民俗学会・日本山岳修験学会第 7 回合同例会／オンライン.
・渡瀬綾乃／2025.3.23／仏教婦人会と報恩講－鹿児島県下甑島を事例に－／女性民俗学研究会／オンライン.

【研究課】

加藤久佳

・加藤久佳・柄沢宏明・Ng,P.K.L.／2024.6.22／江戸時代に記載された日本初の“化石種”*Arges parallelus*／日本古生物学会／高知大学／高知市.

坂田歩美

・坂田歩美・佐土哲也・岡　慎一郎・潮　雅之・宮　正樹・源　利文・蘭光健人・池田裕二・海老原淳・井上侑哉・坪田博美・原田　浩／2024.11.17／環境 DNA メタバーコーディング法を活用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発―樹幹流を利用して―／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.
・木下　薫・竹内結花・谷川寛典・佐々木寛朗・坂田歩美・原田　浩／2024.11.17／日本産地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用-2／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.
・谷川寛典・木下　薫・坂田 歩美・原田　浩／2024.11.17／日本産ツノマタゴケモドキ属 *Everniastrum* 地衣類の LC-MS による化学成分の分析／日本地衣学会第 23 回大会／基礎生物学研究所／岡崎市.
・坂田歩美・源　利文・佐土哲也・宮　正樹／2024.12.2-3／環境 DNA メタバーコーディングにおける地衣類の検出に及ぼす細胞破砕の影響評価／第 7 回環境 DNA 学会／つくば国際会議場／つくば市.
・Ishihara, Y., K. Aoki, A. Sakata, M. Miya, K. Hamano, M. K. Sakata, Q. Wu and T. Minamoto／2024.12.2-3／Collection of environmental DNA from stemflow for detecting terrestrial mammals／The 7th Annual Meeting of The eDNA Society／Tsukuba International Congress Center／Tsukuba, Japan.

5 研究交流

(1) 海外出張

小林大純
・渡航先　：マレーシア
・渡航目的：国際共同魚類相調査への参加
・渡航期間：令和 6 年 9 月 17 日～25 日
・備　　考：科研費(特別研究員奨励費)

(2) 海外研究者の来訪

John Measey
・国籍・所属：南アフリカ共和国・ステレンボス大学
・滞在期間：令和 6 年 7 月 14 日～20 日
・対応職員：栗田隆気

Siti Tafzilmeriam Sheikh Abdul Kadir

・国籍・所属：マレーシア・トレンガヌ大学
・滞在期間：令和 6 年 11 月 19 日
・対応職員：小林大純

(3) 各種委員・非常勤講師等の受託

【副館長】

小田島高之

・伊能忠敬記念館協議会委員／香取市教育委員会／2023.4-2025.3

【事業・研究部長】

島立理子

・千葉市立博物館協議会委員／千葉市教育委員会／2023.1-2025.1
・木更津市史編集委員会委員／木更津市長／2023.4－2025.3
・木更津市史編集部会委員／木更津市教育委員長／2023.4－2025.3

【企画調整課】

伊左治鎭司

・非常勤講師／千葉大学／2024.4-2025.3

水野大樹

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：シダ)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会委員／山武市教育委員会／2024.4-2025.3
・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3

山本伸子

・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3
・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・非常勤講師／千葉大学／2024.4-2025.3

【教育普及課】

大木淳一

・スーパーサイエンスハイスクール(千葉県立船橋高等学校)運営指導協議員／千葉県教育委員会／2024.6-2025.3

小林裕美

・佐倉市文化財審議会委員／佐倉市教育委員会／2022.4-2025.3
・篠籠田の獅子舞調査検討委員会委員／柏市教育委員会／2023.6-2025.3
・四街道市文化財審議会委員／四街道市教育委員会／2023.6-2025.3
・一宮町史編さん委員／一宮町教育委員会／2023.5-2025.3

尾崎煙雄

・非常勤講師／千葉大学理学部／2024.4-2025.3
・モニタリングサイト 1000 里地調査検討会委員／(公財)日本自然保護協会／2024.9-2025.3

栃原行人

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：菌類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.9-2025.3
・放送大学面接授業「武蔵野台地の自然史」学外業務補助者／放送大学／2024.10.19-20
・令和 6 年度「やさしい生態学講座」講師／国立科学博物館／2025.2.21

【地域連携課】

駒井智幸

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：甲殻類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・令和 5 年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 その他無脊椎動物分科会委員／環境省自然環境局野生生物課／2024.4-2025.3

原田　浩

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会地衣類分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・成田国際空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会委員／成田国際空港株式会社／2024.4-2025.3

下稲葉さやか

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：哺乳類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3

樽　宗一朗

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：昆虫類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

【展示課】

御巫由紀

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

・木更津市文化財保護審議会委員／木更津市教育委員会／2024.4-2025.3

・市川市緑の調査専門委員／市川市公園緑地課／2024.4-2025.3

・国際香りのバラ新品種コンクール審査員／国営越後丘陵公園／2024.4-2025.3

・非常勤講師／千葉大学／2024.4-2025.3

・非常勤講師／龍谷大学／2024.6.24

・客員教授／放送大学千葉学習センター／2024.4-2025.3

林　紀男

・千葉県印旛沼流域水循環健全化会議水環境部会委員／千葉県県土整備部河川環境課／2024.4.1-2025.3.31

・千葉県手賀沼水生植物再生事業検討会委員／千葉県環境生活部水質保全課／2024.4.1-2025.3.31

・千葉県ナガエツルノゲイトウ等対策庁内連絡会議委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4.1-2025.3.31

・皇居外苑濠水環境管理検討会委員／環境省自然環境局皇居外苑管理事務所／2024.4.1-2025.3.31

・非常勤講師／東邦大学理学部／2024.4.1-2025.3.31

丸山啓志

・改正博物館法による登録博物館認定時の有識者リスト候補者／日本博物館協会／2024.4-2025.3

西内李佳

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

照屋清之介

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会貝類分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

・沖縄県版レッドデータブック軟体動物分科会／沖縄県環境部自然保護課／2024.4-2025.3

・研究連絡誌(ちりぼたん) 編集委員／日本貝類学会／2024.4-2025.3

・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3

山中　蛍

・全国活断層帯情報整備検討委員会委員／国土交通省国土地理院／2024.6-2025.3

【資料管理課】

榎　美香

・埼玉県幸手市文化祭保護審議会委員／幸手市教育委員会／2024.4-2-24.3

・千葉県市川市文化財保護審議会委員／市川市教育委員会／2024.6-2025.3

・印西市史編さん委員／印西市教育委員会／2024.4-2025.3

萩野康則

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：多足類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3

・日本土壌動物学会評議員／日本土壌動物学会／2024.5-2026.5

天野　誠

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

後藤　亮

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：魚類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

浅野紗彩

・植物情報システム委員会　絶滅危惧植物保有状況調査分科会委員／公益財団法人日本植物園協会／2024.5-2025.3

小林大純

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：魚類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

渡瀬綾乃

・柏市篠籠田の獅子舞調査検討委員会／柏市／2024.4-2025.3

【研究課】

加藤久佳

・非常勤講師(博物館資料論)／千葉大学／2024.4-2025.3

・市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員／市原市教育委員会／2023.10-2025.9

・貝化石分類整理及び活用方針の検討／印西市教育委員会／2024.10-2025.3

坂田歩美

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：地衣類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3

・「東京都における保護上重要な野生生物種(伊豆諸島)」 レッドリスト及びレッドデータブック改定における委員／東京都環境局自然環境部野生生物担当課／2024.5-2025.3

・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2024.7-2025.3

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は35名(継続24名、新規11名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
木村陽子	千葉県の維管束植物相に関する研究	天野　誠	継続
富塚朋子	房総半島に分布する海藻相の調査研究及び標本整理	天野　誠	継続
宮田昌彦	房総半島に分布する海藻の分類学的研究	天野　誠	継続
大野啓一	芽ばえに関する記載学的研究	尾崎煙雄	継続
木村悟朗	生態園における蚊類発生状況調査	尾崎煙雄	継続
吉村光敏	信仰対象となっている巨岩地形の形成史―足尾・北上山地の事例―	加藤久佳	継続
林　浩二	博物館の社会的役割に関する研究	後藤　亮	継続
坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	坂田歩美	継続
富谷朗子	シアノバクテリア―植物共生の多様性	坂田歩美	継続
古木達郎	千葉県立中央博物館が収蔵する蘚苔類標本の同定の再検討	坂田歩美	継続
蘭光健人	樹幹流を利用した樹上菌類相の探索	坂田歩美	継続
綿貫　攻	日本産スミイボゴケ属地衣類の分類学的研究	坂田歩美	継続
内田脩太	行徳野鳥保護区(千葉県市川市)における昆虫相の解明	樽　宗一朗	継続
櫛引颯太	日本産トビケラ目の分類学的研究およびファウナの解明	樽　宗一朗	継続
倉西良一	東アジア産トビゲラ目昆虫の分類と分子系統地理	樽　宗一朗	継続
伴　光哲	土壌性カメムシの分類学的・生態学的研究	樽　宗一朗	継続
岡崎浩子	房総半島の堆積相と化石層	千葉友樹	継続
原　正利	ブナ科植物ほかの標本作成および生態園の植物生態観察	西内李佳	継続
松本嘉幸	生態園のアブラムシ相(その 2)	西内李佳	継続
由良　浩	千葉県の希少種の栽培と増殖	西内李佳	継続
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田　浩	継続
大庭照代	生物音響資料の編纂	御巫由紀	継続
佐土哲也	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮　正樹	継続
福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮　正樹	継続
秋山笑子	利根川下流域の川船に関する研究	榎　美香	新規
菅澤颯人	国内のシラミバエにおける鳥類の病原体保有状況の解明	尾崎煙雄	新規
八木令子	五百澤式地形鳥瞰図による地理景観資料の開発とその活用	加藤久佳	新規
尾山大知	ハゼ目魚類の生物地理・分類学的研究	小林大純	新規
髙山順子	干潟及び砂浜に生息するカニ類の生態学的研究	駒井智幸	新規
橋本　陽	千葉県立中央博物館をモデルにした黒色酵母の系統学的研究	坂田歩美	新規
中村　涼	千葉県の昆虫相の解明	樽　宗一朗	新規
斉藤明子	千葉県の甲虫相のさらなる解明	樽　宗一朗	新規
黒住耐二	東アジアにおける貝類相の変遷史	照屋清之介	新規
木下靖浩	地衣類の化学分類	原田　浩	新規
吹春俊光	きのこ類の研究	御巫由紀	新規

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は41名(継続37名、新規4件)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
久保田貴志	【研究課題 1】人工飼料を用いたエリサンの飼料樹の栄養価値	尾崎煙雄	継続
金谷小百合	ヤドリギの生態調査及び繁殖について	尾崎煙雄	継続
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続

上原　恵	地域に残る災害の痕跡と記録の収集と分析(5)	加藤久佳	継続
時田　徹	三浦層群および上総層群の動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
松浦良彦	上総層群万田野層の古生物相	加藤久佳	継続
辻林恭祐	新たに提唱された NaOH 法による放散虫化石抽出とその有効性の検討	菊川照英	継続
福田元子	千葉県に伝わる音	小林裕美	継続
池田裕二	屋久島産地衣類を対象としたウェブ図鑑作成	坂田歩美	継続
加藤裕一	21 世紀の森と広場(松戸市)における地衣類観察の取り組み	坂田歩美	継続
田中慶太	長崎県の地衣類相	坂田歩美	継続
井上憲二	千葉県における虚無僧寺の幕末から明治にかけての活動	鈴木建人	継続
小松廣和	上総国市原郡の六十六部廻国供養塔の諸相	鈴木建人	継続
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場及び産出石材の使途とその現状調査	高橋直樹	継続
木澤武司	収集された国内外の砂試料の分析、及び生物遺骸の同定	高橋直樹	継続
本間千舟	国内外より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
山田俊弘	リンネコレクション等を利用した科学史研究とその社会的な還元について	高橋直樹	継続
久保田貴志	【研究課題 2】千葉県の養蚕の生残り事例(戦略)	玉井里奈	継続
齊藤　修	千葉県産蛾類データベースの構築	樽　宗一朗	継続
鈴木　勝	千葉県北部地域の昆虫相(甲虫類)	樽　宗一朗	継続
土井　学	南西諸島を中心とする昆虫標本の作成・収蔵	樽　宗一朗	継続
中尾健一郎	千葉県立中央博物館収蔵蛾類標本のデジタル画像データベース作成及び標本整理	樽　宗一朗	継続
安川　憲	千葉県におけるアサギマダラを中心とした昆虫類の調査研究	樽　宗一朗	継続
中村　涼	千葉県の昆虫相の解明	樽　宗一朗	継続
泉　宏子	房総の地衣類誌	原田　浩	継続
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田　浩	継続
高橋雅彦	茨城県の地衣類相	原田　浩	継続
中村正樹	長野県大町市の「冷風の丘」(風穴現象地帯)における地衣類植生	原田　浩	継続
東　あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田　浩	継続
松崎　務	長野県上田市周辺の地衣類相	原田　浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類相	原田　浩	継続
大作晃一	シダ植物の胞子の顕微鏡撮影	御巫由紀	継続
小倉豊史	きのこ類の研究	御巫由紀	継続
加藤恵美子	房総の自然に関する研究	御巫由紀	継続
亀田果夏	きのこ類の研究	御巫由紀	継続
佐野悦三	きのこ類の研究	御巫由紀	継続
森　晃	国内のシャジクモ科の研究	御巫由紀	継続
鶴田大翔	千葉県内の海岸域で見つかる新生代の化石の研究	加藤久佳	新規
福原将太	微化石を用いた年代決定に関する研究	菊川照英	新規
向井　稜	ダルマゴカイ科環形動物の分類	駒井智幸	新規
都築章二	千葉県および琉球列島の海産貝類相	照屋清之介	新規

第2　大利根分館

1　研究課題

(1) 地域研究

ア　人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 利根川下流域に生きた人々に関する社会史的研究

【担　　当】米谷　博

【研究内容】利根川下流域に生きた人々の暮らしや地域社会とのかかわりについて、歴史・民俗資料などを中心に考察する。

【年度実績】

香取郡神崎町で醸造業を営む寺田本家の二十代当主の寺田憲は、明治から昭和初期にかけて文学界と深く関わりをもっており、文人たちと交わした多数の書簡類が残されている。それらの調査研究をすすめ利根川下流域の文化史の一端をトピック展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」として紹介した。

(2) 普遍研究

ア　人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 大河川流域の地域社会に関する研究

【担　　当】米谷　博

【研究内容】流域地域に対して河川が果たしてきた歴史的な意義と、そこで展開された地域社会について考察する。

【年度実績】

近世から昭和３０年代まで利根川水系を航行した高瀬船などの大型貨物船や、日常生活に用いられた水郷地方のさっぱ舟など流域各地の川船資料を集成分類し、それらを国登録有形民俗文化財「利根川中下流域の川船及び関連用具」としてまとめた。

2　外部資金等による研究　実績なし

3　研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※当館メールマガジン連載への執筆は、V情報の発信 2(2)イ.メルマガコラムを参照のこと。

米谷　博

普及書

・米谷　博. 2024. 道標を調べる. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 86: 1-2.

・米谷　博. 2025. 伊能忠敬を生んだ「水郷の町」佐原の町並み. In: 吉野健一(編). 日本史のなかの千葉県. pp. 34-35. 山川出版社. 東京.

・米谷　博. 2025. 歌舞伎との縁で江戸庶民の参詣が盛んに。「成田のお不動さま」新勝寺. In: 吉野健一(編). 日本史のなかの千葉県. pp. 36-37. 山川出版社. 東京.

・米谷　博. 2025. 江戸幕府との密接なつながり. In: 吉野健一(編). 日本史のなかの千葉県. pp. 112-121. 山川出版社. 東京.

・米谷　博. 2025. 特産品の誕生と地方文化の隆盛. In: 吉野健一(編). 日本史のなかの千葉県. pp. 122-133. 山川出版社. 東京.

渡瀬綾乃

普及書

・鈴木建人・幅　大・玉井里奈・渡瀬綾乃. 2024. 万祝博覧会−海をまとう−. 87 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

4　研究交流　実績なし

第３　大多喜城分館

1　研究課題

(1) 地域研究

ア　人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 19世紀における上総国大多喜松平家中役替帳の研究

【担　　当】高橋　覚

【研究内容】大多喜町に伝来する希少な文献資料から家臣団構成や家中の職制を再構築する。

【年度実績】実績なし

② 房総の古代仏教に関する研究

【担　　当】村田憲一

【研究内容】古代仏教の興隆期における、房総地方への仏教の伝播と浸透、さらにその後の仏教信仰の展開について調査・考察を行う。

【年度実績】千葉県の20万分の1の白地図に8世紀前半までに創建された可能性の高い寺院(遺跡)をドットで落とし、加えてそれらに関係があると思われる遺跡(集落を含む)や遺物が出土している場所についてもドットで落とす作業を行った。国造などの支配地域との重複もあるが、県内にいくつかの古代の文化圏的なものがあったことが推定できた。

(2) 普遍研究

ア　人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 房総の中・近世の村落における宗教文化に関する研究

【担　　当】村田憲一

【研究内容】かつて「身を隠すなら房総」とまでいわれた、ふところの深い房総地方の地理的な環境と、さまざまな宗教文化との関係を調査・考察する。

【年度実績】県内各地の仏教関係の遺跡や考古資料を中心に、寺院が古代寺院から中世寺院へと変化をしていく12・13世紀、鎌倉の仏教文化の影響を受けながら、禅宗、日蓮宗など新興仏教の信仰が広がっていく13世紀後半から14世紀後半、村ごとの寺ともいえる小規模な寺院が成立し、地域や村落内に中世的な仏教信仰が根付く15世紀代といった時代ごとの変化を確認した。

イ　博物館誌系(博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎研究)

① 大繁盛する博物館経営の研究

【担　　当】高橋　覚

【研究内容】新型コロナウイルス感染症の流行などはじめとする様々な外的要因の悪化に対応するため、博物館・美術館は、忍耐強い経営を続けてきた。ようやく新型コロナウイルス感染症の脅威も一段落となり、これからは発展的経営を試みるまたとない時期が到来したと思われる。発展を加速するにはいかなる経営手法が求められるか様々な過去の失敗事例をもとに研究を行う。

【年度実績】　実績なし

2　外部資金等による研究　実績なし

3　研究員の執筆・研究発表　実績なし

4　研究交流

(1) 海外出張　実績なし

(2) 海外研究者の来訪　実績なし

(3) 各種委員・非常勤講師等の受託

村田憲一

・非常勤講師(博物館資料論)／東京工芸大学芸術学部／2024.4-2024.9

第4　分館海の博物館

1　研究課題

(1)地域研究　房総半島の海洋生物相とその特徴

① 房総半島沿岸の魚類相

【担　　当】川瀬裕司

【研究内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

【年度実績】地元漁業者や一般の方から提供された魚類には,分布北限記録となるクラカケエビスや,キンメダイの幼魚「いとひききんめ」など貴重な標本登録を行った。県外資料調査では、2025 年 2 月に福島県いわき市で魚類の比較標本の収集を行った。

② 房総半島の海産無脊椎動物相

【担　　当】奥野淳兒・柳　研介・立川浩之・松本光史

【研究内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

【年度実績】県民からの情報提供により、富津市金谷において東京湾及び千葉県で初記録となるキクマメスナギンチャク *Zoanthus sansibaricus* の分布を確認した。館山市で採集された標本を含め、カノコニセツノヒラムシ *Phrikoceros sagamianus* を再記載した。館山市沖の島および鋸南町浮島周辺で潜水調査を行い、千葉県初記録となる有藻性イシサンゴ類の分布を確認した。海産等脚類マルオヘラムシ *Pentidotea rotundata* を千葉県新記録種として報告した。

③ 房総半島沿岸の海藻相

【担　　当】菊地則雄

【研究内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

【年度実績】勝浦市を中心に房総半島各地で適宜採集を行い、千葉県新産と考えられる紅藻コスジサエダなど 172 点の資料を登録した。

④ 房総半島の鳥類相

【担　　当】平田和彦

【研究内容】房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態ならびにそれらの季節変化を、直接観察とバイオロギングによって明らかにし、その特徴を海流や海底地形、漁業等の環境要因に着目して解析する。

【年度実績】海の博物館周辺に生息する鳥類相のモニタリング調査を毎月実施するとともに、海の博物館沖におけるオオミズナギドリの局所的な生息状況に関するデータを収集し、常設展示室における「こんな研究をやっています」および「鵜原理想郷の自然情報」コーナーに反映し来館者に情報提供した。

(2)専門研究

① 沿岸性魚類の繁殖生態

【担　　当】川瀬裕司

【研究内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態(なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など)について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

【年度実績】南房総および伊豆半島沿岸において、魚類の繁殖行動を潜水調査した。黒潮大蛇行による冬期の海水温上昇に起因すると思われる温帯種の消失が確認され,第 23 回東日本魚類生態研究会(いわき市)で口頭発表を行った。

② 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

【担　　当】奥野淳兒

【研究内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

【年度実績】琉球列島産の標本と海の博物館所蔵のタイプ標本に基づき、ゴウザンゼカクレエビ *Ngankeecaris dardanicola* に対してゴウザンゼカクレエビ属 *Ngankeecaris* を創設した。千葉県銚子市からサラサエビ *Rhynchocinetes uritai* とアカシマモエビ *Lysmata vittata* の新産地を報告した。

③ 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

【担　　当】菊地則雄

【研究内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。

【年度実績】東北地方や新潟県沿岸に見られるアマノリ類のうち分類学的に未解明な点のあるムロネアマノリ、サツキノリについて、共同研究者と形態観察、DNA 解析等を行い、その所属について検討し、結果の一部について論文の作成を進めた。

④ イソギンチャク類の分類・生態学的研究

【担　　当】柳　研介

【研究内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA 解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。

【年度実績】海山域及び超深海で採集されたツノサンゴ類及びイソギンチャク類、ハナギンチャク類について分類学的研究を行った。このうち、南日本の海山の水深 525 m で発見された深海性のツノサンゴ類の *Leiopahtes* sp. cf. annosa が、従来報告されている動物のなかで最長寿となる約 7,000 年生きていることを報告した。

⑤ 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究

【担　　当】立川浩之

【研究内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。

【年度実績】ウェブ上で公開されている『日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑』の編集作業を行うとともに、クサビライシ科の属・種のページ合計 15 件を執筆し、公表した。また、日本サンゴ礁学会第 27 回大会において、日本産クサビライシ類の分類に関する発表を行った。

⑥ 小学校「生活科」教科書改訂に伴う生物教材の変更と提案

【担　　当】松本光史

【研究内容】小学校「生活科」教科書の改訂に伴い、小学校低学年における、夷隅地域の有効な生物教材の選定と考察を行った。

【年度実績】小学校「生活科」の生物教材として、甲殻類(サワガニ・アカテガニ)やハマダンゴムシなどを夷隅郡市の教員研修で提案した。提案した生物教材を扱った授業を行った。

⑦ 海鳥の採餌戦略

【担　　当】平田和彦

【研究内容】漁業や洋上風力発電をはじめとする沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響について、最高次捕食者である海鳥の行動生態を目視やバイオロギングにより観察することで、行動生態学ならびに保全生態学の観点から検討する。

【年度実績】房総半島および周辺地域におけるウミウおよびオオミズナギドリの採餌域(行動圏)を GPS データロガーを用いて個体レベルで追跡するとともに、ウミウの集団ねぐらにおける個体数の季節変化を調査し、その成果の一部を日本鳥学会 2024 年度大会と学術雑誌「Animal Biotelemetry」で発表した。

2　外部資金等による研究

(1)文部科学省科学研究費補助金による研究

ア　研究代表者

① 自然史博物館における甲殻類を題材とした海洋教育プログラムの開発

【担　　当】奥野淳兒

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和 4 年度／3 年間

② 日本沿岸の多様な漁法が海鳥に及ぼす影響―原発事故からの漁業復旧に着目して

【担　　当】平田和彦

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和 2 年度／5 年間(うち 1 年は延長期間)

3　研究成果の公表・周知

(1)うみはくセミナー　(会場：分館海の博物館)

① 令和 6 年 12 月 18 日(水)16:40～17:10
菊地則雄　「サツキノリについて」

② 令和 6 年 12 月 25 日(水)16:40～17:10
立川浩之　「千葉県沖の島・勝山の有藻性イシサンゴ類について」

③ 令和 7 年 1 月 9 日(木)16:40～17:10
柳　研介　「珍奇なイソギンチャク *Relicanthus* について」

④ 令和 7 年 1 月 16 日(木)16:40～17:10
奥野淳兒　「千葉県勝浦市および御宿町で採集されたヘラムシ科 2 種（甲殻亜門: 等脚目)」

⑤ 令和 7 年 2 月 6 日(木)16:40～17:10
松本光史　「「生活科」教科書改訂に伴う生物教材の変更と提案」

⑥ 令和 7 年 3 月 7 日(金)16:40～17:10
川瀬裕司　「南房総からスズメダイがいなくなる？海水温上昇に伴う温帯性魚類の動向」

⑦ 令和 7 年 3 月 19 日(水)16:40～17:10
平田和彦　「相模灘初島沖におけるオオミズナギドリ採餌群の分布と海底地形の関係」

4 研究員の執筆・研究発表

(1)執筆

※海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ.メルマガコラム」を参照のこと。

川瀬裕司

学術論文・学術書

・川瀬裕司. 2025. 小さなフグが海底に建築する巨大な「ミステリーサークル」 ーどのように,なぜ,精巧な円形幾何学模様の構造物をつくるのか？ー. 紛体工学会誌, 62 (4): 230-235.

奥野淳兒

学術論文・学術書

・Okuno, J. and R. Yoshida, 2024. A new genus, *Ngankeecaris* (Decapoda, Palaemonidae), with supplementary records of its type species, *N. dardanicola* (Bruce & Okuno, 2006) from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa, 5476(1) 342-346.

・Tsuyuki, A., H. Kohtsuka and J. Okuno, 2025. Description of a new species of *Prostheceraeus*_Schmarda, 1859 and redescription of a poorly known species, *Phrikoceros sagamianus*_(Kato, 1937) comb. n., with inference of their phylogenetic positions within Pseudocerotoidea (Platyhelminthes: Polycladida: Cotylea) . Journal of Natural History, 59: 303-330.

・奥野淳兒・永澤一朗・萩原誉崇・小濱 剛, 2024. 千葉県銚子市におけるサラサエビならびにアカシマモエビ（甲殻亜門: 軟甲綱: 十脚目）の記録. ニッチェ・ライフ, 12:43-45.

・齋藤暢宏・森 由香・菊池 健,・西澤 文・奥野淳兒. 2023. クロアシアホウドリ *Phoebastria nigripes* の吐き戻し胃内容物から得られたトゲトゲオナシグソクムシ *Anuropus bathypelagicus*. 水生動物, 2024(16).

・奥野淳兒・金子美織・松本光史, 2025. 千葉県勝浦市および御宿町におけるマルオヘラムシ *Pentidotea rotundata* Richardson（甲殻亜門: 等脚目）の記録. 千葉県立中央博物館研究報告, 17(2): 131-134.

普及書

・奥野淳兒編著. 2025. 海の生きもの観察ノート19「新 磯でみられるエビ・ヤドカリ・カニ」. 28 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦.

・奥野淳兒. 2025. 自作した液浸標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.13-16. 千葉県立中央博物館. 千葉.

・奥野淳兒. 2025. 専門業者製の液浸標本. In: 斎木健一編(編). 学校標本取扱マニュアル. pp.17-18. 千葉県立中央博物館. 千葉.

菊地則雄

学術論文・学術書

・Yamagishi, Y., T. Kamada, T. Ishii, H. Matsuura, N. Kikuchi, T. Abe and M. Suzuki. 2024. Morphological and chemical diversity within Japanese *Laurencia* complex (Rhodomelaceae, Ceramiales, Rhodophyta). Chem. Biodiversity, 10.1002/cbdv.202400833

・阿部真比古・藤井香帆・玉城泉也・菊地則雄・村瀬 昇. 2024. PCR-RFLP 法によるセンジュアマノリの判別. 藻類, 72(3): 165-168.

報告書

・菊地則雄. 2025. コスジノリ, マルバアサクサノリ, カイガラアマノリ, ソメワケアマノリ, ウタスツノリ, カヤベノリ, タネガシマアマノリ, ベニタサ, キイロタサ. In: 環境省(編), 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物 藻類. pp. 14-17, 231-235, 241-245, 334-338, 622-625, 626-629, 630-633, 634-637, 638-641. 環境省. 東京.

・菊地則雄・嶌田 智. 2025. アサクサノリ. In: 環境省(編), 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物 藻類. pp. 236-240. 環境省. 東京.

・田中次郎・菊地則雄. 2025. タニウシケノリ, ニセウシケノリ. In: 環境省(編), 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物 藻類. pp. 330-333, 726-729. 環境省. 東京.

柳 研介

学術論文・学術書

・Reimer, J.D., K. Yanagi, G.M. Castelló, K.B.B. Bacharo, H. Yokooka, K. Koeda, S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2024. A massive and ancient antipatharian colony at a seamount in the northwest Pacific. Marine Biodiversity, 54(6): 84 (5 pages). https://doi.org/10.1007/s12526-024-01478-w

・Chiodo, T., A. De Jode, A. Quattrini, M.K. Gibson, C.Y.M. Froehlich, D. Huang, T. Fujii, K. Yanagi, J.D. Reimer, A. Scott, E. Rodríguez and B.M. Titus. 2024. Nemo knows: clownfishes differentiate cryptic host species across fine and broad geographic scales and reveal a potential adaptive radiation in the clownfish-hosting sea anemones. bioRxiv. 2024.11.15.623784. https://doi.org/10.1101/2024.11.15.623784

立川浩之

学術論文・学術書

・立川浩之. 2024. *Cycloseris somervillei* (Gardiner, 1909) コバンマンジュウイシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Cycloseris_somervillei.html

・立川浩之. 2024. *Halomitra* Dana, 1846 カブトサンゴ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Halomitra.html
・立川浩之. 2024. *Halomitra pileus* (Linnaeus, 1758) カブトサンゴ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Halomitra_pileus.html
・立川浩之. 2024. *Heliofungia* Wells, 1966 パラオクサビライシ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Heliofungia.html
・立川浩之. 2024. *Heliofungia actiniformis* (Quoy & Gaimard, 1833) パラオクサビライシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Heliofungia_actiniformis.html
・立川浩之. 2024. *Herpolitha* Eschscholtz, 1825 キュウリイシ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Herpolitha.html
・立川浩之. 2024. *Herpolitha limax* (Esper, 1797) キュウリイシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Herpolitha_limax.html
・立川浩之. 2024. *Lobactis* Verrill, 1864 クサビライシ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Lobactis.html
・立川浩之. 2024. *Lobactis scutaria* (Lamarck, 1801) クサビライシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Lobactis_scutaria.html
・立川浩之. 2024. *Pleuractis* Verrill, 1864 ゾウリイシ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Pleuractis.html
・立川浩之. 2024. *Pleuractis gravis* (Nemenzo, 1955) アツゾコゾウリイシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Pleuractis_gravis.html
・立川浩之. 2024. *Pleuractis moluccensis* (van der Horst, 1919) ネジレクサビライシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Pleuractis_moluccensis.html
・立川浩之. 2024. *Pleuractis paumotensis* (Stutchbury, 1833) ゾウリイシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Pleuractis_paumotensis.html
・立川浩之. 2024. *Polyphyllia* Blainville, 1830 ナマコイシ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Polyphyllia.html
・立川浩之. 2024. *Polyphyllia talpina* (Lamarck, 1801) ナマコイシ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Polyphyllia_talpina.html

松本光史

学術論文・学術書

・奥野淳兒・金子美織・松本光史, 2025. 千葉県勝浦市および御宿町におけるマルオヘラムシ *Pentidotea rotundata* Richardson (甲殻亜門: 等脚目) の記録. 千葉県立中央博物館研究報告, 17(2): 131-134.
・金子美織・松本光史・松本岳大, 2024. 御宿町初記録の甲虫 5 種. 房総の昆虫. (74): 15-16.

平田和彦

学術論文・学術書

・平田和彦・中村真介・藤井利衣子・加藤雄也・福井智香子. 2024. 日本ジオパーク全国大会における分科会「ジオ・エコ・ヒト―なぜジオパークで生態学？」開催の経緯とねらい. ジオパークと地域資源, 6(1): 1-3.
・平田和彦. 2024. ジオパークでこそ生態学！ ジオパークと地域資源, 6(1): 4-6.
・平田和彦・中村真介・藤井利衣子・加藤雄也・福井智香子・伊藤　舜・太田悠造・長船裕紀・立花寛奈・森口夏季. 2024. 分科会「ジオ・エコ・ヒト―なぜジオパークで生態学？」の成果：「エコ」に関する理解の共有と交流の活発化. ジオパークと地域資源, 6(1): 63-67.
・日本鳥学会(鳥類目録編集委員会). 2024. 日本鳥類目録改訂第 8 版. 日本鳥学会, 東京.
・T. Kamata, M. Shirai, K. Hirata, T. Sato, H. Mukai, M. Yamamoto and T. Sekijima. 2025. Case report: Long-term GPS tracking throughout the breeding and non-breeding seasons of the streaked shearwater *Calonectris leucomelas*. Animal Biotelemetry 13: 2. https://doi.org/10.1186/s40317-024-00397-8
・小澤光莉・東條菜々花・平田和彦・大島康平・伊藤元裕. 2025. 大間弁天島および鯛島におけるウトウの繁殖状況. 青森自然誌研究, 30: 53-60.

普及書

・平田和彦. 2024. 博物館初！鳥のお宝ツアー#41　変な形？かわいそう？博物館の工夫が詰まった仮剥製. BIRDER, 38(8): 66-67.
・平田和彦. 2025. 生きものを守って活かす島づくり 第 1 話　北海道天売島―島を動かす海鳥の研究と保全. 季刊しま, 70(4): 55-57.

(2)研究発表

川瀬裕司

・川瀬裕司／2025.2／南房総からスズメダイがいなくなる？海水温上昇に伴う温帯性魚類の動向／第 23 回東日本魚類生態研究会／アクアマリンふくしま,いわき市

奥野淳兒

・奥野淳兒／2024.6／房総半島新記録となるヘラムシ科(甲殻亜門：等脚目)の 2 稀種 ／日本動物分類学会第 59 回大会／鳥取県立博物館，鳥取.

・奥野淳兒／2024.10／海辺の環境教育とご当地キャラと博学連携／海辺の環境教育フォーラム 2024 in ふくしま／環境水族館アクアマリンふくしま，いわき.

・奥野淳兒／2024.11／明治時代の横浜で採集された十脚甲殻類標本群／日本甲殻類学会若手の会／函館アリーナ多目的会議室，函館.

・奥野淳兒／2024.11／甲殻類を扱った古い図鑑－大日本帝国の頃－／日本甲殻類学会若手の会／函館アリーナ多目的会議室，函館.

・奥野淳兒／2024.12／自然史博物館ならではの社会的使命／日本ミュージアム･マネージメント学会コミュニケーション･マネージメント研究部会第 1 回研究会／科学技術館，東京.

・奥野淳兒／2025.3／磯の観察会参加者に端を発する博物館諸活動への有機的発展／日本海洋教育学会第 2 回大会／東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館，東京.

菊地則雄

・末吉真梨・菊地則雄・川久保晶博／2025.1／九十九島潮間帯の海藻について／ 長崎県生物学会第 54 回大会／西海学園高等学校，佐世保

・深田峻介・西川慶祐・二村和視・滝澤忍・桐原正之・森本善樹・山岸幸正・菊地則雄・鎌田昂・石井貴広／2025.3／日本産紅藻ソゾ由来の新規含臭素ジテルペンの構造決定と足糸形成阻害活評価／日本藻類学会第 49 回大会／琉球大学， 西原

・松下桜子・高橋南帆・岡本未来・玉城泉也・菊地則雄・小檜山篤志・二羽恭介／2025.3／遺伝資源収集に向けた南方系野生ノリの探索～新種を含むオニアマノリの隠れた遺伝的多様性～／日本水産学会春季大会／北里大学,相模原

柳　研介

・柳　研介／2024.9／イソギンチャク類のポリプ形態の多様性について／日本動物学会第 95 回長崎大会シンポジウム「地球一!? 刺胞動物の超・形態的多様性」／長崎大学，長崎県長崎市

・柳　研介・泉　貴人／2024.9／本邦周辺海域における超深海のイソギンチャク類について／日本動物学会第 95 回長崎大会／長崎大学，長崎県長崎市

・吉川晟弘・ 泉　貴人・神吉隆行・森滝丈也・北嶋　円・大土直哉・木村妙子・勾　玉暁・服部竜士・弓場茉裕・白井厚太朗・藤田敏彦・柳　研介／2024.9／ヤドカリの「宿」を作るイソギンチャクの貝殻形成様式と食性について／2024 年日本プランクトン学会・ 日本ベントス学会合同大会／島根大学,島根県松江市

・吉川晟弘・ 泉　貴人・神吉隆行・森滝丈也・北嶋　円・木村妙子・大土直哉・勾　玉暁・服部竜士・弓場茉裕・白井厚太朗・藤田敏彦・柳　研介／2024.10／ヤドカリの「宿」を作るイソギンチャクの共生メリット―イソギンチャクの食性への着目―／第 18 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会／墨田水族館,東京都墨田区・東京海洋大学,東京都港区

・柳　研介・泉　貴人・藤原義弘／2024.10／珍奇なイソギンチャク *Relicanthus* について／第 18 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会／墨田水族館,東京都墨田区・東京海洋大学,東京都港区

・自見直人・柳　研介／2024.10／日本産ハナギンチャク普通種群の系統分類学／第 18 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会／墨田水族館,東京都墨田区・東京海洋大学,東京都港区

・柳　研介・泉　貴人／2025.2／超深海のイソギンチャク類について／東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「北西太平洋の深海生物相　白鳳丸 KH-22-8、23-5 次航海の成果を中心に」／東京大学大気海洋研究所，千葉県柏市(オンラインハイブリッド)

立川浩之

・立川浩之／2024.11／日本産クサビライシ、ゾウリイシおよびこれらの類似種の形態による識別／日本サンゴ礁学会第 27 回大会／宮崎市民プラザ，宮崎県宮崎市

平田和彦

・大木淳一・平田和彦／2024.5／博物館における野鳥観察を取り入れた蜃気楼観察会の実践例／令和 6 年度日本蜃気楼協議会研究発表会／魚津埋没林博物館,魚津市

・平田和彦／2024.9／島を巡ってカワウと寝、内陸突っ切りアルプス越えるーGPS データロガーが垣間見たウミウの渡り／日本鳥学会 2024 年度大会／東京大学,東京

・手島晴風・小田谷嘉弥・桑原和之・平田和彦・大庭照代・千葉県立中央博物館鳥類調査ボランティアグループ／2023.9／千葉県立中央博物館生態園における鳥類相の変化／日本鳥学会 2024 年度大会／東京大学,東京

・松丸一郎・澤　祐介・富田直樹・佐藤達夫・奴賀俊光・平田和彦／2024.9／東京都心ビル街で繁殖するウミネコ：GPS およびカラーリング標識を用いた移動範囲／日本鳥学会 2024 年度大会／東京大学,東京

5　研究交流

(1)海外出張

(該当なし)

(2)各種委員・非常勤講師等の受託

川瀬裕司　　・千葉大学大学院理学研究科非常勤講師／千葉大学大学院理学研究院／2024.4-2025.3

菊地則雄
・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：藻類)／千葉県環境生活部自然保護課／2024.4-2025.3
・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2018.4.1-(期限明記なし)
・非常勤講師／東京大学／2024.4-2025.3
・勝浦市浜勝浦川浄化対策推進協議会委員／勝浦市／2023.4-2025.3
・勝浦市文化財審議会委員／勝浦市教育委員会／2023.4-2025.3

立川浩之
・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会貝類分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.8-2025.3

平田和彦
・我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会委員／我孫子市教育委員会生涯学習部鳥の博物館／2023.4-2025.3

(3)共同研究員、市民研究員の受入れ

ア　共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は6名(継続)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
平野弥生	Medusozoa の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳　研介	継続
泉　貴人	変形イソギンチャク亜目イソギンチャクの系統分類学	柳　研介	継続
吉川晟弘	ヤドカリと共生するキンカライソギンチャク属の系統分類学的研究	柳　研介	継続
吉田隆太	館山湾を中心とした南房総の甲殻類相の解明	奥野淳兒	継続
橘詰和慶	房総の海産無脊椎動物の自然史的研究	奥野淳兒	継続
鈴木規慈	夷隅川流域における希少水生生物の保全生物学的研究	菊地則雄	継続

イ　市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は１名(継続)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
栗又弥江子	海藻を利用したアートとその展示手法についての研究	菊地則雄	継続

Ⅲ　展示

第１　本館

1　常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
房総の地学	銚子地域の化石	銚子層群産シロアリ類コプライト	展示資料入替
分類	微化石	放散虫プレパラート(コア試料)	展示資料入替
生物の分類	動物の分類	アオイガイ標本	展示資料入替
房総の歴史	古墳時代の房総	大多喜町台古墳群出土鏡	期間限定展示 (令和7年3月1日(土) ～3月30日(日))
2 階エントランスホール		高瀬船模型展示	新規展示
オリエンテーションハウス		窓ガラスの鳥衝突跡の解説	期間限定展示(令和 6 年4月23日(火)～6月15日(土)
オリエンテーションハウス		鳥類相の変遷	解説資料入替
野鳥観察舎		生態園で季節ごとに見られる鳥類	解説資料入替

(2) 展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器(台数：10 台)の貸出を行った。

貸 出 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
貸出回数	32	42	42	56	55	29	23	38	24	37	55	42	475 回

(3) 常設展示室スポットライトの LED 化

ア　場　　所　「自然と人間のかかわり」展示室、「房総の地学」展示室

イ　台　　数　330 台(内訳：「自然と人間のかかわり」展示室　230 台、「房総の地学」展示室　100 台)

ウ　作 業 期 間　令和 6 年 9 月 30 日(月)～10 月 2 日(水)

2　野外展示(生態園)

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
園路	各所	植物解説板	入れ替え・追加(計 2 枚)
	各所	樹名板	交換・追加(計 15 枚)
植生管理	モミ林	植生管理木(ムクノキ)	伐倒(2 本)
	イヌシデ・コナラ林	植生管理木(トウネズミモチ)	伐倒(1 本)
		ナラ枯れ木(コナラ)	倒れかけて危険だったので園路通行止めの上引き倒し(1 本)
	湿地林	立ち枯れ木(ハンノキ)	倒れかけて危険だったので園路通行止めの上引き倒し(1 本)
	西側実験区	電線支障木(タブノキ)	電気室横の引き込み電線に枝が接触していた木を伐倒(2 本)
	公園側外周(照葉樹林スダジイ林区)	公園園路に大きく出た枝(スダジイ、タブノキ)	公園園路に大きくはみ出た太い枝を剪定(枝 20 本)
	各所	ヤドリギ	園内4ヶ所(ケヤキ・ヤマザクラ・クマノミズキ・オオシマザクラ)に 10 個ずつ播種
		鳥散布樹木、つる植物(シュロ、トウネズミモチ、タブノキ、フジ等)	間引き除伐(成木約 10 本＋実生約 50 本)
舟田池管理	舟田池	抽水植物(アシ、マコモ、ヒメガマ、ショウブなど)群落	濾過槽ポンプ稼働による水位撹乱を通じたアメリカザリガニ等の低密度管理 コゴメイ等外来水生植物の駆除
湿地再生	湿原	陸生草本	刈り払い(年 6 回)
	湿原	水たまり	濾過槽ポンプの計画的運用による湿潤環境の維持

3　特別展

(1) 文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」、地域展「大多喜　台古墳群の鏡がうつし出す時代」

ア　会　　期　令和 6 年 6 月 8 日(土)～令和 6 年 7 月 15 日(月・祝)〔開催期間：38 日間(内：開館日数 33 日間)〕
イ　会　　場　第 1 企画展示室、第 2 企画展示室、2 階ホール、自然と人間のかかわり展示室常設展示室廊下
ウ　主　催　等　(ア)主　　催　文化庁、千葉県立中央博物館、千葉日報社、全国新聞社事業協議会
(イ)後　　援　千葉県教育委員会、公益財団法人千葉県教育振興財団
(ウ)協　　力　全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会,全国埋蔵文化財法人連絡協議会、共同通信社、公益財団法人元興寺文化財研究所
エ　入 場 者 数　9,141 人
オ　担　当　者　◎石井友菜、小出麻友美、須田華那、丸山啓志
カ　概　　要　近年の発掘調査で注目を集めた遺跡や、調査研究の積み重ねによって明らかになった全国各地の個性豊かな歴史を紹介した。
第 2 企画展示室では、地域展「大多喜 台古墳群の鏡がうつし出す時代」として当館が新たに寄贈をうけた大多喜台古墳群出土の鏡を初公開し、この鏡が房総にもたらされた背景について県内で発掘された資料をもとに紹介した。
キ　関 連 行 事　(ア)講演会「関東考古学フェア遺跡発掘発表会」
6 月 22 日(土)　参加人数 41 人
(イ)講演会「大多喜　台古墳群鏡が語る歴史」　7 月 6 日(土)　参加人数 198 人(会場参加：105 人、オンライン参加：93 人)
同型鏡と 5・6 世紀の東アジア　講師：辻田淳一郎
房総の古墳時代と台古墳群　講師：山田俊輔
(ウ)講座「せっけんで古墳時代の鏡をつくろう」　6 月 29 日(土)　参加人数 22 人
(エ)講座「せっけんで古墳時代の鏡をつくろう」　7 月 13 日(土)　参加人数 24 人
(オ)ミュージアムトーク（各日 11:00～11:30、14:30～15:00)
6/8(土)、6/16(日)、6/23(日)、6/30(日)、7/7(日)、7/14(日)
参加人数計 459 人
ク　印　刷　物　(ア)チラシ　A4 版カラー両面／30,000 枚
(イ)ポスター　A2 版カラー片面／300 枚
(ウ)解説パンフレット　A4 版カラー／3,900 部
(エ)入場券　9,000 枚
ケ　展 示 資 料　中核展：借用資料 562 点　計 562 点
地域展：借用資料 79 点　館蔵資料 1 点　計 80 点

地域展　展示資料

資料名	点数	所蔵
木更津市手古塚古墳 三角縁神獣鏡(複製品)	1	千葉県立中央博物館 (原品：木更津市郷土博物館金のすず)
市原市草刈遺跡群 銅鏡	9	千葉県教育委員会
大多喜町台古墳群 画文帯環状乳神獣鏡	1	千葉県立中央博物館
埼玉県埼玉稲荷山古墳 画文帯環状乳神獣鏡 (複製品)	1	文化庁 (保管：埼玉県立さきたま史跡の博物館)
群馬県八幡観音塚古墳 画文帯環状乳神獣鏡 (復原品)	1	高崎市観音塚考古資料館
木更津市祇園大塚山古墳 画文帯仏獣鏡(複製品)	1	千葉県立中央博物館 (原品：宮内庁書陵部)
木更津市鶴巻塚古墳　画文帯仏獣鏡(複製品)	1	千葉県立房総のむら (原品：五島美術館)
我孫子市金塚古墳　捩文鏡、短甲、石枕、立花	4	我孫子市教育委員会
市原市持塚 1 号墳　旋回式獣像鏡・ガラス玉・砥石・鉄鏃・須恵器・朱	14	千葉県立房総のむら
市原市牛久石奈坂 1 号墳　鼉龍鏡、鉄鏃、鉄製農工具(鎌)、玉類、鉄製農工具(斧、鉈)、三輪玉、砥石	23	市原歴史博物館
香取市禅昌寺山古墳　銅鏡片、馬具、鉄鏃(小札片付着)	7	千葉県立房総のむら
鴨川市嶺岡遺跡　七鈴鏡	1	国立歴史民俗博物館
香取市城山 1 号墳　三角縁神獣鏡(複製品)、人物埴輪、環頭大刀	6	香取市教育委員会
富津市三条塚古墳　乳脚文鏡	1	富津市教育委員会
睦沢町浅間山 1 号墳　盤龍鏡、胡籙金具、三輪玉	4	千葉県立房総のむら

資料名	点数	所蔵
いすみ市三門(豆塚)古墳　人物埴輪	2	個人蔵(睦沢町立歴史民俗資料館寄託)
大多喜町横山1号墳　金銅装馬具	3	早稲田大学會津八一記念博物館

(2) 千葉県誕生150周年記念事業・中央博物館令和6年度特別展「万祝(まいわい)博覧会ー海をまとうー」

ア 会　　期　令和6年7月27日(土)～9月29日(日)〔開催日数：59日間〕
イ 会　　場　第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール、光庭休憩所・歴史展示室前廊下
ウ 主 催 等　(ア)主　　催　千葉県立中央博物館
(イ)後　　援　朝日新聞千葉総局、ＮＨＫ千葉放送局、千葉テレビ放送、千葉日報社、ベイエフエム、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局
(ウ)協　　力　アリオ蘇我、そごう千葉店、京葉銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、鴨川萬祝染鈴染、白浜海洋美術館
エ 入場者数　12,990人
オ 担 当 者　◎鈴木建人、玉井里奈、渡瀬綾乃、榎　美香、幅　大、照屋清之介
カ 概　　要　本展は、青森から静岡まで各地域に残る色鮮やかで魅力的な「万祝」が一堂に会する初の展示であり、〔様々な視点から万祝をみる〕をコンセプトとして、漁師の文化としてだけではなく、海を通じた文化の伝播、染色技術やデザインの継承など、多方面から万祝を取り上げ、海とともに生きる房総の人々の精神文化を広く紹介し、伝統工芸と地域文化の継承について考える機会を提供した。
キ 関連行事　(ア)オープニングセレモニー　7月27日(土)　参加人数 75人(招待客)ほか
(イ)プレイベント「万祝フェスタ」6月16日(日)
登壇者：熊谷俊人、北川フラム、川島秀一、鈴木理規、渡瀬綾乃
(ウ)万祝シンポジウム「色々な万祝、これからの万祝」　8月17日(土) 参加人数 40人
講師：植田　憲、小島孝夫
(エ)県立図書館連携事業　講演会「未来につなぐ工芸品～後継者育成の今と未来～」　8月31日(土)
参加人数 30人　講師：大牧圭吾、鈴木幸祐、鈴木理規
(オ)体験イベント「大漁祝の着物　万祝を着てみよう」　7月28日(日)、8月24日(土)、9月16日(月・祝)、22日(日・祝)　参加人数計131人
(カ)体験イベント「千葉の伝統的工芸品「萬祝染」を体験しよう」　7月28日(日)、8月11日(日・祝)　参加人数 48人
(キ)体験イベント「万祝柄の暑中見舞いはがきをつくろう」　8月3日(土)　参加人数 23人
(ク)体験イベント「藍の生葉で染めてみよう」　8月4日(日)、25日(日)　参加人数 83人
(ケ)体験イベント「木綿と真綿　―糸のひみつを学んでみよう―」　8月12日(月・休) 参加人数 30人
(コ)体験イベント「博物館フィギュア×万祝博覧会」　8月18日(日)　参加人数 65人
(サ)体験イベント「万祝レプリカ型紙でプリントたいけん」　9月7日(土)　参加人数 26人
(シ)体験イベント「漁やおさかなの絵本読み聞かせ」【中央博物館・中央図書館連携事業】
9月15日(日)　参加人数 17人
(ス)見学会「白浜海洋美術館の万祝コレクションを鑑賞しよう」　8月10日(土)　参加人数 3人
(セ)ミュージアムトーク　(各日11:00～11:30、14:30～15:00)
7月27日(土)、8月4日(日)、11日(日)、17日(土)、18日(日)、25(日)、31日(土)、9月1日(日)、8日(日)、14日(土)、21日(土)　参加人数計237人
ク 成 果 物　(ア)映像「海をまとう―万祝染のわざ―」全編(25分)
(イ)映像「海をまとう―万祝染のわざ―」ダイジェスト版(14分)
(ウ)映像「海をまとう―万祝染のわざ―」展示用(3分)
(エ)映像解説書「海をまとう―万祝染のわざ―」　300部
(オ)映像解説パンフレット「海をまとう―万祝染のわざ―」　15,000部
(カ)万祝(引染・甕染)　各1点
ケ 印 刷 物　(ア)チラシ　A4版カラー両面／80,000枚
(イ)ポスター　A2版カラー片面／1,000枚
(イ)ポスター　B2版カラー片面／50枚
(ウ)解説パンフレット　A3版二つ折りカラー／20,000枚
(エ)図録　A4冊子 90P／1,000部
ミュージアムショップ販売用(株式会社ミュージアムクルー)1,000部
(オ)ワークシート　A4版カラー両面／10,000枚
(カ)入場券　10,000枚

コ 展示資料　借用資料69点　館蔵資料6点　計75点

資料名	点数	所蔵
万祝型紙(サメ)	1	石巻市博物館
萬日記	1	いすみ市郷土資料館
塩田紺屋見本帳	1	いすみ市郷土資料館
絹の万祝「松竹梅に鶴と亀」	1	いすみ市郷土資料館
マイワイ	2	いわき市暮らしの伝承郷
万祝着	1	岩手県立水産科学館
祝ハンテン	1	岩手県立水産科学館
祝バンテン	1	岩手県立水産科学館
器械潜水記念写真	1	個人
大漁記念写真	1	個人
大漁祝いかんばん	1	大船渡市立博物館
江沢家日記(慶応二年日記丙寅 江沢宗室)	1	勝浦市教育委員会
江沢家日記(壬申日記)	1	勝浦市教育委員会
江沢家日記(辛酉日記)	1	勝浦市教育委員会
カクジョウ	1	川崎市立日本民家園
マンイワイ	1	川崎市立日本民家園
三印漁業部記念写真	1	個人(画像提供：いわき市暮らしの伝承郷)
マイワイ	1	九十九里町教育委員会
マイワイ	4	個人
蒼海之勇者	1	個人
船方往来	1	個人
マイワイ	1	個人
万祝反物	1	個人
万祝袢纏	1	個人
絵葉書　大原海岸ノ鰯漁(蔵野海寶堂発行)	1	個人
絵葉書　鍬ヶ崎舞妓と大漁踊り(宮古町)	1	個人
マイワイ	3	白浜海洋美術館
ハンテン	1	館山市立博物館
マイワイ	1	館山市立博物館
地曳網絵馬	1	玉前神社
銚子口大漁満祝ひの図	1	千葉県立中央図書館
浴衣(マイワイ)	1	千葉県立房総のむら
甕染の万祝の反物	1	千葉県立中央博物館
マイワイドテラ	1	千葉県立中央博物館
大日本物産圖會　上総國九十九里鰮漁之図	1	千葉県立中央博物館
大日本物産圖會　同國さんま網之圖	1	千葉県立中央博物館
日本博覧図　江澤潤一郎邸宅之図	1	千葉県立中央博物館
引染の万祝の反物	1	千葉県立中央博物館
万祝型紙(鶴型)	1	西山染工(画像提供：いわき市暮らしの伝承郷)
タイリョウバンテン	1	八戸市博物館
日立風流物北町の大幕	1	日立市(画像提供：日立市郷土資料館)
マイワイ	2	ふくしま海洋科学館
マイワイ	1	真鶴町教育委員会
カンバン	1	リアス・アーク美術館
マイワイ	2	横須賀市立人文・自然博物館
注文の手帳	1	鴨川萬祝染鈴染
絵葉書「房州鴨川町　山田染工場之一部」	1	鴨川萬祝染鈴染
開業日記帳	1	鴨川萬祝染鈴染
型紙を彫る道具	1	鴨川萬祝染鈴染
糸がけの糸と針	1	鴨川萬祝染鈴染
昭和一〇年代鈴木幸吉氏写真	1	鴨川萬祝染鈴染
色さしに用いる道具	1	鴨川萬祝染鈴染
伸子	1	鴨川萬祝染鈴染
張り手	1	鴨川萬祝染鈴染
道具箱	1	鴨川萬祝染鈴染

資料名	点数	所蔵
万祝の型紙	1	鴨川萬祝染鈴染
鈴木幸吉氏一八歳の写真	1	鴨川萬祝染鈴染
カンバン	1	東北歴史博物館
Le Peche Miraculeuse-Izu Japon-	1	沼津市歴史民俗資料館
マイワイドテラ	1	沼津市歴史民俗資料館
マイワイ	2	焼津漁業資料館
カンバン	2	石巻市博物館
まいわい	1	日立市郷土博物館
カンバン	1	陸前高田市立博物館
ダイリョウバンテン	1	陸前高田市立博物館

4 季節展

(1) 春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」

ア 会　　期　令和6年3月9日(土)～5月12日(日)〔令和6年度開催日数：36日間〕
イ 会　　場　第1企画展示室
ウ 主 催 等　千葉県立中央博物館
エ 入場者数　6,156人(令和6年4月1日～5月12日)（会期中の総数：10,386人）
オ 担 当 者　◎斎木健一、栗田隆気、黒住耐二、奥野淳兒、山本伸子、樽　宗一朗、髙橋一真
カ 概　　要　県内外の高等学校等に保存されている、古い生物標本に焦点をあて、残された標本からかつての自然や博物学の授業の様子を推定することを通して標本の大切さと標本を用いた教育の歴史を紹介した。
キ 関連行事　(ア)講座「理科室の標本の謎にせまる」5月6日 13:00～14:30
　　参加人数 56人(担当　斎木健一)
　(イ)ミュージアム・トーク　(各日 11:00～11:30、14:30～15:00)
　　開催日・参加人数： 4月7日 53人(担当　斎木健一)、4月21日 28人(担当　斎木健一)
ク 印 刷 物　(ア)チラシ　A4版カラー両面／16,000枚
　(イ)ポスター　A2版カラー片面／　500枚
ケ 展示資料　本館資料49点　分館海の博物館資料7点　借用資料97点　計153点

資料名	点数	所蔵
サラサバテイラ1点、ホンクマサカ2点、タコブネ2点、箱入り貝類標本1点、ボール紙貼り付け貝類標本(ハングル版)、児童により収集された貝殻(復元)1式、高等学校生物部誌15点	22	千葉県立中央博物館
アナグマ剥製1点、オオグンカンドリ剥製1点、ヒレンジャク剥製1点、キバタン剥製1点。ナベヅル剥製1点、カメレオン液浸標本1点、ツキヒガイ3点、「生徒が集めた貝」1式、植物分類標本100種1箱	11	千葉県立中央博物館 (千葉県立安房南高等学校旧蔵)
アコヤガイ2点、アコヤガイ解剖液浸標本(貝ボタン抜きの貝殻)1点、サラサバテイラ2点、カラスガイ2点	7	千葉県立中央博物館 (睦沢町立睦沢中学校旧蔵)
モウセンゴケさく葉標本1点、ホザキノミミカキグサさく葉標本1点、食虫植物さく葉標本1点	3	千葉県立中央博物館 (千葉県立長生高等学校旧蔵)
オランウータン剥製標本1点、センザンコウ剥製標本1点、ライチョウ剥製標本1点	3	千葉県立中央博物館 (千葉県立東金高等学校旧蔵)
関東地方産貝類標本(88種)1点、貝殻標本(80種)1点、人体内部寄生虫(以下六種)1点	3	千葉県立中央博物館 (南房総市立三芳小学校旧蔵)
イセエビ液浸標本1点、海プラナリア液浸標本1点、ヤムシ液浸標本1点、タコブネ液浸標本1点、豚寄生虫標本1点	5	千葉県立中央博物館分館海の博物館(千葉県立安房南高等学校旧蔵)
ヨウジウオ目魚類液浸標本1点	1	千葉県立中央博物館分館海の博物館(千葉県立成東高等学校旧蔵)
たこぶね	1	分館海の博物館
イトヒキアジ液浸標本1点、ササノハベラ液浸標本1点、キタマクラ液浸標本1点、ホシセミホウボウ液浸標本1点、アサヒガニ液浸標本1点、アカクラゲ液浸標本1点、ハナガサクラゲ液浸標本1点、アメフラシ液浸標本1点、ヤマトウミウシ液浸標本1点、つのかめのて液浸標本1点、アメリカザリガニ液浸標本1点、サワガニ液浸標本1点、トノサマガエル発育順序標本1点、ウナギ発育順序液浸標本1点、ヤツメウナギ解剖液浸標本1点、イソギンチャク解剖液浸標本1点、ヤリイカ解剖液浸標本1点、イセエビ解剖液浸標本1点、人体内部寄生虫液浸標本1点、無脊椎動物分類標本(乾製)1点、長狭高等学校生徒採集昆虫標本2箱、木製昆虫標本箱1点、ムラサキウニ解体乾燥標本1点、ナメクジウオ発育順序模型1点、視器解剖模型1点、タイドプール生物乾燥標本5箱、タイドプールプランクトンプレパラート5箱	36	千葉県立長狭高等学校

資料名	点数	所蔵
カモノハシ剥製1点、イワカンガルー剥製1点、モグラ剥製1点、シカ剥製1点、オットセイ剥製1点、オオコウモリ剥製1点、サル剥製1点、センザンコウ剥製1点、ライチョウ剥製1点、カワラバト剥製1点、アカゲラ剥製1点、コサギ剥製1点、コウノトリ剥製1点、アホウドリ剥製1点、ユムシ液浸標本1点、よしきりがに液浸標本1点、うみもくずがに液浸標本1点、ゲンノショウコ・ヤマキツネノボタンさく葉標本1点、テンツキ・コゴメガヤツリさく葉標本1点	19	千葉県立木更津高等学校
チョウザメ液浸標本1点、昆虫分類標本3箱、病原菌・菌類プレパラート1箱、寄生虫卵プレパラート1箱、カエル発生模型1点	7	千葉県立大多喜高等学校
インドマングース剥製標本1点、ムササビ剥製標本1点、トキ標本1点、クロコダイルの一種剥製標本1点、ヤマトグサさく葉標本1点、クジュウクリテンツキさく葉標本1点、	6	千葉県立千葉高等学校
イエネコ骨格標本1点、脊椎動物骨格標本5種1点、イルカ模型1点、フナ解剖液浸標本1点、イソギンチャク液浸標本1点	5	千葉県立安房拓心高等学校
イタチ剥製標本1点	1	千葉県立国府台高等学校
鳥類の脚標本1点	1	千葉県立佐倉高等学校
カイコ大型解剖模型1点	1	千葉県立安房高等学校 (千葉県立安房南高等学校旧蔵)
ハヤブサ剥製標本1点、ハリオアマツバメ剥製標本1点、コガモ剥製標本1点、カイツブリ剥製標本1点、昆虫標本1箱、人体解剖模型1点	6	千葉県総合教育センター
自然科学入門ノート1点	1	武蔵学園記念室
「学校標本をどのように取り扱うべきなのか？」(別刷)1点、「発掘された学校標本を復元する」(別刷)1点、貝ボタン4点、貝ボタンを抜いた貝殻4点	10	個人
「新撰女子動物学教科書」1点、「日本動物図鑑」1点	2	個人
生物部誌1点、雑誌「佐賀の昆虫」1点	2	個人

(2) 秋の展示「二口善雄植物画展」

ア 会　　期　令和6年10月12日(土)～11月24日(日)〔開催日数：38日間〕
(内訳)　前期　10月12日(土)～10月27日(日)　14日間
中期　10月29日(火)～11月10日(日)　12日間
後期　11月12日(火)～11月24日(日)　12日間
イ 会　　場　第1企画展示室
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入場者数　9,823人
オ 担　当　者　◎御巫由紀、山本伸子、浅野紗彩、宮　正樹
カ 概　　要　日本の植物画家の草分けといわれる二口善雄氏(1900-1997)の作品(水彩画)を、当館では3,250点保管しており、日本最大のコレクションである。東京帝国大学理学部植物学教室に植物画の専門家として勤務し、千葉県鎌ケ谷市にアトリエを構えていた二口氏の作品は、初めて植物画を見る人にも植物への関心を強く抱かせるほど生命力に満ちあふれている。
本展示では当館コレクションから二口作品と、生前の作品製作風景等の写真、作品が掲載された図鑑等を合わせて展示した。過去に数点ずつ2度ほど一般公開したが、その度に寄せられた県民からの大規模公開の要望に応えるとともに、郷土にゆかりある植物画作品を紹介することで、植物及び植物画への関心を高めることを目的とした。
キ 関連行事　(ア) 植物学講座「バラの歴史」講師 御巫由紀 令和6年11月9日(土)13:30-15:00 参加人数 52人
(イ) ミュージアムトーク　(各日11:00～11:30、14:30～15:00)
開催日・参加人数：10月12日 17人(担当 御巫由紀)、26日 14人(担当　御巫由紀)、11月2日 7人(担当 御巫由紀)、11月16日 28人(担当 山本伸子)、11月23日 39人 (担当　御巫由紀)
(ウ) 体験イベント　花のぬり絵　(事前申込不要) 開催日・参加人数:10月12日(10:00-12:00、13:30-15:30)25人、11月2日(15:00-16:00)12人、23日(15:00-16:00)22人
(エ) 館外　放送大学公開講演会 9月21日(土) 参加人数 79人
西部図書館サイエンスカフェ　10月27日(日)参加人数 30人
ク 印刷物　(ア) チラシ　A4両面カラー／15,000枚
(イ) ポスター　B2カラー／30枚
(ウ) 解説シート　A3二折、両面カラー／2,000枚
ケ 展示資料　当館所蔵の二口善雄植物画215点、レプリカ1点、書籍17点、写真26点 計259点
第1章 バラ(野生種・オールドローズ・モダンローズ)、第2章 二口善雄の作画風景、第3章 野菜・果物・きのこ、第4章 前期：ユリ・中期：ツバキ・後期：ラン、第5章 理科図集及びその原画

(3) 春の展示(令和6年)「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの35年」

ア 会　　期　令和7年2月22日(土)～令和7年6月8日(日)〔令和6年度開催日数：32日間〕
イ 会　　場　第1企画展示室
ウ 主　催　等　(ア)主　催　千葉県立中央博物館
(イ)協　力　千葉県生物学会

エ　入場者数　6,522人(令和7年2月22日～3月31日)

オ　担　当　者　◎西内李佳、尾崎煙雄、林　紀男、樽　宗一朗、小田谷嘉弥、玉井里奈

カ　概　　要　国の畜産試験場の跡地に房総の代表的な木や草を植え、ゼロから生態系を造った生態園。開園から35年が経ち森らしく成長した生態園は、現在も変化を続ける「完成することのない“生きた”展示」である。都市の中に造られた自然は35年でどのように変化してきたのか。この森を造り、その変化を人知れず調べ続ける研究員たちの、時に地道、時にユニークな活動にスポットを当てて紹介した。

キ　関連行事　(ア)観察会「水位低下させた舟田池の水辺を歩く」2月11日(10：30～12：00)　参加者：13人(担当　林　紀男)

(イ)観察会「生態園で野鳥観察」3月1日(10：30～11:30)　参加人数 10人(担当　小田谷嘉弥)

(ウ)自然誌シンポジウム「都市の中につくられた自然『生態園』のこれまでとこれから」　3月9日(日)　参加人数 57人(担当　尾崎煙雄・西内李佳)講師：西内李佳、大野啓一、林紀男、大庭照代、下田彰子、吉田正人

(エ)観察会「生態園で春を見つけよう」3月20日(木・祝)　参加者：12人(担当　斎木健一)

(オ)観察会「生態園で地衣類観察」3月30日(日)　参加者：21人(担当　坂田歩美)

(カ)ミュージアム・トーク　(各日11:00～11:30、14:30～15:00)　開催日・参加人数：2月23日　計30人(担当　西内李佳)、3月2日　計36人(担当　樽　宗一朗)

(キ)生態園トーク　(11:00～11:30、14:30～15:00)　開催日・参加人数：2月9日　計12人、3月30日　計3人(担当　林紀男)

(ク)職員・ボランティア向け解説会　2月23日、27日　参加人数計24人(担当　西内李佳)

ク　印　刷　物　(ア)チラシ　　A4版カラー両面／12,000枚

(イ)リーフレット　A3版カラー片面／6,000枚

ケ　展示資料　本館資料307点　個人蔵10点　計317点

資料名	点数	所蔵
研究員等身大写真	5	千葉県立中央博物館
研究員エピソード漫画パネル	4	千葉県立中央博物館
生態園年表	1	千葉県立中央博物館
「川崎溜池廻新田開発争論裁許裏書絵図写」1点、畜産試験場時代の絵はがき2点、畜産試験場地図2点、畜産試験場時代の写真2点	7	千葉県立中央博物館
沼田眞写真	1	千葉県立中央博物館
「野外観察地展示シナリオ」2点、「千葉県立中央博物館敷地測量業務委託報告書」1点、樹木台帳1点	4	千葉県立中央博物館
ツリークライミングの道具一式(ロープ、ヘルメット、ハーネス、ロープバッグ、手鋸写真)各1点	5	個人
ツリガネニンジン模型1点、センブリ模型1点、キンランさく葉標本1点、クゲヌマランさく葉標本1点	4	千葉県立中央博物館
毎木調査の道具一式(記録用地図、直径巻尺ナンバーテープ、クリップボード、タッカー、ペン、マーカー、赤白ピン)各1点	7	千葉県立中央博物館
シュロ果実模型1点、シュロ写真1点	2	千葉県立中央博物館
ボート1点、ミジンコ礁1点、沈水型ミジンコ礁1点	3	千葉県立中央博物館
透明度板1点、プランクトンネット1点、採水器(リゴー型)1点、大型採水器(バンドーン型)1点、採泥器(エクマンバージ型)1点、カニかご2点	7	千葉県立中央博物館
アメリカザリガニ乾燥標本3点	3	千葉県立中央博物館
魚類写真(ゲンゴロウブナ2点、ギンブナ1点、コイ1点、クロダハゼ3点、モツゴ3点、タモロコ2点、ミナミメダカ5点)	17	千葉県立中央博物館
ミジンコモビール1点、アオサギイラスト1点	2	千葉県立中央博物館
動画で見る生態園(動画24編、約11分)	1	千葉県立中央博物館
双眼鏡1点、記録ボード一式1点	2	個人
鳥類剥製(ハシブトガラス1点、カワセミ1点、マガモ1点、カイツブリ2点、カルガモ1点、キジ1点、ホオジロ1点、セッカ1点、モズ1点、ヒバリ1点、キジバト1点、ウグイス1点、ヒヨドリ1点、エナガ1点、メジロ1点、シジュウカラ1点、ヤマガラ1点、コゲラ1点、シロハラ1点、ホシハジロ1点、キンクロハジロ1点、トモエガモ1点、カワウ1点、カシラダカ1点、アオジ1点、クロジ1点、アカハラ1点、アオサギ1点)	28	千葉県立中央博物館
標識調査道具一式(標識調査用足環2点、足環を付けるプライヤー1点)	3	個人
生態園生きもの写真(ハマヒルガオ花1点、チョウトンボ1点、アミガサタケ1点、ナガコガネグモ1点、カワラナデシコ花1点、オオカマキリ1点、クサガメ1点、ツチイナゴ幼虫1点、カエンタケ1点、カンアオイ花1点、ハグロハバチ幼虫1点、アラカシ果実1点、ノコギリクワガタ1点、シュンラン花1点、ハシブトガラス1点、チシオタケ1点、アカスジキンカメムシ1点、ゴマダラチョウ1点、ヒダリマキマイマイ1点、ヤブデマリ花1点、アオダイショウ1点、トホシテントウ1点、ハナダカバチ1点、アマガエル1点、モミ球果1点、イソギク花1点、マクラギヤスデ1点、カラスウリ花1点、)	28	千葉県立中央博物館

資料名	点数	所蔵
哺乳類剥製(アズマモグラ1点、アブラコウモリ1点、カヤネズミ1点、アカネズミ1点、ニホンイタチ1点、ニホンノウサギ1点、アナグマ1点、タヌキ4点、イエネコ1点、ドブネズミ1点、ハクビシン1点、アライグマ1点、キョン1点)	18	千葉県立中央博物館
箱ワナ1点、センサーカメラ1点	2	千葉県立中央博物館
ライトトラップ道具一式1点、衝突板トラップ一式1点、照明付き吊り下げ式衝突板トラップ一式1点	3	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ズイムシハナカメムシ1点、キベリナガアシドロムシ1点、ムツゲゴマムクゲキノコムシ1点)	3	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(タマムシ3点、アサギマダラ2点、ブドウトリバ1点、アカスジキンカメムシ4点)	10	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ミノウスバ3点、シロシタホタルガ2点)	5	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ブタクサハムシ9点)	9	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ソリヴァグスコナガアリヅカムシ3点)	3	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ショウジョウトンボ2点、チョウトンボ2点)	4	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ミドリシジミ2点、ケシゲンゴロウ1点、キアシネクイハムシ3点、マダラコガシラミズムシ1点)	7	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ツマキチョウ6点、オニヤンマ1点)	7	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(オオハサミムシ3点、オオゴキブリ1点、ツユムシ3点、トノサマバッタ4点)	11	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(アカボシゴマダラ2点)	2	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(チュウゴクアミガサハゴロモ2点)	2	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(ムネアカハラビロカマキリ1点、キマダラカメムシ2点、クスベニヒラタカスミカメ2点、ノハラボタル2点)	7	千葉県立中央博物館
昆虫乾燥標本(クロコノマチョウ1点、ムラサキツバメ2点、ツマアカクモバチ1点)	4	千葉県立中央博物館
蘚苔類含浸標本(ハマキゴケ1点、ハイゴケ1点、ナミガタタチゴケ1点)	3	千葉県立中央博物館
蘚苔類乾燥標本(ツチノウエノコゴケ1点、ヒメナギゴケ1点)	2	千葉県立中央博物館
地衣類が生育している樹幹(キゴウゴケ属の一種、ソバカスゴケの一種、ニセモジゴケ)	1	千葉県立中央博物館
コアカミゴケ乾燥標本1点	1	千葉県立中央博物館
陸産貝類乾燥標本(ミスジマイマイ3点、ミスジマイマイ属の一種2点、ヒタチマイマイ6点、ニッポンマイマイ1点、ヒダリマキマイマイ2点(うち1点は軟体部模型)、ウスカワマイマイ1点、オナジマイマイ1点、ヤマクルマ2点、パツラマイマイ2点、ウラジロベッコウ1点、コハクガイ1点、ナミギセル1点、ナミコギセル1点、ヒカリギセル2点、チュウゼンジギセル1点、キビガイ1点、カサキビ1点、ハリマキビ1点)	30	千葉県立中央博物館
クロダハゼ液浸標本1点、ミナミメダカ液浸標本2点、モツゴ剥製1点、ゲンゴロウブナ剥製1点	5	千葉県立中央博物館
シマヘビ模型1点、クサガメ剥製1点、ヒガシニホントカゲ剥製2点、アズマヒキガエル模型1点	5	千葉県立中央博物館
菌類模型(テングタケ1点、アミガサタケ1点)	2	千葉県立中央博物館
菌類乾燥標本(ヤナギマツタケ2点、オオシロカラカサタケ2点、カエンタケ4点、シロヒナノチャワンタケが発生した小枝1点、オオゴムタケが発生した枝1点)	10	千葉県立中央博物館
生態園のアブラムシ写真パネル(イバラヒゲナガアブラムシ、カシコブオオアブラムシ、キスゲフクレアブラムシ、クヌギクチナガオオアブラムシ、クワナケクダアブラムシ、サルトリイバラアブラムシ、セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ、ソラマメヒゲナガアブラムシ、タケノアブラムシ、ハネナガオオアブラムシ、ホウセンカヒゲナガアブラムシ、ヤノクチナガオオアブラムシ)	1	千葉県立中央博物館
さく葉標本(タコノアシ1点、ジョウロウスゲ1点)	2	千葉県立中央博物館
「森の調査隊」関連資料一式(ワークシート集、調査ファイル、ワークシート)	1	千葉県立中央博物館
生態園ペーパークラフト各1点(オニヤンマ、キンクロハジロ、アカネズミ、カイツブリ、タンポポ、カブトムシ、アズマモグラ、カワセミ、シジュウカラ、アブラゼミ)	10	千葉県立中央博物館
のぞき筒つき解説板1点	1	千葉県立中央博物館
動画「生態園の自然～生きもの写真記録～」の使い方(約1分)	1	千葉県立中央博物館
生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」ポスター	1	千葉県立中央博物館
千葉県立中央博物館研究報告特別号第1号1点、千葉県立中央博物館研究報告特別号第12号1点	2	千葉県立中央博物館
生態園観察ノート各1点(「森の調査隊」増補版、「葉っぱの本」、「くらべてみよう葉っぱのかたち」、「生態園 20 年」、「新版生態園の鳥チェックリスト」、「生態園のコケ」、「生態園のシダ」、「生態園のチョウの図鑑」)	8	千葉県立中央博物館

5 生態園トピックス展

(1) 生態園の野鳥たち

ア 会　　期　令和 6 年 2 月 20 日(火)～7 月 7 日(日)〔令和 6 年度開催日数：82 日間〕
イ 会　　場　生態園オリエンテーションハウス
ウ 主 催 等　千葉県立中央博物館
エ 入場者数　9,802 人(令和 6 年度：4 月 2 日～7 月 7 日)（会期中の総数：14,257 人）
オ 主担当者　小田谷嘉弥
カ 概　　要　生態園は市街地の中にありながら良好な自然が保たれた貴重な環境である。生態園では 150 種を越す野鳥が記録されている。今回のトピックス展では、生態園で見られる多くの野鳥たちを標本や写真などで紹介した。
キ 関連行事　生態園トーク(展示解説)（11:00～11:30、14:30～15:00）　6 月 15 日　参加人数 22 人
ク 印 刷 物　A3 判、カラー15 枚、館内印刷、館内掲出
ケ 展示資料　101 点

資料名	点数	所蔵
実物・標本類	14	千葉県立中央博物館
映像類	15	千葉県立中央博物館
鳥類生態写真	64	個人
パネル類	8	千葉県立中央博物館

(2) 生態園の地衣類

ア 会　　期　令和 6 年 10 月 16 日(水)～12 月 22 日(日)〔開催日数：60 日間〕
イ 会　　場　生態園オリエンテーションハウス
ウ 主 催 等　千葉県立中央博物館
エ 入場者数　7,678 人
オ 主担当者　坂田歩美
カ 概　　要　令和元年から 5 年にかけて調査を行い、生態園に生育している地衣類(藻類と共生している菌類)の目録を作成した。調査の結果、生態園には 21 属 29 種の地衣類が生育することがわかった。本展示ではこの調査に基づき、生態園を代表する地衣類や生態園では珍しい地衣類を写真と実物で紹介した。
キ 関連行事　(ア) 講座「地衣類の顕微鏡観察」講師 坂田歩美 令和 7 年 1 月 5 日(日)13:30-15:00
　　参加人数 10 人(研修室)
　　(イ) 観察会「郊外の地衣類」講師 坂田歩美 令和 6 年 12 月 22 日(日)10:00-15:00
　　参加人数 3 人(清和県民の森)
　　(ウ) 生態園トーク(展示解説)(11:00～11:30、14:30～15:00)
　　参加人数 12 月 21 日(土)(4 人)（担当　坂田歩美)
　　(エ) 職員・ボランティア向け解説　参加人数 11 月 29 日(8 人)、12 月 21 日(4 人)
ク 印 刷 物　A2 判カラー6 枚(秋の展示等と共に掲載)：館内印刷、青葉の森公園掲出、A3 判カラー1 枚：館内印刷、館内掲出
ケ 展示資料　15 点

資料名	点数	所蔵
実物：ナガサルオガセ、ウメノキゴケ等が付いた枝 2 本、ウッドデッキについたヒメレンゲゴケ 2、ウッドデッキについたコナイボゴケ、屋根についたコアカミゴケ	7	千葉県立中央博物館
パネル類	8	千葉県立中央博物館

(3) 春の展示関連展示　生態園からはじめる房総の自然観察

ア 会　　期　令和 7 年 2 月 1 日(土)～6 月 29 日(日)〔令和 6 年度開催日数：50 日間〕
イ 会　　場　生態園オリエンテーションハウス
ウ 主 催 等　(ア)主　　催　千葉県立中央博物館
　　(イ)協　　力　千葉県生物学会
エ 入場者数　8,882 人(令和 7 年 2 月 1 日～3 月 31 日)
オ 担 当 者　◎西内李佳、尾崎煙雄、林　紀男、樽　宗一朗、小田谷嘉弥、玉井里奈
カ 概　　要　春の展示関連展示として、春の展示より長い期間で開催。生態園の各エリアは、房総各地の自然をモデルにしている。生態園全体を房総の自然観察ツアーガイドブックに見立て、豊かな房総の自然の見どころを地図・写真・標本などで紹介した。
キ 関連行事　(ア)生態園トーク(展示解説)（各日 11:00～11:30、14:30～15:00)
　　開催日・参加人数：令和 7 年 2 月 8 日(土)9 人(西内李佳)、
　　令和 7 年 3 月 16 日(日)4 人、23 日(日)7 人(尾崎煙雄)
　　会場：生態園オリエンテーションハウス
　　(イ)職員・ボランティア向け解説(西内李佳)(各日 11:00～11:30、14:30～15:00)
　　開催日・参加人数：令和 7 年 2 月 23 日(日) 4 人、27 日(木)5 人
　　会場：生態園オリエンテーションハウス

ク 印　刷　物　(ア)A3 判、カラー10 枚、館内印刷、館内掲出
(イ)A0 版、カラー3 枚、館内印刷、館内掲出
ケ 展 示 資 料　162 点

資料名	点数	所蔵
標本(果実・種子・昆虫・シダ・竹)	143	千葉県立中央博物館
マダケのカゴ	1	個人
植物生態写真パネル	6	千葉県立中央博物館
解説パネル	12	千葉県立中央博物館

6 トピックス展

(1) 令和 5 年度「生命(いのち)のにぎわい　生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
ア 会　　期　令和 6 年 3 月 5 日(火)～5 月 6 日(月・休)〔令和 6 年度開催日数：32 日間〕
イ 会　　場　歴史展示室前廊下
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　5,496 人(令和 6 年度：4 月 2 日～5 月 6 日)(会期中の総数：9,966 人)
オ 担　当　者　下稲葉さやか、菊川照英、樽　宗一朗
カ 概　　要　千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。
キ 展 示 資 料　写真パネル 37 点

(2) 周期ゼミの秘密
ア 会　　期　令和 6 年 8 月 3 日(土)～9 月 1 日(日)〔開催日数：26 日間〕
イ 会　　場　分類展示室
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　7,229 人
オ 担　当　者　樽　宗一朗
カ 概　　要　アメリカでは 13 年周期、17 年周期で発生する「周期ゼミ」が知られており、令和 6 年は両周期のセミが同時に発生し話題となった。本展示では、日本のセミと比較しながら、なぜ 13 年、17 年周期で発生するようなセミが現れたのかを紹介し、生物の進化やその魅力について関心を深めることを目的とした。
キ 展 示 資 料　昆虫標本 10 点、パネル 2 点、動画 1 点

(3) 近代文学を支えた寺田憲とその周辺
ア 会　　期　令和 6 年 10 月 19 日(土)～11 月 17 日(日)〔開催日数：26 日間〕
イ 会　　場　第 2 企画展示室
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　7,008 人
オ 担　当　者　◎米谷　博・渡瀬綾乃・玉井里奈
カ 概　　要　香取郡神崎町で醸造業を営む寺田本家の二十代当主の寺田憲は、明治から昭和初期にかけて文学界と深く
関わりをもち、創作活動に励むかたわら多くの文人たちの後援者として日本の近代文学の発展を支えてきた。寺田家には著名な文人たちと交わした書簡などが多数残されており、これらの寺田家資料は令和 5 年度に中央博物館へ寄贈された。今回は新収蔵資料を紹介する速報展示として、寄贈された書簡を中心に展示し、寺田憲と文人たちの交流の様子を紹介する。
キ 関 連 事 業　ミュージアムトーク　(各日 11:00～11:30、14:30～15:00)　開催日・参加人数：10 月 19 日(土)午前 10 人、午後 5 人、11 月 9 日(土)午前 6 人、午後 12 人(米谷　博)
ク 印　刷　物　(ア)チラシ　A4 版、両面カラー、館内印刷
(イ)ポスター　A3 版、片面カラー、館内印刷
(ウ)展示資料翻刻シート　A4 版、6 頁、館内印刷
(エ)解説シート　PDF 版を中央博物館ウェブサイトにて公開
ケ 展 示 資 料　43 点 (実物資料 35 点(館蔵資料 34 点、借用資料 1 点)、パネル 8 点)

資料名	点数	所蔵
通い徳利	2	千葉県立中央博物館
一升瓶	2	千葉県立中央博物館
日本博覧図　寺田家銅版画(パネル)	1	千葉県立中央博物館
寺田本家写真(パネル)	1	千葉県立中央博物館
寺田家の経営帳簿類	1	千葉県立中央博物館
神崎明神の図(パネル)	1	千葉県立中央博物館
わかば集	1	千葉県立中央博物館

資料名	点数	所蔵
『馬酔木』	1	千葉県立中央博物館
寺田憲肖像写真(パネル)	1	個人
寺田憲が使用した文机	1	千葉県立中央博物館
伊藤左千夫書簡・葉書	3	千葉県立中央博物館
左千夫・節・憲の写真(パネル)	1	山武市歴民資料館提供
神崎神社写真(パネル)	1	千葉県立中央博物館
夏目漱石書簡	1	千葉県立中央博物館
土屋文明書簡	4	千葉県立中央博物館
寺田憲の歌碑(神崎神社)(パネル)	1	千葉県立中央博物館
長塚節書簡	3	千葉県立中央博物館
香取秀真書簡	3	千葉県立中央博物館
鴇鴞卣(しきょうゆう)	1	個人
古泉千樫書簡	2	千葉県立中央博物館
斉藤茂吉書簡	1	千葉県立中央博物館
佐佐木信綱書簡	2	千葉県立中央博物館
与謝野鉄幹書簡	2	千葉県立中央博物館
高橋刀畔書簡	2	千葉県立中央博物館
牧野富太郎書簡	2	千葉県立中央博物館
ナンジャモンジャの木写真(パネル)	1	千葉県立中央博物館
『寺田憲遺歌集』	1	千葉県立中央博物館

(4) 地中からのメッセージ　～旧石器・縄文・弥生～

ア　会　　期　令和6年12月21日(土)～令和7年2 月9日(日)〔開催期間：40 日間(内：開館日数31 日間)〕
イ　会　　場　第1企画展示室、2階ホール
ウ　主　催　等　公益財団法人千葉県教育振興財団、千葉県立中央博物館
エ　入 場 者 数　6,395 人
オ　担　当　者　石井友菜、林　紀男
カ　概　　要　公益財団法人千葉県教育振興財団は、急増した国・県の大規模開発事業に伴う発掘調査に対応するために、昭和49年11月1日に財団法人千葉県文化財センターとして設立された。このたび、設立からこれまで積み重ねた発掘調査の実績と考古学上の成果を総括し、財団が将来にわたって公益に資する事業を継続していくことを目的として、令和6年度から7年度にかけて設立50周年記念展を企画した。令和6年度はpart1として、旧石器・縄文・弥生時代の調査成果を展示した。
キ　展 示 資 料　借用資料1,030点　計1,030点

(5) 十二支にちなんで－巳年－

ア　会　　期　令和6年12月24日(火)～令和7年1月26日(日)〔開催日数：22日間〕
イ　会　　場　第2企画展示室
ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館
エ　入 場 者 数　3,832 人
オ　担　当　者　(主担当)丸山啓志
　各分野担当　岩石(高橋直樹)、化石(加藤久佳)、爬虫類(栗田隆気)、魚類(後藤　亮、小林大純)、昆虫(樽　宗一朗)、貝類(照屋清之介)、維管束植物(御巫由紀、山本伸子、天野誠、斎木健一、尾崎煙雄)、地衣類(坂田歩美)、 民俗資料(鈴木建人、玉井里奈)、マッチラベル(島立理子)
カ　概　　要　令和7年の十二支である「巳」にちなんで名前が付けられた生物等、及び「巳」に関係する資料を展示し、来館者に生物多様性や人間の関わりについて、理解を深めてもらう。
キ　関 連 行 事　ミュージアムトーク（各日11:00～11:30、14:30～15:00)
　開催日 令和7年1月11日(土)（照屋清之介)、1月13日(月・祝)(丸山啓志)
　場 所 千葉県立中央博物館 第2企画展示室

ク　展 示 資 料　館蔵資料96点(パネルや写真等はカウントせず)

資料名	点数	所蔵
岩石標本(蛇紋岩・蛇灰岩)	4	千葉県立中央博物館
化石(ヘビ化石・蛇体石(サンゴ化石))	3	個人・千葉県立中央博物館
爬虫類標本(ヤマカガシ、トカラハブ、エラブウミヘビなど)	8	千葉県立中央博物館
魚類標本(ジャノメハゼなど)	4	千葉県立中央博物館
昆虫標本(ヘビトンボ・ラクダムシ)	9	千葉県立中央博物館

資料名	点数	所蔵
貝類標本(モツレヘビガイ、オオヘビガイなど)	33	千葉県立中央博物館
植物標本(マムシグサ、ジャノヒゲなど)	6	千葉県立中央博物館
地衣類標本(クチナワゴケ)	1	千葉県立中央博物館
民俗資料(蛇の目傘、八千代市下高野の辻切り)	2	個人
マッチラベル(吉澤貞一コレクション)	25	千葉県立中央博物館
撮影スポットパネル(マッチラベル)	1	千葉県立中央博物館

(6) 利根川高瀬船フォトアルバム(「利根川中下流域の川船及び関連用具」関連展示)

ア 会　　期　令和 7 年 1 月 29 日(水)～3 月 16 日(日)〔開催日数：41 日間〕
イ 会　　場　自然と人間のかかわり展示室向かい廊下壁面
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　7,152 人
オ 担　当　者　榎　美香
カ 概　　要　令和 7 年 1 月 24 日に国の文化審議会は、文部科学大臣に対し、千葉県立中央博物館、同館大利根分館及び関宿城博物館所蔵の「利根川中下流域の川船及び関連用具」を国の有形民俗文化財に登録することを答申することとなった。これにあたり、中央博にて古写真を中心に利根川高瀬船について紹介する。
キ 展 示 資 料　写真パネル 8 点

(7) 神社の屋根より絵馬出づる～富津市三柱神社の修復工事より～

ア 会　　期　令和 7 年 2 月 1 日(土)～3 月 16 日(日)〔開催日数：38 日間〕
イ 会　　場　第 2 企画展示室
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　7,937 人
オ 担　当　者　◎榎　美香、鈴木建人、小川宏和、林　紀男
カ 概　　要　平成 28 年、土砂崩れで被災した富津市三柱神社の大規模修復が行われていたさなか、こけら葺きの屋根材に混じって江戸時代中期のものと思われる絵馬 39 枚分および絵馬の端材が発見された。その絵馬が令和 6 年度に千葉県立中央博物館に寄託された。この三柱神社の屋根から現代に再び現れた絵馬たちを公開し、描かれた絵柄の意味を探るため、千葉県周辺の小絵馬習俗についても併せて紹介した。
キ 印　刷　物　チラシ　250 部
ク 展 示 資 料　65 点

(8) 令和 6 年度「生命(いのち)のにぎわい　生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

ア 会　　期　令和 7 年 3 月 11 日(火)～5 月 6 日(火・休)〔開催日数：18 日間(令和 6 年度)〕
イ 会　　場　歴史展示室前廊下
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　3,230 人(令和 6 年度：3 月 11 日～3 月 31 日)(会期中の総数：7,937 人)
オ 担　当　者　御巫由紀
カ 概　　要　千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。
キ 展 示 資 料　写真パネル 31 点
ク 関 連 行 事　「生命(いのち)のにぎわい調査フォーラム」「写真コンテスト」令和 7 年 3 月 8 日(土) 13:00～14:30

(9) 世界最大級の花、ショクダイオオコンニャク

ア 会　　期　令和 7 年 3 月 18 日(火)～6 月 15 日(日)〔令和 6 年度開催日数：12 日間〕
イ 会　　場　地学展示室前廊下
ウ 主　催　等　千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数　2,230 人(令和 6 年度：3 月 18 日～3 月 31 日)
オ 担　当　者　御巫由紀・山本伸子
カ 概　　要　令和 4 年 7 月 2 日、武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園(京都市左京区)でショクダイオオコンニャクが約 5 年ぶりに花を咲かせた。国内のみならず世界的にも栽培・観察される個体数が限られ、花が咲くとその大きさや臭いが話題となってニュースに取り上げられるが、開花期間が 2～3 日と短く、実際に見たことがある人は少ない。京都薬用植物園で製作した巨大標本を、開花時の写真とともに展示した。
キ 展 示 資 料　借用資料 5 点(額装標本 1 点、写真パネル 2 点、解説パネル 2 点)、館蔵資料 2 点(光庭にて生態展示)　計 7 点

7　その他の展示

(1)　千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展

ア　会　　期　下記参照
イ　会　　場　下記参照
ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館
エ　入場者数　合計58.365人
オ　担　当　者　幅　大、駒井智幸（巡回担当）
カ　概　　要　明治6年（1873）に千葉県が誕生してから現在までの150年間の千葉県のあゆみについて、県立博物館等が所蔵する政治・産業・生活等々が記録された写真により構成したパネル展示を巡回した。パネルを3セット作成し、同時に3施設で実施可能とした。なお、令和5年度からの継続であり、令和6年6月14日までが事業期間であった。
キ　展示資料　展示パネル　サイズ　90 cm×180 cm　15枚（2セット）　サイズ　60 cm×160 cm 15枚（1セット）

会場	会期	令和6年度入場者数
千葉県立房総のむら	令和6年3月23日～5月12日	32,213人
千葉県立現代産業科学館	令和6年3月26日～4月29日	2,802人
千葉県立関宿城博物館	令和6年4月16日～5月26日	14,625人
船橋市郷土資料館	令和6年5月3日～6月9日	2,125人
千葉県庁	令和6年6月4日～6月7日	ND
イオンモール津田沼	令和6年6月5日～6月14日	ND
勝浦市芸術文化交流センター	令和6年6月16日	6,600人

(2)　みんなで創る「ふるさとちば古写真デジタルアーカイブ」デジタルコンテンツ巡回展示

ア　会　　期　下記参照
イ　会　　場　下記参照
ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館
エ　担　当　者　千葉友樹、玉井里奈、駒井智幸（巡回担当）
オ　概　　要　千葉県が誕生150周年を迎えるにあたり、県内外に千葉県の古写真の提供を広く募り、未来にわたり引き継いでいくために、県立博物館所蔵の古写真とともにデジタルアーカイブ化し、あわせて開催する千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展と連動して巡回展示した。なお、令和5年度からの継続であり、令和6年6月14日までが事業期間であった。
カ　展示資料　PCとタッチパネルディスプレイ。PCには778枚の古写真を格納。古写真について解説したA1サイズのパネル5点。

会場	会期
千葉県立房総のむら	令和6年3月23日～4月11日
千葉県立現代産業科学館	令和6年4月13日～4月29日
千葉県立関宿城博物館	令和6年5月2日～5月26日

8　出前展示

(1) 手賀沼流域7市巡回「侵略的外来水生植物パネル展」（共催：手賀沼流域フォーラム実行委員会）

ア　会　　場　手賀沼流域7市9拠点
流山市役所、我孫子市生涯学習センター アビスタ1 階 ストリート、印西市役所、我孫子市生涯学習センター アビスタ1 階 ホール、手賀沼親水広場 水の館、柏市役所、松戸市役所、白井市役所、鎌ケ谷市役所
イ　会　　期　令和6年10月28日(月)～令和7年2月7日(金)〔開催日数：63日間〕
ウ　入場者数　51,386人
エ　担　当　者　林　紀男
オ　概　　要　侵略的外来水生植物の千葉県における繁茂の現状と影響を多角的に紹介する展示を実施した。
カ　展示資料　侵略的外来水生植物に関する解説パネル,市民活動による取り組み紹介パネル　合計15点

第２　大利根分館

１　出前展示

(1)　出張展示　伝馬船模型展示－利根川の舟運と船－

ア　会　　期　令和６年４月１日(月)から当面の間　(令和４年７月５日から継続)
イ　会　　場　千葉県香取地域振興事務所合同庁舎１階エントランスホール
ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館大利根分館
エ　入場者数　カウントせず
オ　主　担　当　米谷　博
カ　概　　要　香取地域の住民を対象に利根川の舟運の歴史や文化を紹介するための展示を行っている。
キ　展示資料　伝馬船五分の一模型及び解説パネル

第 3　大多喜城分館

1　常設展示

(1) 研修館展示　大多喜城と城下町

ア　会　　期　令和 3 年 3 月 14 日(月)～

イ　会　　場　研修館

ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ　担　当　者　高橋　覚、村田憲一、石井友菜(令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月)※本館と兼務

オ　概　　要　「中世の大多喜城」、「本多 3 代と大多喜藩」、「大河内(松平氏)と大多喜藩」、「城下町大多喜」 の 4 つのテーマから、大多喜城と城下町の歴史について写真とパネル等で紹介した。

カ　関 連 行 事　なし

キ　印　刷　物　なし

ク　展 示 資 料　(館蔵資料 19 点　写真 16 点　映像 1 点　解説パネル 17 点　計 36 点)

資料名	点数	所蔵
試着体験用甲冑	8	千葉県立中央博物館大多喜城分館
大多喜城本丸跡出土かわらけ	8	千葉県立中央博物館大多喜城分館
大多喜城本丸跡出土五輪塔	1	千葉県立中央博物館大多喜城分館
試着体験用小袖	2	千葉県立中央博物館大多喜城分館
映像「刀剣ができるまで」	1	千葉県立中央博物館大多喜城分館
試着体験用模造刀	16	千葉県立中央博物館大多喜城分館

2　企画展

休館のため開催なし。

3　テーマ展示

休館のため開催なし。

第 4　分館海の博物館

1　常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア(理想郷観察エリア)	理想郷観察エリアで撮影された植物写真等	鵜原理想郷で植物等のモニタリングを行い、最新の情報を更新した(18 回)。
	自然観察エリア(磯の観察エリア)	磯の観察エリアで撮影された生きものの写真等	磯の観察エリア(博物館前の岩礁海岸)で見られる生きものと潮汐の情報を更新した(毎日)。
	こんな研究をやっています	研究紹介ポスター	房総半島におけるハマダンゴムシの棲息する海岸　(4 月 1 日～5 月 8 日、松本光史) 海博の沖に、こんなに海鳥の大群がいたなんて！　オオミズナギドリの生態(5 月 8 日～3 月 31 日、平田和彦)
	こんなのみたよ	ベッコウタマガイ、サツマカサゴ、ヨコシマエビの写真等	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した(13 回)。
	博物館をとりまく自然	季節ユニット展示一式	季節ごとにユニット展示を交換した(4 回)。
	さまざまな海の姿・博物館をとりまく自然	ユニット展示一式	常設展示のユニット部分の交換は行わなかった。
	トピック展示(体験学習カウンター、展示ロビー等)	ハナミノカサゴ、ヘビギンポの卵、ヤマトタマムシ等	トピック展示として、観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した(15 回)。
	情報コーナー	ヒカリイシモチ液浸標本、東海道新幹線開業当時の時刻表・特急券・記念切手、0 系新幹線先頭車両の模型、列車名・行先・種別案内 「糸ひききんめ」の動画・液浸標本	なまえに「ひかり」がつく魚　東海道新幹線「超特急ひかり」誕生 60 周年(9 月 14 日～3 月 14 日、川瀬裕司) キンメダイの幼魚「糸ひききんめ」(3 月 15 日～、川瀬裕司)

2　マリンサイエンスギャラリー(分館海の博物館の研究成果に基づき、海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示)

(1) アサクサノリ 2－ノリの世界－

ア　会　　期　令和 6 年 2 月 23 日(金・祝)～5 月 6 日(月・休)〔※令和 6 年度内開催日数：31 日間〕
イ　会　　場　研修室
ウ　主　催　等　千葉県立中央博物館分館海の博物館
エ　入 場 者 数　6,685 名(令和 6 年度：4 月 1 日～5 月 6 日)
オ　担　当　者　菊地則雄
カ　概　　要　絶滅危惧種アサクサノリを中心に、生きものとしてのノリの最新情報を紹介した。
キ　印　刷　物　(ア)ポスター　400 部
　　(イ)チラシ　40,000 部
ク　展 示 資 料　(館蔵資料 193 点、借用資料(個人含)25 点、合計 218 点)

資料名	点数	所蔵
ノリ押し葉標本(アサクサノリ・他)	21	分館海の博物館
海藻樹脂包埋標本(アサクサノリ・他)	6	分館海の博物館
ハバノリの樹脂包埋標本	1	中央博物館
ノリ葉状体生体(アサクサノリ・他)	13	分館海の博物館
ノリ糸状体生体(アサクサノリ・他)	9	分館海の博物館
ナラワスサビノリ糸状体生体	1	千葉県水産総合研究センター
ノリ養殖関係実物資料(ノリ養殖網・他)	2	分館海の博物館
写真(アサクサノリ・他)	126	分館海の博物館
写真(カイガラアマノリ・他)	22	浦安市郷土博物館、千葉県水産総合研究センター、多摩川干潟ネットワーク、大森海苔のふるさと館、観音崎自然博物館、個人
編集動画(アサクサノリの産地)	1	分館海の博物館
編集動画(クロダイがノリを食べる)	1	千葉県水産総合研究センター
アサクサノリ生育地ジオラマ	1	分館海の博物館
その他(動物生体、剥製・乾海苔製品・他)	14	分館海の博物館

(2) 超深海

ア 会　　期　令和7年2月22日(土)～5月11日(日)〔※令和6年度内開催日数：32日間〕
イ 会　　場　研修室
ウ 主 催 等　千葉県立中央博物館分館海の博物館
エ 入場者数　10,597名(令和6年度：2月22日～3月31日)
オ 担 当 者　柳　研介
カ 概　　要　超深海の生物の標本を展示するとともに超深海の調査の様子を紹介した。
キ 印 刷 物　(ア)ポスター　100部
　　(イ)チラシ　　40,000部
ク 展示資料　(館蔵資料60点、借用資料131点、合計191点)

資料名	点数	所蔵
超深海生物標本	12	分館海の博物館
超深海生物標本	48	北海道大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、海洋研究開発機構、国立科学博物館、目黒寄生虫館、中央博物館
超深海の岩石・泥	2	分館海の博物館
超深海の岩石・泥	3	国立科学博物館
3mアガシ型ビームトロール	1	東京大学
超深海のゴミ	9	熊本大学
超深海生物写真	15	分館海の博物館
超深海生物写真	2	中央博物館
超深海生物写真	45	北海道大学、東京大学、京都大学、九州大学、海洋研究開発機構、国立科学博物館、目黒寄生虫館、中央博物館
深海生物写真	18	海洋研究開発機構
動画(調査の様子ほか)	5	東京大学、海洋研究開発機構
動画(調査の様子ほか)	2	分館海の博物館
写真(調査の様子ほか)	27	分館海の博物館
その他(カップ麺容器・深海パンツ)	2	分館海の博物館

3 収蔵資料展(分館海の博物館の収蔵資料を中心にして海の生きものを紹介する企画展示)

(1) 収蔵資料展　夏休みスペシャル！　勝浦・磯の生きものミニ水族館

ア 会　　期　令和6年7月13日(土)～9月1日(日)〔開催日数：44日間〕
イ 会　　場　研修室
ウ 主 催 等　千葉県立中央博物館分館海の博物館
エ 入場者数　28,187名
オ 担 当 者　菊地則雄
カ 概　　要　海の博物館前の磯で見られる生きものを水槽で飼育展示し、紹介した。
キ 印 刷 物　(ア)ポスター(館内で印刷)
　　(イ)チラシ　　40,000部
ク 展示資料　(館蔵資料125点)

資料名	点数(種数)	所蔵
魚類生体(ハコフグ、ニシキベラ、ソラスズメダイ、チョウチョウウオ等)	31	分館海の博物館
甲殻類生体(ヤイトサラサエビ、ショウジンガニ、ホンヤドカリ等)	23	分館海の博物館
貝類生体(ヒザラガイ、スガイ、バテイラ、イボニシ、ハツユキダカラ等)	16	分館海の博物館
棘皮動物生体(ムラサキウニ、ヤツデヒトデ、トラフナマコ等)	12	分館海の博物館
危険な生きもの生体(ウツボ、ハオコゼ、スベスベマンジュウガニ、ガンガゼ等)	6	分館海の博物館
その他動植物生体(イソギンチャク類、環形動物、海藻等)	15	分館海の博物館
期間中持ちこまれた生きものなどの生体(サツマカサゴ、ヨコシマエビ等)	12	分館海の博物館
標本(タコノマクラの殻、キョンの角)	2	分館海の博物館
その他(海の生きもの観察ノート等)	8	分館海の博物館

4　その他の企画展示

(1) 勝浦ダイビング協会フォトコンテスト

ア　会　　期　令和 7 年 3 月 14 日(金)～5 月 16 日(金)〔令和 6 年度開催日数：15 日間〕
イ　会　　場　ロビー
ウ　主　催　等　勝浦ダイビング協会
エ　担　当　者　奥野淳兒
オ　概　　要　一般ダイバーが勝浦の海中で撮影した写真を掲示して、来館者による人気投票を行った。
カ　展示資料　ダイバーが撮影した水中写真

Ⅳ　教育普及

第１　本館　（講師・担当者は、特に断らないかぎり、本館職員）

1　展示観覧支援

(1)　ミュージアム・生態園トーク（展示解説）
通常、研究員が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1 日 2 回（①11:00～11:30、②14:30～15:00）、各回 30 分程度の解説を行った。

ア　ミュージアムトーク　99 回　2,427 人　　中止 0 回

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
4 月 6 日（土）	春の谷津田を覗いてみると	天野　誠	展示室	7 人
4 月 7 日（日）	春の展示「理科室のタイムマシン　学校標本」展示解説	斎木健一	展示室	53 人
4 月 13 日（土）	成田山新勝寺と門前町	須田華那	展示室	11 人
4 月 14 日（日）	標本って何だろう？	丸山啓志	展示室	19 人
4 月 20 日（土）	千葉県の「県の石」について	高橋直樹	展示室	12 人
4 月 21 日（日）	春の展示「理科室のタイムマシン　学校標本」展示解説	斎木健一	展示室	28 人
4 月 27 日（土）	千葉の海の貝	照屋清之介	展示室	24 人
4 月 28 日（日）	小学校の先生と学ぼう！房総の地学展示室！	髙橋一真	展示室	11 人
4 月 29 日（月・祝）	春の谷津田を覗いてみると	天野　誠	展示室	14 人
5 月 3 日（金・祝）	収蔵庫探検　深海の生物	駒井智幸	収蔵庫	48 人
5 月 4 日（土）	標本って何だろう？	丸山啓志	展示室	39 人
5 月 5 日（日）	5 月 5 日は何の日？	玉井里奈	展示室	20 人
5 月 6 日（月・祝）	房総の信仰美術	鈴木建人	展示室	33 人
5 月 11 日（土）	「はくぶつかん」って、どんなところ？	丸山啓志	展示室、収蔵庫	30 人
5 月 12 日（日）	春の展示「理科室のタイムマシン　学校標本」展示解説	斎木健一	展示室	34 人
5 月 18 日（土）	成田山新勝寺と門前町	須田華那	展示室	26 人
5 月 19 日（日）	チバニアン期の房総のほにゅうるい	丸山啓志	展示室	19 人
5 月 25 日（土）	千葉の海の貝	照屋清之介	展示室	6 人
5 月 26 日（日）	いろいろな魚のかたち	後藤　亮	展示室	23 人
6 月 1 日（土）	小学校の先生と学ぼう！房総の生物展示室！	小田谷嘉弥	展示室	5 人
6 月 2 日（日）	バックヤードツアー（花粉）	奥田昌明	展示室、第一化学分析室	29 人
6 月 8 日（土）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	石井友菜	展示室	64 人
6 月 9 日（日）	恐竜時代のシロアリのウンチ化石	伊左治鎭司	展示室	44 人
6 月 16 日（日）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	石井友菜	展示室	68 人
6 月 22 日（土）	バックヤードツアー（昆虫）	樽宗一朗	収蔵庫	24 人
6 月 23 日（日）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	石井友菜	展示室	90 人
6 月 29 日（土）	真夏の蜃気楼	大木淳一	講堂	32 人
6 月 30 日（日）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	石井友菜	展示室	67 人
7 月 6 日（土）	七夕行事と馬	玉井里奈	展示室	43 人
7 月 7 日（日）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	須田華那	展示室	71 人
7 月 13 日（土）	美しきナデシコの秘密	浅野紗彩	講堂	13 人
7 月 14 日（日）	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」展示解説	小出麻友美	展示室	99 人
7 月 15 日（月・祝）	房総半島周辺の海底地形	高橋直樹	展示室	40 人
7 月 20 日（土）	恐竜時代のシロアリのウンチ化石	伊左治鎭司	展示室	6 人
7 月 21 日（日）	平将門伝説～史実からの系譜～	榎　美香	展示室	16 人
7 月 27 日（土）	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人	展示室	19 人
7 月 28 日（日）	夏の清澄山を観察しよう	天野　誠	展示室	13 人
8 月 3 日（土）	「ナウマンゾウ」命名 100 周年！	丸山啓志	展示室	29 人
8 月 4 日（日）	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人、玉井里奈	展示室	19 人

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
8月10日(土)	きのこと森のつながり	栃原行人	展示室	26人
8月11日(日)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人	展示室	53人
8月12日(月･祝)	小学校の先生と学ぼう！海洋展示室！	髙橋一真	展示室	12人
8月17日(土)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人	展示室	11人
8月18日(日)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人	展示室	22人
8月24日(土)	房総の鍾乳洞について	加藤久佳	展示室	16人
8月31日(土)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	玉井里奈	展示室	7人
9月 1日(日)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	鈴木建人	展示室	40人
9月 7日(土)	鎌倉時代の房総	園部華与	展示室	23人
9月 8日(日)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	玉井里奈	展示室	31人
9月14日(土)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	玉井里奈	展示室	16人
9月15日(日)	古代房総のアワビ	小川宏和	展示室	17人
9月16日(月･祝)	平将門伝説～史実からの系譜～	榎　美香	展示室	20人
9月21日(土)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」展示解説	玉井里奈	展示室	19人
9月23日(月･祝)	博物館で仏像めぐり	小出麻友美	展示室	22人
9月28日(土)	小学校の先生と学ぼう！生物の分類展示室！	髙橋一真	展示室	14人
9月29日(日)	土の中の生き物	萩野康則	展示室	12人
10月12日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」展示解説	御巫由紀	展示室	17人
10月13日(日)	土の中の生き物	萩野康則	展示室	29人
10月14日(月･祝)	貝類標本の整理	照屋清之介	会議室	18人
10月19日(土)	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」展示解説	米谷　博	展示室	15人
10月20日(日)	小学校の先生と学ぼう！自然と人間のかかわり展示室！	髙橋一真	展示室	2人
10月26日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」展示解説	御巫由紀	展示室	14人
10月27日(日)	収蔵庫化石探検	加藤久佳	収蔵庫	25人
11月 2日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」展示解説	御巫由紀	展示室	7人
11月 4日(月･祝)	民家と暮らし	玉井里奈	展示室	7人
11月 9日(土)	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」展示解説	米谷　博	展示室	18人
11月10日(日)	歴史と伝承の間	小林裕美	展示室	20人
11月16日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」展示解説	山本伸子	展示室	28人
11月17日(日)	バックヤードツアー(花粉)	奥田昌明	展示室、第1化学分析室	13人
11月23日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」展示解説	御巫由紀	展示室	39人
11月24日(日)	貝類標本の整理	照屋清之介	会議室	6人
11月30日(土)	収蔵庫探検	駒井智幸	収蔵庫	6人
12月 1日(日)	房総の古墳	石井友菜	展示室	23人
12月 7日(土)	真冬の蜃気楼	大木淳一	講堂	23人
12月 8日(日)	貝類標本の整理	照屋清之介	会議室	2人
12月14日(土)	正月と小正月	玉井里奈	展示室	4人
12月15日(日)	地層と貝化石のお話	千葉友樹	展示室	14人
12月22日(日)	食べられるきのこと毒きのこ	栃原行人	展示室	20人
1月 5日(日)	富士山の噴火と房総	高橋直樹	展示室	16人
1月11日(土)	トピックス展「十二支にちなんで－巳年－」展示解説	照屋清之介	展示室	12人
1月13日(月･祝)	トピックス展「十二支にちなんで－巳年－」展示解説	丸山啓志	展示室	42人
1月18日(土)	ノジュールのはなし	加藤久佳	展示室	12人
1月19日(日)	バックヤードツアー(液浸収蔵庫)	宮　正樹	収蔵庫	20人
1月25日(土)	バックヤードツアー(液浸収蔵庫)	宮　正樹	収蔵庫	24人
1月26日(日)	古代の潜り漁と房総のアワビ	小川宏和	展示室	10人
2月 1日(土)	いろいろな魚のかたち	後藤　亮	展示室	24人
2月11日(火･祝)	地層と貝化石のお話	千葉友樹	展示室	7人
2月15日(土)	谷津田のむら	玉井里奈	展示室	14人

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
2月16日(日)	バックヤードツアー(魚)：液浸収蔵庫	小林大純	展示室	28人
2月22日(土)	トピックス展「神社の屋根より絵馬出ずる～富津市三柱神社の修復工事より～」展示解説	小川宏和	展示室	34人
2月23日(日)	春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの35年～」展示解説	西内李佳	展示室	30人
2月24日(月・祝)	地震と海岸の隆起	山中　蛍	展示室	20人
3月 1日(土)	トピックス展〈神社の屋根より絵馬出ずる～富津市三柱神社の修復工事より～」展示解説	鈴木建人	展示室	19人
3月 2日(日)	春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの35年～」展示解説	樽　宗一朗	展示室	36人
3月 9日(日)	トピックス展「神社の屋根より絵馬出ずる～富津市三柱神社の修復工事より～」展示解説	榎　美香	展示室	57人
3月15日(土)	「中世の古文書」ってどんなもの？	園部華与	展示室	8人
3月20日(木)	バックヤードツアー(魚)：液浸収蔵庫	小林大純	収蔵庫	18人
3月22日(土)	下総台地の地形	山中　蛍	展示室	13人
3月30日(日)	化石になったクジラのおはなし	丸山啓志	展示室	24人

イ　生態園トーク　8回　61人　　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月15日(土)	身近な鳥たちの繁殖生態学入門	小田谷嘉弥	生態園	22人
12月21日(土)	生態園トピックス展「生態園の地衣類」展示解説	坂田歩美	生態園	4人
2月 8日(土)	生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」展示解説	西内李佳	生態園	9人
2月 9日(日)	生態園湿地再生のバックヤード見学ツアー	林　紀男	生態園	7人
3月 8日(土)	生態園岩石観察地の解説	高橋直樹	生態園	5人
3月16日(日)	生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」展示解説	尾崎煙雄	生態園	4人
3月23日(日)	生態園トピックス展「生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」展示解説	尾崎煙雄	生態園	7人
3月29日(土)	生態園湿地再生のバックヤード見学ツアー	林　紀男	生態園	3人

(2)体験プログラム

生態園では自然体験プログラム「森の調査隊」(学校団体向け、個人向け)を、本館では体験プログラム「中央博調査隊」(個人向け)を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和5年度まで「中央博調査隊」は中止していたが、個人向けのプログラムを再開した。

ア　生態園　自然体験プログラム「森の調査隊」　13回　320人　　中止1回

月日	種別	担当者・講師	場所	参加人数
4月21日(日)	個人	須田華那	生態園	37人
5月19日(日)	個人	林田嗣朗	生態園	12人
6月16日(日)	個人	髙橋一真	生態園	28人
7月21日(日)	個人	栃原行人	生態園	11人
8月18日(日)	個人	栃原行人	生態園	18人
9月15日(日)	個人	髙橋一真	生態園	33人
10月20日(日)	個人	栗田隆気	生態園	21人
11月15日(金)	団体	林田嗣朗、髙橋一真、栃原行人	生態園	86人
11月17日(日)	個人	小田谷嘉弥	生態園	10人
12月15日(日)	個人	須田華那	生態園	14人
1月19日(日)	個人	幅　大	生態園	23人
2月16日(日)	個人	尾崎煙雄	生態園	27人
3月16日(日)	個人	幅　大	生態園	中止

イ　本館　体験プログラム「中央博調査隊」　2回　43人　　中止0回

月日	種別	担当者・講師	場所	参加人数
2月　9日(日)	個人	須田華那、体験交流員(柳原亜矢子、阿部真理子、須藤大雅)	本館	26人
3月　9日(日)	個人	須田華那、体験交流員(阿部真理子、須藤大雅)	本館	17人

(2)　常設展解説「ぐるっと見どころツアー」　11回　202名

体験交流員が各常設展示室の見どころをわかりやすく解説するツアー。令和6年度は、原則として予約制で、団体向けに実施した。柳原亜矢子、阿部真理子、須藤大雅の3名の体験交流員が事業を担当した。

月	月別回数	月別人数
4月	1	13
5月		
6月	4	89
7月	3	53
8月		
9月	1	20
10月	1	7
11月		
12月		
1月		
2月		
3月	1	20
計	11	202

(4)体験交流事業

令和6年度は、柳原亜矢子、阿部真理子、須藤大雅の3名の体験交流員が事業を担当した。

タイトル	年間実施回数	参加者数
はっけん！すまいるキッズ	27回	299人
おきにいり新聞	通年	187人
博物館ぬりえ	通年	多数
おえかきっこ	通年	多数
チャレンジシート	通年	多数
ワークシート「縄文お宝発見ツアー」(文化庁合同特別展示「発掘された日本列島」期間)	6月8日～7月15日	433人
ワークシート「ネロルからの挑戦状」(特別展「万祝博覧会―海をまとう―」期間)	7月27日～9月29日	1,860人
ワークシート「縄文お宝発見ツアー」(トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～ ―公益財団法人千葉県教育振興財団設立50周年記念展part1―」)	12月21日～2月9日	170人

2　講座・観察会等の開催

(1)講座・観察会

ア　地学　　17回　366人　　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月12日(日)	銚子地域の地質	高橋直樹	銚子市	22人
5月26日(日)	東京湾で貝殻と貝の化石をさがそう	伊左治鎭司	富津市	31人
7月21日(日)	化石の模型をつくろう(午前)	加藤久佳	研修室	21人
7月21日(日)	化石の模型をつくろう(午後)	加藤久佳	研修室	19人
8月 3日(土)	微化石で地層の年代を決めよう(1)調査編	菊川照英	鴨川市	13人
8月 4日(日)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹	鴨川市	26人
8月10日(土)	セキツイ動物の比べ方(午前)	丸山啓志	研修室	26人
8月10日(土)	セキツイ動物の比べ方(午後)	丸山啓志	研修室	21人
8月24日(土)	微化石で地層の年代を決めよう(2)分析編	菊川照英	研修室	15人
9月22日(日･祝)	町の中で化石をさがそう	加藤久佳、丸山啓志	千葉市	17人
10月20日(日)	チバニアン期の古生物(午前)	丸山啓志	研修室	26人
10月20日(日)	チバニアン期の古生物(午後)	丸山啓志	研修室	21人
10月27日(日)	チバニアン地磁気逆転層の観察会	奥田昌明	市原市	21人
11月10日(日)	県外岩石観察会　栃木真岡・茂木の石材	高橋直樹	栃木県真岡市、茂木町	20人
1月26日(日)	数千年前の地層と化石	千葉友樹	館山市	9人
2月 9日(日)	花粉を顕微鏡で見てみよう	奥田昌明	研修室	16人
3月 1日(土)	海岸で化石をさがそう	加藤久佳	千葉市	42人

イ　動物　　9回　155人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月30日(日)	にぼしで学ぶ魚のひみつ	後藤　亮	研修室	25人
7月 6日(土)	昆虫標本のつくり方	樽　宗一朗	研修室	12人
7月14日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る(1)オリエンテーション	宮　正樹	研修室	23人
7月20日(土)	夏の山の昆虫	尾崎煙雄、樽　宗一朗	鴨川市	27人
9月15日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る(2)調査結果のまとめ	宮　正樹	研修室	18人
11月17日(日)	土の中の生き物の観察	萩野康則	研修室	1人
12月14日(土)	二枚貝の解剖観察	照屋清之介	研修室	5人
1月18日(土)	海岸で貝をさがそう	照屋清之介	館山市	23人
2月15日(土)	深海生物を見てみよう	駒井智幸	研修室	21人

ウ　植物・菌類　12回　140人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月18日(土)	生態園のモデル植生現地ツアー (海岸植生編)	天野　誠、斎木健一	銚子市	5人
5月26日(日)	地衣類の分類　連続講座1回目	原田　浩	研修室	9人
6月23日(日)	地衣類の分類　連続講座2回目	原田　浩	研修室	12人
9月 8日(日)	地衣類の分類　連続講座3回目	原田　浩	研修室	8人
11月 9日(土)	バラの歴史	御巫由紀	講堂	52人
11月10日(日)	どんぐり博士入門	西内李佳	生態園	9人
12月15日(日)	地衣類の分類　連続講座4回目	原田　浩	研修室	11人
12月22日(日)	郊外の地衣類	坂田歩美	君津市	3人
1月 5日(日)	地衣類の顕微鏡観察	坂田歩美	研修室	10人
1月26日(日)	地衣類の分類　連続講座5回目	原田　浩	研修室	7人
2月22日(土)	タデの分類	天野　誠	研修室	6人
3月 9日(日)	地衣類の分類　連続講座6回目	原田　浩	研修室	8人

エ　歴史・民俗　5回　57人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月24日(土)	観察しよう武器と武具	高橋　覚、村田憲一	収蔵庫	11人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10 月 19 日(土)	はじめてのくずし字(入門編)	須田華那	研修室	13 人
10 月 27 日(日)	はじめてのくずし字(応用編)	須田華那	研修室	10 人
11 月 16 日(土)	日本刀にさわってみよう	石井友菜、村田憲一	研修室	11 人
1 月 18 日(土)	日本刀にさわってみよう	石井友菜	研修室	12 人

オ　自然と人間　7 回　82 人　中止 0 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7 月 25 日(木)	教員のための博物館の日　環境教育研修会	髙橋一真	研修室	3 人
8 月 9 日(金)	教員のための博物館の日　博物館利用研修会	髙橋一真	講堂	7 人
9 月 7 日(土)	砂浜の生きものと環境	大木淳一、千葉友樹、小田谷嘉弥	九十九里町	15 人
10 月 13 日(日)	両総用水をめぐる	高橋直樹	横芝光町	12 人
10 月 20 日(日)	花見川を探る	小田島高之	千葉市、八千代市	7 人
11 月 17 日(日)	花見川を探る	小田島高之	千葉市、八千代市	11 人
3 月 2 日(日)	下総台地の地形･地質環境 －博物館周辺を例に－	高橋直樹	千葉市	27 人

カ　自然いろいろ　12 回 179 人　中止 2 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4 月 28 日(日)	春の里の生きもの	斎木健一、樽　宗一朗、小川宏和、浅野紗彩	君津市	26 人
5 月 4 日(土･祝)	プランクトンの小宇宙をのぞく	林　紀男	研修室	28 人
5 月 19 日(日)	湿地再生の現場を裏方からのぞく	林　紀男	生態園	1 人
6 月 2 日(日)	生態園のモデル植生現地ツアー(照葉樹林編)	尾崎煙雄、西内李佳、大津千晶	鴨川市	3 人
6 月 23 日(日)	磯の生きものを探そう	照屋清之介、駒井智幸、小林大純	銚子市	荒天中止
7 月 28 日(日)	川の生きもの	斎木健一、樽　宗一朗、小川宏和	君津市	37 人
8 月 25 日(日)	川の生きもの	斎木健一、後藤　亮、栗田隆起、千葉友樹	君津市	31 人
9 月 14 日(土)	水草をさわって比べよう	林　紀男	生態園	5 人
10 月 20 日(日)	秋の里の生きもの	斎木健一、樽　宗一朗	君津市	23 人
10 月 26 日(土)	ススキ草地で草を刈って秋の花と虫をさがそう	尾崎煙雄、樽　宗一朗	生態園	9 人
1 月 25 日(土)	九十九里浜で激レア蜃気楼と海鳥をみよう	大木淳一、平田和彦、小田谷嘉弥	九十九里町	16 人
3 月 16 日(日)	早春の里の生きもの	斎木健一、千葉友樹	君津市	荒天中止

キ　公開講演会・セミナー　　2 回 223 人　中止 0 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2 月 8 日(土)	千葉学講座 講演１「埋立地に新たな文化をつくる－「五十嵐靖晃　海風」の試み－」 講演２「県立高校の理科室に眠る昔の自然」	樽　宗一朗 千葉県立美術館(松田直子)、斎木健一	講堂	115 人
2 月 22 日(土)	千葉学講座 講演１　「千葉県の産業の歴史」 講演２　「「万祝」の昔と今 ―絵画・写真と史料から―」	樽　宗一朗 千葉県立現代産業科学館(井上翔太郎)、鈴木建人	講堂	108 人

ク　中央博セミナー　　9 回　324 人　中止 0 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4 月 18 日(木)	「研究者としてのキャリア形成と研究費の獲得」、「調書作成のコツ」	宮　正樹、島立理子	講堂	32 人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月21日(火)	「ジシギ類の謎を解き明かす」、「異文化を「読む」―日本古代の鵜飼を例として―」	小田谷嘉弥、小川宏和	講堂	31人
6月18日(火)	「ミクロなきのこの多様性に迫る」、「形から探るプレート衝突帯の活断層と地殻変動」	栃原行人、山中　蛍	講堂	32人
7月 2日(火)	「旅する魚たち:両側回遊性魚類の生物学的研究」、「法にみる都市鎌倉の様相」	小林大純、園部華与	講堂	36人
11月27日(火)	描かれた里山生態園～明治中期の房総の四季耕作図～	榎　美香	講堂	28人
2月 9日(日)	謎だらけの明治の美しい金魚たち～海を渡った幻の博物画家伊藤熊太郎～	福地毅彦	講堂	45人
3月11日(火)	新技術の開発で読み解いた魚類3万5千種の進化と生態：研究の軌跡40年を振り返る	宮　正樹	講堂	60人
3月21日(金)	中央博で過ごした36年＋α	高橋直樹	講堂	35人
3月25日(火)	利根川下流域の石造物を読む	米谷　博	講堂	25人

(2)春の展示「理科室のタイムマシン　学校標本」　1回　56人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月6日(月･休)	理科室標本の謎にせまる	斎木健一	講堂	56人

(3) 地域展「大多喜台古墳群の鏡がうつし出す時代」関連行事　8回　265人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月29日(土)	せっけんで古墳時代の鏡をつくろう(午前)	石井友菜	研修室	11人
6月29日(土)	せっけんで古墳時代の鏡をつくろう(午後)	石井友菜	研修室	11人
7月 6日(土)	講演会「大多喜台古墳群鏡が語る歴史(対面)」	辻田淳一郎、山田俊輔	講堂	105人
7月 6日(土)	講演会「大多喜台古墳群鏡が語る歴史(オンライン)」	辻田淳一郎、山田俊輔	オンライン	93人
7月13日(土)	せっけんで古墳時代の鏡をつくろう(午前)	石井友菜	研修室	10人
7月13日(土)	せっけんで古墳時代の鏡をつくろう(午後)	石井友菜	研修室	14人
11月30日(土)	房総の古墳	石井友菜	研修室、県立青葉の森公園	15人
1月25日(土)	めざせ鏡職人　ロウを使った鏡の製作体験	石井友菜	研修室	6人

(4) 特別展「万祝博覧会－海をまとう－」関連行事　16回　406人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月28日(日)	大漁祝の着物　万祝を着てみよう	玉井里奈	1階ホール	55人
7月28日(日)	千葉の伝統的工芸品「萬祝染」を体験しよう	鴨川萬祝染鈴染(鈴木幸祐、鈴木理規、鈴木佳代子)	研修室	25人
8月 3日(土)	万祝柄の暑中見舞いはがきをつくろう	鈴木建人	研修室	23人
8月 4日(日)	藍の生葉で染めてみよう(午前)	渡瀬綾乃、山本伸子	研修室	23人
8月 4日(日)	藍の生葉で染めてみよう(午後)	渡瀬綾乃、山本伸子	研修室	23人
8月10日(土)	白浜海洋美術館の万祝コレクションを鑑賞しよう	鈴木建人	南房総市	3人
8月11日(日･祝)	千葉の伝統的工芸品「萬祝染」を体験しよう	鴨川萬祝染鈴染(鈴木幸祐、鈴木理規、鈴木佳代子)	研修室	23人
8月12日(月･休)	木綿と真綿－糸のひみつを学んでみよう－	玉井里奈	研修室	30人
8月17日(土)	万祝シンポジウム「色々な万祝、これからの万祝」(対面)	小島孝夫、植田　憲	講堂	22人
8月17日(土)	万祝シンポジウム「色々な万祝、これからの万祝」(オンライン)	小島孝夫、植田　憲	オンライン	18人
8月18日(日)	博物館フィギュア×万祝博覧会	鈴木建人	1階ホール	65人
8月25日(日)	藍の生葉で染めてみよう(午前)	渡瀬綾乃	研修室	17人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月25日(日)	藍の生葉で染めてみよう(午後)	渡瀬綾乃	研修室	20人
9月 7日(土)	万祝レプリカ型紙でプリントたいけん	千葉大学デザイン文化計画研究室	研修室	26人
9月15日(日)	漁やおさかなの絵本読み聞かせ	県立中央図書館(佐々木はるみ、井上寛子)	体験学習室(たいけんのもり)	17人
12月 7日(土)	木綿と真綿ー布の原料のことー	玉井里奈	研修室	16人

(5) 春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの35年～」関連行事　5回　115人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2月11日(火・祝)	水位低下させた舟田池の水辺を歩く	林　紀男	生態園	15人
3月 1日(土)	生態園で野鳥観察	小田谷嘉弥	生態園	10人
3月 9日(日)	自然誌シンポジウム「都市の中につくられた自然「生態園」のこれまでとこれから」	西内李佳、大野啓一、林　紀男、大庭照代、下田彰子、吉田正人	講堂	57人
3月20日(木・祝)	生態園で春を見つけよう	斎木健一	生態園	12人
3月30日(日)	生態園で地衣類観察	坂田歩美	生態園	21人

(6) 体験イベント・特別企画

ア　体験イベント　9回　506人　中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月28日(日)	五月飾りをつくろう	玉井里奈、山本伸子	1階ホール	19人
5月 3日(金・祝)	本物の化石にさわってみよう	伊左治鎭司	1階ホール	139人
5月 4日(土・祝)	石を割ってみよう	高橋直樹、菊川照英	1階入口(外)	97人
5月 5日(日・祝)	キーホルダーをつくろう	体験交流員	1階ホール	45人
8月12日(月・休)	収蔵庫からいろんな化石を見てみよう(午前)	丸山啓志	オンライン	11人
8月12日(月・休)	収蔵庫からいろんな化石を見てみよう(午後)	丸山啓志	オンライン	4人
11月 3日(日・祝)	生態園でツリーラリー～展示開催記念Ver.～	西内李佳	生態園	130人
12月 8日(日)	まつぼっくりのオーナメント	体験交流員	1階ホール	45人
3月 1日(土)	ひな飾りをつくろう	玉井里奈、山本伸子、山中　蛍	1階ホール	16人

イ　夏休み特別企画　107人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月15日(月・祝)～8月25日(日)	夏休み自由研究相談会	研究課、教育普及課(担当)	1Fホール、研修室	107人

ウ　文化の日特別企画　1,900人

月日	タイトル	受付担当者・参加団体	場所	参加者数
11月3日(日・祝)	自然誌フェスタ −みんなで楽しむ 千葉の自然と歴史−	受付担当：調査研究チーム 参加団体：千葉県菌類談話会、中央博サークル歴史サークル、千葉県生物学会、房総貝類談話会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、千葉県地学教育研究会、市宿おばあちゃんの畑、千葉県昆虫談話会、千葉県自然保護課千葉県生物多様性センター(全9団体)	1Fホール、ピロティ	1,900人

エ　PRイベント　879人

月日	タイトル	講師・担当者等	場所	参加者数
6月 8日(土)、9日（日）	県産品フェア　甲冑試着体験	駒井智幸、後藤　亮、山本伸子、原田　浩、樽　宗一朗	イオンモール津田沼	76人
6月16日(日)	千葉県誕生150周年記念行事フィナーレイベント	駒井智幸、山本伸子、樽　宗一朗、照屋清之介	勝浦市キュステ	60人
10月20日(日)	エコメッセちば2024	駒井智幸、奥田昌明、後藤　亮、山本伸子、照屋清之介	幕張メッセ	160人

月日	タイトル	講師・担当者等	場所	参加者数
10 月 26 日（土）、27 日（日）	全国発酵食品サミット in かとり	斎木健一、米谷　博、渡瀬綾乃	みんなの賑わい交流拠点コンパス	505 人
11 月 10 日(日)	アクアラインマラソン	駒井智幸､原田　浩､後藤　亮、山本伸子	木更津市体育館	78 人

(6)きっずスタンプラリー

令和 6 年度から、以下の講座・観察会等を対象に子ども向けのスタンプラリーを実施した。　11 回　143 人

月日	対象行事	担当者	場所	参加者数
4 月 28 日(日)	五月飾りをつくろう	須田華那	1F ホール	11 人
5 月 4 日(土・祝)	プランクトンの小宇宙をのぞく	須田華那	研修室	13 人
5 月 5 日(日・祝)	キーホルダーをつくろう	須田華那	1F ホール	24 人
7 月 28 日(日)	大漁祝の着物　万祝を着てみよう	須田華那	1F ホール	23 人
8 月 3 日(土)	万祝柄の暑中見舞いはがきをつくろう	栃原行人	研修室	13 人
8 月 24 日(土)	大漁祝の着物　万祝を着てみよう	尾崎煙雄、小田谷嘉弥	1F ホール	13 人
9 月 15 日(日)	漁やおさかなの絵本読み聞かせ	栃原行人	体験学習室(たいけんのもり)	3 人
9 月 16 日(月・祝)	大漁祝の着物　万祝を着てみよう	栃原行人	1F ホール	14 人
9 月 22 日(日)	大漁祝の着物　万祝を着てみよう	須田華那	1F ホール	24 人
12 月 8 日(日)	まつぼっくりのオーナメント	髙橋一真	1F ホール	5 人
3 月 1 日(土)	ひな飾りをつくろう	髙橋一真	1F ホール	0 人

3　アウトリーチ支援

(1)学校対象(館内で実施した博物館学習を含む)

ア　小学校　6 回　434 人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
6月 3日(月)	スクールミュージアム水生生物観察会「プールに生息する水生生物①」(君津市教育委員会生涯学習文化課)	樽　宗一朗	君津市立周南小学校	60 人
6月 6日(木)	スクールミュージアム水生生物観察会「プールに生息する水生生物②」君津市教育委員会生涯学習文化課)	樽　宗一朗	君津市立八重原小学校	40 人
7月 2日(火)	総合的な学習の時間「虫の生態について」(千葉市立若松小学校)	樽　宗一朗	千葉市立若松小学校	106 人
7月 2日(火)	第6学年理科(生き物どうしのかかわり)「利根川の食物連鎖について」(香取市立瑞穂小学校)	後藤　亮	香取市立瑞穂小学校	19 人
7月 5日(金)	2年生家庭教育学級「九十九里町の生き物と蜃気楼」(九十九里町立片貝小学校)	大木淳一	九十九里町立片貝小学校	35 人
10月16日(水)	海洋講座「10/28自然教室(鋸南町)の事前学習」(足立区立千寿小学校)	奥野淳兒	足立区立千寿小学校(東京都足立区)	174 人

イ　特別支援学校　4 回　77 人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
5月28日(火)	君津市教育支援センターきみつメイト校外学習「サツマイモの苗植えほか自然散策アドバイス」(君津市教育支援センター)	斎木健一	三舟の里(君津市小香)	3 人
6月13日(木)	博物館学習「地球の歴史と大昔の生き物」(県立千葉盲学校小学部)	丸山啓志、髙橋一真	研修室	12 人
12月18日(水)	博物館学習「博物館の機能とは」(県立千葉盲学校中学部・高等部)	丸山啓志、照屋清之介、小林純大、髙橋一真	研修室、収蔵庫	32 人
1 月 31 日(水)	博物館学習「千葉県立中央博物館出前授業」(県立千葉盲学校小学部)	丸山啓志、照屋清之介、髙橋一真	千葉県立千葉盲学校	30 人

ウ　高等学校　4回 253人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月15日(月)	ＳＳＨ野外実習基礎講座 生物分野「房総丘陵の植生の特徴や歴史　～ヒメコマツの現状や保全など」(千葉市立千葉高等学校)	尾崎煙雄、西内李佳	清和県民の森周辺	13人
9月19日(木)	令和6年度 第1 回STEAM 教育特別授業 郷土の自然を学ぶ「利根川流域の魚類相の特徴について」(県立佐原高校①)	後藤　亮	千葉県立佐原高等学校	40人
9月19日(木)	令和6年度 第1 回STEAM 教育特別授業「民俗学的側面から見た香取地域の歴史的・文化的発展」(県立佐原高校②)	渡瀬綾乃	千葉県立佐原高等学校	40人
12月14日(土)	Chiba Cross School Science Fair 2024(小中高校生の生物課題研究発表の審査アドバイス)(千葉市教育委員会)	西内李佳	千葉市立千葉高等学校	160人

エ　大学　2回　33人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月19日(金)	学芸員コース実務就職講座「学芸員になるためには」(千葉経済大学)	榎　美香	千葉経済大学　1 号館304教室	13人
3月18日(火)	令和6年度公開臨海・臨湖センター実習「海産貝類の系統分類と研究方法」(お茶の水女子大学　湾岸生物教育研究所)	照屋清之介	お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所(館山市)	20人

(2)団体・機関等への支援

ア　講座等講師(館内) 4回　100人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
7月25日(木)	令和6年度理科教育センター 児童植物観察会「植物の見分け方 図鑑の使い方」(千葉市役所)	山本伸子、西内李佳	生態園～青葉の森公園	50人
7月30日(火)	小・中学校自然観察体験研修「植物観察・園内の野草調べ体験」(総合教育センター)	斎木健一、天野　誠	研修室～青葉の森公園	24人
11月 2日(土)	令和6 年度きのこアドバイザー研修「ハラタケ目の分類実習」(日本特用林産振興会)	栃原行人	中央博物館研修室	12人
12月24日(火)	高等学校教育研究会理科部会生物分科会野外植物研究班研修会「植物同定の基礎、図鑑の使い方」(県立大原高等学校)	斎木健一	研修室～生態園	14人

イ　講座等講師(館外) 49回　1,450人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
5月25日(土)	「オールドローズからモダンローズへ　～日本の野ばらが果たした役割」(神代植物公園)	御巫由紀	神代植物公園(東京都調布市)	33人
5月25日(土)	チバニアンガイド養成講座「チバニアンと房総の地層」(田淵チバニアンズ)	高橋直樹	市原市 加茂公民館	29人
6月20日(木)	地域の伝統文化について(おはまおり)(生涯大学校京葉学園)	小林裕美	千葉県生涯大学校 京葉学園	57人
6月27日(木)	2025 ワークショップ『モグリウム(沈水植物の栽培槽)』開催のための勉強会「モグリウム水槽の作り方・管理方法」(手賀沼流域フォーラム実行委員会)	林　紀男	我孫子市 生涯学習センター　アビスタ工芸工作室	9人
7月21日(日)	銚子市郷土史談会例会「大利根博物館の歴史」(銚子市郷土史談会)	米谷　博	銚子市民センター	13人
7月26日(金)	夏休み子ども科学講座「深海の生き物のふしぎ」(横芝光町立図書館)	駒井智幸	横芝光町立図書館	34人
7月27日(土)	チバニアンガイド養成講座「地磁気逆転とその影響」(田淵チバニアンズ)	奥田昌明	南総公民館(市原市牛久)	32人
7月27日(土)	第 304 回くらしの植物苑観察会「くらしの植物苑の地衣類」(国立歴史民俗博物館)	坂田歩美	くらしの植物苑 東屋(国立歴史民俗博物館)	20人
7月28日(日)	親子で夏の自由研究ツアー「蜃気楼を観察しよう」(銚子ジオパーク推進協議会)	大木淳一	銚子市ジオパーク芸術センター、飯岡みなと公園	15人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
8月 4 日(日)	親子科学教室「まるちゃん先生の化石講座～化石のレプリカ作り～」(幕張西公民館)	丸山啓志	千葉市幕張西公民館	17 人
9月 5 日(木)	地域の伝統文化について(鴨川萬祝染)(生涯大学校京葉学園)	渡瀬綾乃	千葉県生涯大学校 京葉学園	52 人
9月 12 日(木)	第 74 次夷隅教育研究集会 教科別分科会「ハマダンゴムシは学校教材になるか」(夷隅教育研究会)	松本光史	夷隅教育会館 別館 1 階(いすみ市大原)	7 人
9月 21 日(土)	令和 6 年度資料館講座「オビシャ行事とは何か～400 年続くムラの年頭祭礼の意味」(印旛歴史資料館)	榎　美香	印西市立印旛歴史民俗資料館	11 人
9月 28 日(土)	第 306 回くらしの植物苑観察会「くらしの植物苑の菌類と植物」(国立歴史民俗博物館)	栃原行人	くらしの植物苑 東屋 (国立歴史民俗博物館)	27 人
9月 29 日(日)	鋸山ガイド実地研修「鋸山はじめ房総半島の地質学的な成り立ちについて」(鋸山美術館)	高橋直樹	金谷ステーション～鋸山周辺(富津市)	6 人
10月 20 日(日)	令和 6 年度子どもゆめ基金助成活動 親子で遊べる自然科学体験 5 教室「下総台地の木下貝層を見に行こう」(リカちゃんとラボ)	加藤久佳	東金文化会館、印西市木下万葉公園ほか	32 人
10月 21 日(月)	東葛飾学園企画講座「地球史新時代～チバニアンとは何かについて学ぶ」(生涯大学校東葛飾学園)	奥田昌明	千葉県生涯大学校 東葛飾学園	36 人
10月 22 日(火)	柏シルバー大学院研究課程 2 年(39 期)2 学期講義「最近の縄文遺跡の調査研究」(柏シルバー大学院)	石井友菜	アミュゼ柏(柏市柏)	40 人
10月 23 日(水)	令和 6 年度「森とみどりに親しむ活動支援事業」(千葉県緑化推進委員会)実施のための研修会 in ときがね湖(ときがねウォッチング)	斎木健一、 天野　誠	東金市ときがね湖(東金ダム)～東金中央コミュニティセンター	9 人
10月 27 日(日)	令和 6 年度 千葉県立西部図書館 サイエンス・カフェ 「二口善雄 植物画の魅力」 (県立西部図書館 図書館連携課)	御巫由紀	県立西部図書館	30 人
11月 9 日(土)	プランクトンたちの小宇宙をのぞいてみよう！(水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム)	林　紀男	水元かわせみの里(東京都葛飾区)	18 人
11月 10 日(日)	海浜幕張公園(埋め立て地)での化石採取(東星学園小学校(東京私立初等学校協会理科教育研究部))	加藤久佳	海浜幕張公園幕張の浜	8 人
11月 16 日(土)	手賀沼流域フォーラム全体企画「これもあれも外来種だらけの水辺」(手賀沼流域フォーラム)	林　紀男	我孫子市生涯学習センター アビスタ ホール	45 人
11月 21 日(木)	勉強会 「印旛沼周辺の水草の再生・保全方法」 (印旛沼広域環境研究会)	林　紀男	佐倉市立小竹小学校	14 人
12月 4 日(水)	千葉県生涯大学校京葉学園　地域活動専攻科講座 「チバニアンはどうすごいのか」(生涯大学校京葉学園)	奥田昌明	千葉県生涯大学校 京葉学園	9 人
12月 14 日(土)	幻のカエルと石ころの魅力 (幸手市立さかえ小学校 絵かき教室)	大木淳一	幸手団地集会所 (埼玉県幸手市)	14 人
12月 15 日(日)	山武地方社会教育委員連絡協議会研修視察「九十九里で見られる珍しい蜃気楼」(山武地方社会教育委員連絡協議会／九十九里町社会教育係)	大木淳一	つくも学遊館 (山武郡九十九里町)	30 人
12月 21 日(土)	花のサロン講演会「ヤドリギの話」(日本植物友の会)	尾崎煙雄	ルーテル市ヶ谷 (東京都新宿区)	27 人
1月 9 日(木)	古文書に親しむ会「村で火災が発生した時の対応など」(銚子市公正図書館)	米谷　博	銚子市中央地区 コミュニティセンター	10 人
1月 15 日(水)	浦安市教育研究会理科部会部会研修「理科教育からみた天然記念物やフィールドの活用方法(昆虫の同定ほか)」(浦安市教育研究会)	樽　宗一朗	浦安市立入船小学校	19 人
1月 22 日(水)	子供の読書に関する講座(児童図書館専門研修Ⅱ)「用途別に考えた児童向け図鑑の選び方」(都立多摩図書館)	斎木健一	都立多摩図書館	48 人
1月 23 日(木)	地域の文化歴史を知る「チバニアンについて知ろう」(生涯大学校京葉学園)	奥田昌明	千葉県生涯大学校 外房学園	62 人
1月 23 日(木)	滋賀県博物館協議会講演会「災害時の博物館資料救済ネットワーク」	御巫由紀	彦根城博物館講堂	23 人
1月 25 日(土)	第 310 回くらしの植物苑観察会「くらしの中に息づく植物～野菜の歴史」(国立歴史民俗博物館)	天野　誠	くらしの植物苑 東屋 (国立歴史民俗博物館)	38 人
1月 25 日(土)	PIST6 恐竜アドベンチャー in 千葉公園①「微化石で地層の年代を調べよう」(株式会社 JPF)	菊川照英、 山本伸子	TIPSTAR DOME CHIBA(千葉市中央区弁天)	30 人
1月 26 日(日)	PIST6 恐竜アドベンチャー in 千葉公園②「ティラノサウルスのペーパークラフトをつくろう」(株式会社 JPF)	伊左治鎭司、 丸山啓志	TIPSTAR DOME CHIBA(千葉市中央区弁天)	30 人
1月 28 日(火)	柏シルバー大学院研究課程 2 年 39 期　3 学期講義「チバニアン期の千葉県」(柏シルバー大学院)	奥田昌明	アミュゼ柏(柏市柏)	38 人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
2月 1 日(土)	日本気象予報士会 蜃気楼合宿「九十九里浜の蜃気楼の観測方法、現象の確認、発生状況の解説」(日本気象予報士会)	大木淳一	不動堂海水浴場(山武郡九十九里町) ペンションあぶらや九十九里町真亀新田	16 人
2月 7 日(金)	令和 6 年度君津地方公立博物館協議会第 3 回研修会「袖ケ浦市吉野田の下総層群から産出した化石群」(君津地方公立博物館協議会)	伊左治鎭司	袖ケ浦市郷土博物館	9 人
2月 8 日(土)	大人が楽しむ科学教室 2024「地衣類って何？－菌類なのにコケ！？」(千葉市科学館)	原田　浩	千葉市科学館	26 人
2月 11 日(火)	千葉県自然観察指導員協議会総会 特別講演会「身近な自然から生物多様性を考える」(千葉県自然観察指導員協議会)	尾崎煙雄	千葉市生涯学習センター	57 人
2月 15 日(土)	第 40 回花き懇談会フォーラム「花の魅力再発見」(花卉懇談会)	御巫由紀	東京農業大学 世田谷キャンパス	70 人
2月 23 日(日)	ヌマベの楽校 勉強会「手賀沼岸のヨシ原に生息する鳥類など」(urban design partners balloon)	小田谷嘉弥	手賀沼フィッシングセンター脇の堤防外(柏市)	33 人
2月 24 日(月)	第 44 回 青空地衣教室(日本地衣学会)	原田　浩	昭和の森(緑区土気町)	15 人
3月 1 日(土)	一宮町の魅力～歴史と文化～「海・風・波と一宮の祭など」(一宮町)	小林裕美	一宮町保健センター(長生郡)	63 人
3月 1 日(土)	安房生物愛好会定期講演会「外来水生植物が人間生活・自然生態系へ及ぼす影響」(安房生物愛好会)	林　紀男	館山市中央公民館	65 人
3月 11 日(火)	ちば＊シニア塾 (やっぱり富士山が好き 第 2 回)「富士山の生い立ち」(千葉市生涯学習センター)	高橋直樹	千葉市生涯学習センター	50 人
3月 22 日(土)	第 23 回ちば興銀コスモスセミナー「成田山新勝寺の門前町」(千葉興業銀行)	須田華那	千葉興業銀行(千葉支店ビル 7F ホール)	64 人
3月 26 日(水)	身近な鳥のおはなし～病室から鳥を見てみよう (ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ)	小田谷嘉弥	千葉県こども病院 4 階東病棟(緑区辺田町)	10 人

ウ　学会・研究会・会議等の開催(館外を含む)　1 回　30 人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
2月 15 日(土) 2月 16 日(日)	第 16 回放散虫研究集会	菊川照英	講堂	30 人

エ　施設の貸し出し　24 回　1,214 人

月日	事業名	利用者	担当者等	場所	参加者数
5月 22 日(水)	第 1 回文化財保護指導委員会議	千葉県教育庁文化財課	原田　浩	会議室	20 人
6月 5 日(水)	千葉県高等学校教育研究会　社会部総会および春季研究協議会	千葉県高等学校教育研究会	原田　浩	講堂	67 人
6月 6 日(木)	令和 6 年度市町村文化財担当職員講習会	千葉県教育庁文化財課	原田　浩	講堂	127 人
6月 18 日(火)	千葉県高等学校教育研究会歴史部会 令和 6 年度総会ならびに春季研究協議会	千葉県高等学校教育研究会	原田　浩	講堂	84 人
6月 15 日(土)	日本野鳥の会千葉県　幹事研修会	日本野鳥の会千葉県	原田　浩	講堂	24 人
7月 6 日(土)	2024 年度第 1 回　房総地学会	房総地学会	高橋直樹	会議室	16 人
7月 21 日(日)	令和 6 年度　第 1 回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	原田　浩	講堂	81 人
9月 20 日(金)	スキルアップ研修会(児童サービス)	千葉県公共図書館協会	原田　浩	研修室	30 人
10月 9 日(水)	スキルアップ研修会(児童サービス)	千葉県公共図書館協会	原田　浩	研修室	30 人
10月 18 日(金)	令和6年度千葉県公共図書館協会県立ブロック研修会	千葉県公共図書館協会	大木淳一	講堂	48 人
10月 19 日(土)	令和 6 年度樹木医技術研修会	日本樹木医会千葉支部会	原田　浩	講堂	96 人
10月 20 日(日)	千葉県昆虫談話会　幹事会・例会	千葉県昆虫談話会	樽　宗一朗	会議室	26 人
10月 20 日(日)	令和 6 年度第 2 回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	原田　浩	講堂	74 人
11月 22 日(金)	令和 6 年度スキルアップ研修会(児童サービス)	千葉県公共図書館協会	原田　浩	研修室	32 人
11月 23 日(土)	千葉県生物学会　第 77 回児童生徒研究発表会	千葉県生物学会	斎木健一、尾崎煙雄	講堂	60 人
11月 29 日(金)	第 46 回千葉県高等学校生と歴史研究発表大会	千葉県高等学校教育研究会	原田　浩	講堂	40 人

月日	事業名	利用者	担当者等	場所	参加者数
12 月 15 日(日)	千葉県地学教育研究会　総会・研究発表会・地学談話会	千葉県地学教育研究会	高橋直樹	講堂	41 人
12 月 15 日(日)	千葉県昆虫談話会　幹事会・例会	千葉県昆虫談話会	樽　宗一朗	会議室	34 人
2 月 2 日(日)	令和 6 年度　第 3 回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	原田　浩	講堂	77 人
2 月 11 日(火)	日本野鳥の会千葉県 2025 年度定期総会	日本野鳥の会千葉県	原田　浩	講堂	55 人
2 月 15 日(土)	2024 年度　第 3 回　房総地学会	房総地学会	高橋直樹	会議室	22 人
2 月 16 日(日)	千葉県昆虫談話会　幹事会・例会	千葉県昆虫談話会	樽　宗一朗	会議室	31 人
2 月 16 日(日)	シンポジウム「千葉県の微化石～ミクロな世界から知る房総半島の地質～」	千葉大学理学部地球科学科層序学教育研究分野および大阪微化石研究会	菊川照英	講堂	51 人
2 月 23 日(日)	千葉県生物学会総会・研究発表会	千葉県生物学会	斎木健一	講堂	48 人

(3)学習キットの利用(貸出・館内利用等)

期　日	利用者	化石キット(基本)	化石キット(発展)	昆虫標本作製キット(理科)	昆虫標本作製キット(国語)	人類進化学習キット	校庭の野草観察キット	昔の道具学習キット	利用方法	利用者数
4 月 17 日(水)	教育支援センター ライトポート若葉						○		貸出	8 人
5 月 21 日(火)	千葉県立成田国際高等学校					○			貸出	39 人
5 月 27 日(月)	山梨県立上野原高等学校					○			貸出	15 人
6 月 6 日(木)	ドットジュニアさぎぬま 第一教室	○							貸出	10 人
6 月 10 日(月)	東海大学湘南キャンパス	○	○						貸出	17 人
7 月 3 日(水)	帝京科学大学 千住キャンパス	○	○						貸出	13 人
7 月 4 日(木)	秀名大学		○						貸出	24 人
7 月 17 日(水)	臨海小学校 科学教育センター	○							貸出	50 人
7 月 30 日(火)	栄町立布鎌小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	鎌ケ谷市立南部小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	佐倉市立染井野小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	市原市立ちはら台桜小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	市原市立大野小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	松戸市立矢切小学校						○		貸出	28 人
7 月 30 日(火)	松戸市立東部小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	船橋市立八木が谷小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	船橋市立法典西小学校						○		貸出	28 人
7 月 30 日(火)	大多喜町立西小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	大網白里市立増穂小学校		○						館外説明	1 人
7 月 30 日(火)	大網白里市立大網小学校						○		貸出	34 人
7 月 30 日(火)	八千代市立萱田南小学校						○		貸出	15 人
7 月 30 日(火)	野田市立中央小学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	八千代市立八千代台西中学校						○		貸出	1 人
7 月 30 日(火)	富里市立富里中学校						○		貸出	130 人
7 月 30 日(火)	千葉県総合教育センター 小・中学校自然観察体験研修						○		館内説明	24 人
8 月 2 日(金)	幕張西公民館	○	○						貸出	20 人
8 月 9 日(金)	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	○	○	○	○	○	○	○	館内説明	7 人
10 月 15 日(火)	柏市立柏第六小学校							○	貸出	90 人
10 月 20 日(日)	印西市立木刈中学校	○	○						貸出	262 人
10 月 21 日(月)	聖心女子学院中等科・高等科					○			貸出	235 人
11 月 23 日(土)	土気学　地域研究会	○	○						貸出	20 人
11 月 28 日(木)	むさしの・こどもエコフォーラム	○							貸出	30 人
12 月 16 日(月)	君津市立清和小学校							○	貸出	9 人
1 月 9 日(木)	千葉市立大森小学校							○	貸出	84 人
1 月 17 日(金)	香取市立新島小学校							○	貸出	20 人

期　日	利用者	化石キット(基本)	化石キット(発展)	昆虫標本作製キット(理科)	昆虫標本作製キット(国語)	人類進化学習キット	校庭の野草観察キット	昔の道具学習キット	利用方法	利用者数
1月23日(木)	日出学園小学校							○	貸出	102人
1月31日(金)	長南町立長南小学校							○	貸出	50人
2月 1日(土)	NPO法人田淵チバニアンズ	○							貸出	35人
2月 6日(木)	市川市立富美浜小学校							○	貸出	145人
2月12日(水)	東京都江東区立大島中学校				○				貸出	84人
2月17日(月)	佐倉市立西志津小学校							○	貸出	126人
2月26日(水)	千葉市立真砂中学校かがやき分校	○	○			○			貸出	732人
3月10日(月)	香取市立佐原小学校							○	貸出	117人
	計	11	9	1	2	5	18	10		2,614人

(4)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人および各種機関等からの質問相談および助言・指導を行なった。

相談件数3,486件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
地学	22	9	9	5	12	0	76	133
動物	43	18	35	4	24	9	416	549
植物・菌類	10	0	1	3	0	0	87	101
人文	3	2	3	6	5	0	58	77
生態・環境	987	763	516	41	63	2	229	2,601
博物館一般	7	1	3	1	2	1	10	25
合計	1,072	793	567	60	106	12	876	3,486

4　職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1)職場体験　8校18人

月日	学校名	日数	人数	担当課
6月 6日(木)、7日(金)	八千代市立村上中学校	2日	1人	展示課(照屋)
7月 3日(水)、4日(木)	千葉市立千草台中学校	2日	2人	地域連携課(樽)
10月29日(火)、30日(水)	千葉市立幕張西中学校	2日	3人	展示課(丸山)
10月31日(木)、11月1日(金)	千葉市立花園中学校	2日	2人	教育普及課(栃原・大木)
11月 6日(水)、7日(木)	千葉市立松ケ丘中学校	2日	3人	展示課(照屋)
11月 7日(木)、8日(金)	習志野市立第二中学校	2日	3人	展示課(照屋)
11月12日(火)、13日(水)	千葉市立みつわ台中学校	2日	3人	展示課(照屋・玉井)
11月20日(水)、21日(木)	市原市立市東中学校	2日	1人	展示課(照屋)

(2)千葉県庁インターンシップ　5回　24人

月日	事業名	延べ日数	人数	担当課
7月14日(日)～8月29日(木)	千葉県庁インターンシップ	5日	6人	展示課(丸山)
7月21日(日)～9月22日(日)	千葉県庁インターンシップ	5日	6人	教育普及課(栃原)
7月26日(金)～9月12日(木)	千葉県庁インターンシップ	5日	2人	研究課(加藤)
7月27日(土)～9月29日(日)	千葉県庁インターンシップ	5日	9人	展示課(照屋)
8月 5日(月)～9月19日(木)	千葉県庁インターンシップ	6日	1人	資料管理課(榎)

(3)博物館実習

ア　実施期間　令和6年8月21日(水)～28日(水)〔8日間〕

イ　受入校　22校24人[千葉大学(1人)、筑波大学(1人)、関東学園大学(1人)、北里大学(1人)、京都外国語大学(1人)、駒沢大学(1人)、札幌大学(1人)、淑徳大学(1人)、聖心女子大学(1人)、清泉女子大学(1人)、聖徳大学通信教育部(1人)、東京女子大学(1人)、東京都市大学(1人)、東京農業大学(1人)、二松学舎大学(1人)、日本大学(2人)、法政大学(1人)、明治大学(1人)、目白大学(1人)、八洲学園大学(2人)、和洋女子大学(1人)、成城大学大学院(1名)]

ウ　カリキュラム

8月21日(水) 開講式、常設展示解説、特別展「万祝博覧会－海をまとう－」の企画から運営まで(玉井里奈)、展示企画実習の説明(小林裕美)、図書室の利用(友田暁子)

8月22日(木) 生態園解説(尾崎煙雄・西内李佳)、組織と予算・機能強化について(島立理子)、博物館の広報について(伊左治鎭司)、資料の収集・受入・登録・官営について(榎　美香)、収蔵庫の解説(榎美香・後藤亮・千葉友樹)、常設展と企画展について(御巫)、地域連携について(駒井智幸)

8月23日(金) 教育普及について(大木淳一)、調査研究活動について(伊左治鎭司)、調査研究活動体験(昆虫資料収集・標本作成)(樽　宗一朗)、人文資料の取り扱い(幅　大・石井友菜・鈴木建人・園部華与)

8月24日(土)・25日(日) 班別実習(各担当課対応)

8月26日(月) 自宅研修

8月27日(火) 班別実習(各研究グループ対応)

8月38日(水) 展示企画実習(小林裕美)、閉講式

(4)教員研修

ア　館主催　教員のための博物館の日　2回　10人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月25日(木)	教員のための博物館の日 博物館環境教育研修会	髙橋一真、高橋直樹、 山中　蛍	研修室、千葉市街展示室	3人
8月 9日(金)	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	髙橋一真、丸山啓志、 樽　宗一朗、栃原行人、 玉井里奈、浅野紗彩、 照屋清之介	研修室、展示室	7人

イ　教員研修制度　7回　57人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月26日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立おゆみ野中、千葉市立本町小、千葉市立院内小、千葉市立真砂西小、千葉市立若松小、八千代市立大和田南小、船橋市立高郷小)	林　紀男、榎　美香、 浅野紗彩、原田　浩、 小出麻友美、髙橋一真	展示室、生態園、研修室、収蔵庫	8人
7月27日(土)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立おゆみ野中、千葉市立本町小、千葉市立院内小、千葉市立真砂西小、千葉市立若松小、八千代市立八千代台東小)	萩野康則、後藤　亮、 千葉友樹、加藤久佳、 照屋清之介、阿部真理子、 柳原亜矢子、須藤大雅、 髙橋一真	展示室、収蔵庫、研修室	7人
7月28日(日)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立おゆみ野中、千葉市立本町小、千葉市立院内小、千葉市立真砂西小、千葉市立若松)	渡瀬綾乃、髙橋一真	展示室、研修室、会議室	5人
8月 1日(木)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立松ケ丘中、千葉市立稲毛中、千葉市立金沢小、松戸市立八ケ崎小、船橋市立高郷小)	西内李佳、阿部真理子、 柳原亜矢子、須藤大雅、 髙橋一真	展示室、生態園、研修室	5人
7月30日(火)	小・中学校自然観察体験研修(栄町立布鎌小学校ほか計22校)	斎木健一、天野　誠	展示室、生態園、研修室	24人
8月 2日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立松ケ丘中、千葉市立稲毛中、千葉市立金沢小、松戸市立八ケ崎小)	小林純大、原田　浩、 髙橋一真	展示室、収蔵庫、講堂、研修室	5人
8月 3日(土)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修(千葉市立松ケ丘中、千葉市立稲毛中、千葉市立金沢小)	小出麻友美、浅野紗彩、 後藤　亮、千葉友樹、 鈴木建人、髙橋一真	展示室、収蔵庫、研修室、会議室	3人

5　県民参画

(1)ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
展示室ボランティア	27人	138人	常設展示室での展示解説
生態園パートナー	13人	18人	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	127人	932人	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、歴史民俗資料等)の整理保存サポート

名称	登録者数	活動 延べ人数	活動内容
講座・観察会・イベントボランティア	61 人	65 人	当館で開催する講座や観察会、イベントの運営サポート
調査研究ボランティア	20 人	78 人	重点調査のサポート、野鳥調査サポート
房総の山の観察会サポーター	4 人	16 人	「房総のフィールド・ミュージアム」での観察会のサポート
サークル幹事	10 人	50 人	中央博サークルの運営、庶務
合計	262 人	1,297 人	

(2)ボランティア研修会

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
6 月 16 日(日)	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」の解説	石井友菜	企画展示室	15 人
6 月 19 日(水)	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」の解説	石井友菜	企画展示室	6 人
7 月 27 日(土)	特別展「万祝博覧会ー海をまとうー」の解説	鈴木建人	企画展示室	3 人
7 月 30 日(火)	特別展「万祝博覧会ー海をまとうー」の解説	鈴木建人	企画展示室	3 人
10 月 12 日(土)	秋の展示「二口善雄植物画展」の解説	御巫由紀	企画展示室	3 人
10 月 17 日(木)	秋の展示「二口善雄植物画展」の解説	御巫由紀	企画展示室	3 人
11 月 9 日(土)	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」の解説	米谷　博	企画展示室	2 人
11 月 12 日(火)	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」の解説	米谷　博	企画展示室	1 人
11 月 29 日(金)	生態園トピックス展「生態園の地衣類」の解説	坂田歩美	生態園オリエンテーションハウス	0 人
12 月 21 日(土)	生態園トピックス展「生態園の地衣類」の解説	坂田歩美	生態園オリエンテーションハウス	1 人
12 月 25 日(水)	トピックス展「十二支にちなんでー巳年ー」の解説	丸山啓志	2 階ホール、第 2 企画展示室	2 人
1 月 13 日(月)	トピックス展「十二支にちなんでー巳年ー」の解説	丸山啓志	2 階ホール、第 2 企画展示室	3 人
2 月 1 日(土)	トピックス展「神社の屋根から絵馬出づる～富津市三柱神社の修復工事より～」の解説	榎　美香	企画展示室	1 人
2 月 4 日(火)	トピックス展「神社の屋根から絵馬出づる～富津市三柱神社の修復工事より～」の解説	榎　美香	企画展示室	1 人
2 月 23 日(日)	生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」と春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの 35 年～」の解説	尾崎煙雄、西内李佳	生態園オリエンテーションハウス、企画展示室	1 人
2 月 27 日(木)	生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」と春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初エコロジー・パークの 35 年～」の解説	尾崎煙雄、西内李佳	生態園オリエンテーションハウス、企画展示室	2 人

(3)中央博サークル

名称	登録者数
ヒスイの会	28 人
地学同好会	44 人
コケサークル(地衣類)	31 人
もりたん	46 人

名称	登録者数
歴史サークル	16 人
あおばのもり	7 人
房総貝類談話会	34 人

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
コケサークル(地衣類)	4 月 6 日(土)	第 1 回観察会	青葉の森公園	原田　浩	14 人	原田　浩 坂田歩美
ヒスイの会	4 月 12 日(金)	例会	研修室		9 人	高橋直樹
歴史サークル	4 月 18 日(木)	勉強会	研修室	須田華那	7 人	須田華那
ヒスイの会	4 月 20 日(土)	例会	研修会		11 人	高橋直樹
ヒスイの会	4 月 25 日(木)	「石割体験会」の準備として岩石採集	南房総市		7 人	高橋直樹 菊川照英

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
ヒスイの会	5月 4 日(土)	「石を割ってみよう」体験会ボランティア	1階入口前		12 人	高橋直樹 菊川照英
コケサークル(地衣類)	5月 11 日(土)	第 2 回観察会	銚子市海岸	原田　浩	13 人	原田　浩 坂田歩美
ヒスイの会	5月 12 日(日)	地質の日関連観察会「銚子地域の地質」ボランティア	銚子市		5 人	高橋直樹 菊川照英 山中　蛍
歴史サークル	5月 18 日(土)	勉強会	歴史展示室	須田華那	6 人	須田華那
ヒスイの会	5月 19 日(日)	例会	研修室		5 人	高橋直樹
もりたん	5月 19 日(日)	第 1 回観察会	佐倉草ぶえの丘バラ園(佐倉市)	御巫由紀	17 人	御巫由紀 大津千晶 浅野紗彩
地学同好会	6月 2 日(日)	博物館見学、国立科学博物館企画展「知られざる海生無脊椎動物の世界」及び周辺の建物の石材に含まれる化石探し	東京都台東区(国立科学博物館、上野松坂屋ほか)		5 人	丸山啓志 加藤久佳 千葉友樹
ヒスイの会	6月 16 日(日)	例会	研修室・地学標本製作室		11 人	高橋直樹
歴史サークル	6月 20 日(木)	勉強会	研修室	須田華那	12 人	須田華那
ヒスイの会	6月 27 日(木)	例会	研修室		8 人	高橋直樹 菊川照英
歴史サークル	7月 18 日(木)	勉強会	研修室	榎　美香	9 人	須田華那
ヒスイの会	7月 20 日(土)	例会	研修室		6 人	高橋直樹 菊川照英
ヒスイの会	7月 24 日(水)	例会	研修室		8 人	高橋直樹 菊川照英
ヒスイの会	8月 4 日(日)	「海岸で石ころをひろおう」ボランティア	鴨川市		8 人	高橋直樹 菊川照英
歴史サークル	8月 15 日(木)	勉強会	歴史展示室	幅　大	10 人	須田華那
ヒスイの会	8月 22 日(木)	株式会社合同資源鉱石資料館見学会	長生村		10 人	高橋直樹
ヒスイの会	8月 31 日(土)	例会	研修室		12 人	高橋直樹 菊川照英
もりたん	9月 7 日(土)	第 2 回観察会	養老渓谷田淵の地磁気逆転地層(市原市)	西内李佳	10 人	西内李佳 御巫由紀
ヒスイの会	9月 13 日(金)	例会	研修室		8 人	高橋直樹
あおばのもり	9月 13 日(金)	勉強会	会議室		9 人	石井友菜
歴史サークル	9月 19 日(木)	勉強会	研修室		9 人	須田華那
ヒスイの会	9月 23 日 (月・祝)	例会	研修室		17 人	高橋直樹 菊川照英
あおばのもり	10 月 11 日(金)	勉強会	会議室		9 人	石井友菜
ヒスイの会	10 月 13 日(日)	環境教育講座「両総用水をめぐる」ボランティア	横芝光町		4 人	高橋直樹
ヒスイの会	10 月 14 日 (月・祝)	例会	研修室		8 人	高橋直樹
ヒスイの会	10 月 20 日(日)	富津市天神山地区老人大学「地域資産としての天神山石」講師	富津市		1 人	高橋直樹
コケサークル(地衣類)	10 月 27 日(日)	第 3 回観察会	いちはらクオードの森(市原市)	原田　浩	12 人	原田　浩 坂田歩美
ヒスイの会	11 月 1 日(金)	例会	研修室		6 人	高橋直樹
歴史サークル	11 月 3 日(日)	自然誌フェスタに参加(アンギン編みやめんこの体験)	1階ホール		4 人	須田華那
あおばのもり	11 月 8 日(金)	勉強会	研修室		9 人	石井友菜
ヒスイの会	11 月 10 日(日)	県外岩石観察会「栃木真岡・茂木の石材」ボランティア	栃木県		5 人	高橋直樹 菊川照英

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
地学同好会	11月16日(土)	第1回野外観察会	埼玉県秩父市、秩父郡皆野町・吉田町・小鹿野町		9人	加藤久佳 伊左治鎭司 菊川照英
房総貝類談話会	11月16日(土)	第31回例会	会議室		20人	照屋清之介 千葉友樹
ヒスイの会	11月20日(水)	例会	研修室		8人	高橋直樹 菊川照英
歴史サークル	11月21日(木)	見学会　小堀河岸	茨城県取手市		4人	須田華那 米谷　博
ヒスイの会	12月13日(金)	例会	研修室		9人	高橋直樹
あおばのもり	12月13日(金)	勉強会	喫茶あおば		7人	石井友菜
歴史サークル	12月19日(木)	勉強会	研修室	須田華那	8人	須田華那
ヒスイの会	12月22日(日)	例会	研修室		10人	高橋直樹
地学同好会	12月22日(日)	第2回野外観察会	東京都狛江市猪方多摩川		10人	加藤久佳 千葉友樹
あおばのもり	1月10日(金)	勉強会	会議室		7人	石井友菜
房総貝類談話会	1月12日(日)	第1回標本整理ゆんたく会	会議室		11人	照屋清之介
ヒスイの会	1月13日(月)	例会、千葉市科学館「石ころコレクション展」見学	研修室、市内		12人	高橋直樹
房総貝類談話会	1月19日(日)	第32回例会	研修室		18人	照屋清之介 千葉友樹
ヒスイの会	1月24日(金)	例会	研修室		9人	高橋直樹 菊川照英
房総貝類談話会	1月26日(日)	第2回標本整理ゆんたく会	会議室		11人	照屋清之介
ヒスイの会	2月 8日(土)	例会	研修室		8人	高橋直樹
房総貝類談話会	2月 9日(日)	第3回標本整理ゆんたく会	会議室		20人	照屋清之介
あおばのもり	2月14日(金)	勉強会	会議室		7人	石井友菜 米谷　博
コケサークル(地衣類)	2月16日(日)	第4回観察会	館山城山公園(館山市)		12人	原田　浩 坂田歩美
歴史サークル	2月20日(木)	会員発表会	研修室		12人	須田華那 米谷　博
ヒスイの会	2月20日(木)	深岩石採掘場(川田石材工業)と鹿沼市内石造物見学会	栃木県		7人	高橋直樹
ヒスイの会	2月28日(金)	例会	研修室		8人	高橋直樹
ヒスイの会	3月 2日(日)	環境教育講座「下総台地の地形・地質環境」ボランティア	研修室		4人	高橋直樹
ヒスイの会	3月 8日(土)	例会	研修室		6人	高橋直樹 菊川照英
房総貝類談話会	3月 9日(日)	第33回例会	千葉市埋蔵文化財センター(千葉市)		20人	照屋清之介 千葉友樹
あおばのもり	3月14日(金)	勉強会	会議室		6人	石井友菜
もりたん	3月15日(土)	研修会	研修室、第1企画展示室	西内李佳	5人	西内李佳 御巫由紀
ヒスイの会	3月21日(金)	例会	研修室		7人	高橋直樹 菊川照英

6　外部機関との協定等

(1)　大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

タ イ ト ル：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と千葉県立中央博物館との博物館活動に関する協定

提 携 期 間：令和6年4月1日から令和7年3月31日(平成23年3月29日締結、平成28年3月23日および令和3年3月25日に更新、現在の協定は令和8年3月31日まで)

連携事業内容：研究教育職員の交流並びに共同研究の実施、展示活動、資料の保存及び教育普及活動等を共同で行う。

(2) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林
タ イ ト ル：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林と千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定
提 携 期 間：令和6年4月1日から令和7年3月31日(令和3年3月25日締結、以降1年毎の更新)
連携事業内容：調査研究活動、自然誌資料の収集と整理活動、県民・市民向けの展示や学習機会の提供等を共同で行う

(3) 千葉県生誕150周年記念パネル巡回展後援・協力機関
上記の巡回展が令和6年6月下旬で終了したことで、後援・協力をいただいたNHK千葉放送局、千葉県文化振興財団、房総のむらに実施報告書を提出した。

第２　大利根分館

1　展示観覧支援

本館への機能集約にむけて休館中のため、展示・講座等なし。

2　講座・観察会等の開催

本館への機能集約にむけて休館中のため、実施せず。

3　アウトリーチ支援

(1)　団体・機関等への支援

本館への機能集約にむけて休館中のため、団体・機関等への支援なし。

(2)　専門分野における相談対応

本館への機能集約にむけて休館中のため、相談対応なし。

相談件数　0 件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大　学	海　外	個　人	小　計
動　　物	0	0	0	0	0	0	0	0
人　　文	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	0	0	0	0	0	0	0	0

4　職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

本館への機能集約にむけて休館中のため、実施せず。

5　県民参画

(1)ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
資料整理ボランティア	2 人	60 人	資料整理に係るサポート

第 3　大多喜城分館 （講師・担当者は特に断らないかぎり、大多喜城分館職員）

1　展示観覧支援

本館への機能集約にむけて一部休館中のため、実施せず。

2　講座・観察会等の開催

本館への機能集約にむけて一部休館中のため、実施せず。

3　アウトリーチ支援

(1)学校対象

本館への機能集約にむけて一部休館中のため、実施せず。

(2)団体・機関等への支援

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
4 月 28 日(日)	武家屋敷演目「武具の話」	高橋　覚	千葉県立房総のむら	20 人
8 月 12 日(月)	武家屋敷演目「武具の話」	高橋　覚	千葉県立房総のむら	20 人

(3)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数　7 件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大　学	海　外	個　人	小　計
人　　文	0	0	1	1	1	0	4	7
合　　計	0	0	1	1	1	0	4	7

4　職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

本館への機能集約にむけて一部休館中のため、実施せず。

5　県民参画

本館への機能集約にむけて一部休館中のため、実施せず。

第 4　分館海の博物館 （講師・担当者は、特に断らないかぎり、分館海の博物館職員）

1　展示観覧支援

(1)　展示室の歩き方　45 回　179 人

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
10 月(1 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	2 人
11 月(10 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	36 人
12 月(7 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	15 人
1 月(7 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	24 人
2 月(6 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	25 人
3 月(14 回)	展示室の歩き方	金子美織、原　礼	展示室	77 人

(2)　展示個別解説　284 回　6,366 人

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4 月(24 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	499 人
5 月(24 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	614 人
6 月(26 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	736 人
7 月(26 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	803 人
8 月(26 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	906 人
9 月(21 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	440 人
10 月(24 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	503 人
11 月(24 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	386 人
12 月(19 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	322 人
1 月(21 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	360 人
2 月(24 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	377 人
3 月(25 回)	展示個別解説	金子美織、原　礼	展示室	420 人

2　講座・観察会等の開催

(1)講座　2 回　21 人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7 月 28 日(日)	魚拓をつくってみよう	乃一哲久、奥野淳兒	講座実験室	8 人
3 月 8 日(土)	超深海の生きものたち	柳　研介、平田和彦	講座実験室	13 人

(3)　観察会　9 回　86 人　※うち中止 1 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4 月 27 日(土)	ウミウシを観察しよう	立川浩之、柳　研介	館前の磯	18 人
4 月 29 日(月・祝)	海藻を観察しよう	菊地則雄、奥野淳兒	館前の磯	10 人
5 月 12 日(日)	エビ・カニを観察しよう	奥野淳兒、菊地則雄	館前の磯	7 人
5 月 25 日(土)	鵜原理想郷　生きもの探し(春)	松本光史、平田和彦	鵜原理想郷	6 人
6 月 1 日(日)	漂着ミズナギドリとそこに集まる虫	平田和彦、樽　宗一朗	鵜原海岸	14 人
8 月 10 日(土)	水中メガネで海の生きものを観察しよう	柳　研介、川瀬裕司、平田和彦	館前の磯	荒天中止
8 月 20 日(水)	親子で磯の魚を探そう	川瀬裕司、松本光史	館前の磯	16 人
11 月 17 日(日)	鵜原理想郷　生きもの探し(秋)	松本光史、菊地則雄	鵜原理想郷	8 人
12 月 16 日(土)	ウのねぐら鵜ォッチング	平田和彦、松本光史	鵜原海岸	7 人

(3)磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)　10 回　148 人　※うち中止 1 回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4 月 28 日(土)	磯･いそ探検隊 1	柳　研介、平田和彦	館前の磯	20 人
5 月 11 日(土)	磯･いそ探検隊 2	川瀬裕司、立川浩之	館前の磯	9 人
5 月 26 日(日)	磯･いそ探検隊 3	奥野淳兒、柳　研介	館前の磯	16 人
6 月 8 日(土)	磯･いそ探検隊 4	松本光史、菊地則雄	館前の磯	10 人
6 月 22 日(土)	磯･いそ探検隊 5	立川浩之、松本光史	館前の磯	17 人
6 月 23 日(日)	磯･いそ探検隊 6	菊地則雄、柳　研介	館前の磯	荒天中止
7 月 6 日(土)	磯･いそ探検隊 7	平田和彦、菊地則雄	館前の磯	14 人
7 月 21 日(日)	磯･いそ探検隊 8	松本光史、川瀬裕司	館前の磯	20 人
8 月 4 日(日)	磯･いそ探検隊 9	平田和彦、松本光史	館前の磯	21 人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月18日(日)	磯･いそ探検隊 10	奥野淳兒、平田和彦	館前の磯	21人

(4)みんなで工作　海の生きもの　3回　130人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月14日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼、奥野淳兒	講座実験室	51人
8月12日(月・休)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼、奥野淳兒	講座実験室	43人
8月25日(日)	海藻おしばを作ろう(2回)	金子美織、原　礼、菊地則雄	講座実験室	36人

(5)博物館探検隊(バックヤードツアー)　14回　132人　※6/23と8/10は荒天中止行事の代替として開催

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月 3日(水・祝)	飼育室ツアー(2回)	立川浩之、奥野淳兒	飼育室	16人
5月 4日(木)	標本庫ツアー(2回)	柳　研介、平田和彦	液浸収蔵庫	14人
6月15日(金・祝)	標本庫ツアー(2回)	川瀬裕司、柳　研介	液浸収蔵庫	24人
6月23日(土)	飼育室ツアー(1回)	菊地則雄、柳　研介	飼育室	17人
7月15日(日)	飼育室ツアー(2回)	松本光史、立川浩之	飼育室	18人
8月10日(日)	飼育室ツアー(1回)	柳　研介、川瀬裕司	飼育室	11人
8月11日(土)	飼育室ツアー(2回)	菊地則雄、川瀬裕司	飼育室	16人
11月 3日(土)	標本庫ツアー(2回)	奥野淳兒、松本光史	液浸収蔵庫	16人

(6)海の体験コーナー　38回　353人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月 7日(日)	海藻おしばを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	9人
4月21日(日)	海藻おしばを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	15人
5月 5日(日)	海藻おしばを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	27人
5月19日(日)	海藻おしばを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	18人
6月29日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	12人
9月 7日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	30人
9月21日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	26人
10月 5日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	15人
10月19日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	13人
11月 9日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	29人
11月23日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	21人
12月 8日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	19人
12月22日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	16人
1月11日(日)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	8人
1月25日(土)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	12人
2月 8日(日)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	15人
2月22日(日)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	18人
3月 2日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	24人
3月16日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織、原　礼	講座実験室	26人

3 アウトリーチ支援

(1)団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館外) 3回 229人

月日	事業名(依頼先)	担当者等	場所	参加者数
6月16日(日)	千葉県誕生150周年記念事業	松本光史、平田和彦	勝浦市芸術文化交流センター	182人
6月28日(金)	御宿町公民館	奥野淳兒、松本光史	御宿町公民館	39人
7月21日(日)	市原市立南総公民館	平田和彦	南総公民館	8人

イ 団体フィールドトリップ 18回 403人

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
4月24日(水)	海藻おしば協会神奈川支部	菊地則雄	館前の磯	11人
6月 6日(木)	安房生物愛好会	菊地則雄	館前の磯、展示室	39人
6月22日(土)	勝浦市教育委員会生涯学習課	奥野淳兒	館前の磯	15人
6月25日(火)	大多喜町立つぐみ保育園、みつば保育園	平田和彦	館前の磯	40人
7月 7日(日)	君津中央公民館	松本光史	館前の磯、飼育室	29人
7月 7日(日)	市原市立市津公民館	平田和彦	館前の磯	32人
7月20日(土)	市原市立加茂公民館	平田和彦、松本光史	館前の磯、展示室、飼育室、講座実験室	22人
7月24日(水)	市原市立南総公民館	平田和彦、松本光史	館前の磯、展示室、飼育室、講座実験室	14人
8月 3日(土)	ときがねウォッチング	奥野淳兒	館前の磯	22人
8月 7日(水)	勝浦市教育委員会	松本光史	館前の磯、講座実験室	20人
8月10日(土)	海と日本プロジェクトin埼玉県	平田和彦	浜行川漁港、海中展望塔、講座実験室	27人
8月21日(水)	睦沢町公民館	松本光史	館前の磯、展示室	36人
8月21日(水)	千葉県夢チャレンジ体験スクール	川瀬裕司	講座実験室	12人
9月25日(土)	IC NET株式会社(JICA下請け)	平田和彦	展示室	11人
10月16日(水)	茂原市五郷地区社会福祉協議会	平田和彦	館前の磯、展示室、飼育室	20人
10月16日(水)	東急リゾートタウン勝浦	松本光史	展示室、興津海岸	19人
3月19日(水)	海藻おしば協会	菊地則雄	館前の磯、館内	16人
3月23日(日)	勝浦市生活環境課	菊地則雄、松本光史	館周辺、館内	18人

ウ 野外実習授業

(ア)小学校 22回 1274人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
6月 6日(木)	いすみ市立浪花小学校	松本光史	いすみ市岩船海岸	60人
6月 6日(木)	天津わかしお学校、天津小学校	川瀬裕司	天津わかしお学校前の磯	63人
6月 7日(金)	君津市立周西の丘小学校	平田和彦	富津干潟	89人
6月12日(水)	勝浦市立豊浜小学校	松本光史	豊浜小学校	9人
6月13日(木)	佐倉市立染井野小学校	松本光史	館前の磯、展示室	50人
6月20日(木)	明星小学校	松本光史	館前の磯	125人
6月20日(木)	勝浦市立上野小学校	平田和彦	館前の磯	102人
6月24日(月)	君津市立小糸小学校	奥野淳兒	盤洲干潟	57人
6月25日(火)	君津市立八重原小学校	立川浩之	盤洲干潟	46人
7月 2日(金)	御宿町立御宿小学校	奥野淳兒	御宿小学校	60人
7月 5日(金)	勝浦市立豊浜小学校	松本光史	勝浦市かざはやの磯	48人
7月 5日(金)	御宿町立御宿小学校	奥野淳兒	小波月海岸	82人
7月16日(火)	御宿町立御宿小学校	奥野淳兒	御宿小学校	25人
7月18日(木)	目黒区立碑小学校	奥野淳兒、松本光史	興津海岸、塩田川河口	113人
10月16日(水)	足立区千寿小学校	奥野淳兒	千寿小学校	179人
10月17日(木)	勝浦市立勝浦小学校	平田和彦	展示室	42人
10月18日(木)	安房特別支援学校鴨川分教室	松本光史	飼育室、展示室	10人
10月24日(木)	いすみ市立東海小学校	松本光史	東海小学校	22人
10月25日(金)	いすみ市立東海小学校	松本光史	東海小学校	24人
12月17日(木)	いすみ市立東海小学校	松本光史	いすみ市文化とスポーツの森公園	33人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
12 月 20 日(金)	勝浦市立豊浜小学校	平田和彦、金子美織	資料閲覧室・展示室・研修室	24 人
3 月 18 日(火)	いすみ市立東小学校	松本光史	東小学校	11 人

(イ)中学校　2 回　96 人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
6 月 9 日(日)	いすみ市立岬中学校	平田和彦	館前の磯、展示室	75 人
6 月 18 日(火)	練馬区立南ヶ丘中学校	平田和彦、松本光史	飼育室	21 人

(ウ)高等学校　2 回　65 人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
6 月 9 日(日)	千葉県立長生高等学校	奥野淳兒	館前の磯、講座実験室	23 人
8 月 6 日(土)	埼玉県立熊谷西高等学校	奥野淳兒	館前の磯	42 人

(エ)大学　3 回　61 人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
5 月 23 日(木)、24 日(金)	東京海洋大学	菊地則雄	館前の磯、館内	12 人
9 月 11 日(水)	江戸川大学	平田和彦	展示室	3 人
9 月 26 日(木)	千葉大学	松本光史	鵜原理想郷、講座実験室	46 人

(2)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行なった。

相談件数 46 件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
動物	1	2	3	0	0	0	27	33
植物・菌類・藻類	2	1	1	1	0	0	1	6
生態・環境	0	0	0	0	0	0	7	7
博物館一般	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	4	1	0	0	35	46

4　職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1)　職場体験　2 回　10 人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
11 月 19 日(火)、20 日(水)	いすみ市立岬中学校	平田和彦、松本光史、菊地則雄	館内、鵜原理想郷	4 人
11 月 28 日(木)、29 日(金)	いすみ市立大原中学校	平田和彦、奥野淳兒	館内	6 人

(2)　千葉県庁インターンシップ　1 回　1 人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
12 月 13 日(金)～15 日(日)	県庁キャリア実習	平田和彦	館内、鵜原理想郷、鵜原海岸	1 人

(3)教員研修　3 回　39 人

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
5 月 22 日(水)	千葉県高等学校教育研究会理科部会生物分科会海洋生物研究班研修会	柳　研介	館前の磯、講座実験室	5 人
7 月 23 日(火)	千葉県総合教育センター	柳　研介、松本光史、平田和彦	館前の磯、講座実験室	22 人
9 月 21 日(土)	いすみ理科同好会	松本光史	鵜原理想郷、会議室	12 人

Ⅴ　情報発信

1　出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

(1)出版物・印刷物

ア　本館

名称	規格	頁数	部数	年月日
利用案内(一般用)(改訂)	A3 変(観音折)	8	15,000	2025.3
利用案内(小学生団体用)(改訂)	B4 変(観音折)	8	8,000	2025.3
令和 7 年度行事案内	A4	12	10,000	2025.3
千葉県立中央博物館年報　36　令和 5 年度版	A4	123	PDF	2024.8.28
千葉県立中央博物館研究報告　第 17 巻　第 2 号	A4	152	20	2025.3.31
ニュースレター「しいむじな」				
第 85 号	A4	4	7,000	2024.6
第 86 号	A4	4	7,000	2024.9
第 87 号	A4	4	7,000	2024.12
第 88 号	A4	4	7,000	2025.3
生態園のどんぐり(増刷)	A4	2	5,000	2025.1
特別展「万祝博覧会−海をまとう−」				
ポスター(A2)	A2	1	1,000	2024.6
ポスター(B2)	B2	1	50	2024.6
チラシ	A4	2	80,000	2024.6
図録	A4	96	1,000	2024.7.27
ワークシート	A4	2	2,450	2024.7.27
パンフレット	A4	4	10,000	2024.7.27
文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」				
ポスター	A2	1	300	2024.5
チラシ	A4	2	30,000	2024.5
地域展　大多喜　台古墳群の鏡がうつし出す時代	A4	16	3,000	2024.6.8
秋の展示「二口善雄植物画展」				
ポスター	A2	1	30	2024.9.1
チラシ	A4	2	15,000	2024.9.1
解説シート	A4	4	2,000	2024.10.12
春の展示「房総のミニチュア『生態園』－日本初エコロジー・パークの 35 年－」チラシ	A4	2	15,000	2024.11.20
千葉県立中央博物館生態園　出来事と主な生きものの変遷	A3	1	6,000	2025.2.4
学校標本取扱マニュアル	A5	22	300	2025.3.10
「房総のお浜降り習俗」記録映像解説書(付 DVD)	A4	101	300	2025.3.21
「房総のお浜降り習俗」リーフレット	A4	4	20,000	2025.3.21

イ　分館海の博物館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和 7 年度行事案内	A6 切	8	15,000	2025.3.28
海の博物館利用のしおり(増刷)	A6 切	2	30,000	2025.3.14
マリンサイエンスギャラリー「超深海」				
ポスター	A2	1	100	2025.2.5
チラシ	A4	2	40,000	2025.2.5
夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」チラシ	A4	2	40,000	2024.7.12
海の生きもの観察ノート 19「新 磯で見られるエビ・ヤドカリ・カニ」	A5	28	2,000	2025.3.25

2 インターネットの活用

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、研究員による研究の成果を紹介するデジタルミュージアムの公開等を行った。

(1)ウェブサイト

ア　ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本　　館	130	483	32
房総のフィールド・ミュージアム	12	240	0
大 利 根 分 館	1	0	0
大 多 喜 城 分 館	2	1	0
分館海の博物館	93	131	3
合 計	238	855	35

イ　ウェブサイトへのアクセス件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
本　　館	8,681	9,098	10,711	12,405	13,058	8,415	7,232	6,581	5,318	7,217	7,348	7,332	103,396
房総のフィールド・ミュージアム	180	167	342	368	197	134	141	137	116	145	126	109	2,162
大 利 根 分 館	556	629	540	523	616	450	433	341	322	373	425	407	5,615
大 多 喜 城 分 館	2,375	2,107	1,649	1,842	2,197	1,840	1,567	1,505	1,274	1,402	1,587	1,691	21,036
分館海の博物館	2,605	2,810	3,227	5,572	5,848	3,031	2,076	1,828	1,612	1,903	2,433	2,960	35,905
合　計	14,397	14,811	16,469	20,710	21,916	13,870	11,449	10,392	8,642	11,040	11,919	12,499	168,114

(2)メールマガジン

ア　メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本　　館 大 利 根 分 館 大 多 喜 城 分 館	ちば中央博メール	200～211	12 回	毎月 10 日	20,309
房総のフィールドミュージアム	しいむじなメール	229～240	12 回	毎月 10 日	7,852
分館海の博物館	海からのたより	230～241	12 回	毎月 1 日	8,267

イ　メルマガコラム

(ア)ちば中央博メール「中央博の窓」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
169	春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	斎木健一	212	4 月
170	学習情報センターの役割とは？	髙橋一真	213	5 月
171	発掘された日本列島 2024	石井友菜	214	6 月
172	たいけんのもりにいってみよう！	阿部真理子	215	7 月
173	万祝博覧会－海をまとう－	鈴木建人	216	8 月
174	水草をさわって比べよう	林　紀男	217	9 月
175	秋の展示「二口善雄植物画展」	御巫由紀	218	10 月
176	生態園の地衣類(藻類と共生している菌類)	坂田歩美	219	11 月
177	十二支にちなんで－巳年－	丸山啓志	220	12 月
178	神社の屋根より絵馬出ずる	榎　美香	221	1 月
179	春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの 35 年～」	西内李佳	222	2 月
180	生態園トピックス展「春の展示関連展示　生態園からはじめる房総の自然観察」	西内李佳	223	3 月

(イ)ちば中央博メール「コラム　研究室から」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
155	記録をなぜとるか、そしてなぜ残すか	渡瀬綾乃	212	4 月
156	チバニアンはどうすごいのか　第 3 弾 ～花粉が重要な役割を果たした～	奥田昌明	213	5 月
157	千葉県で湿地の鳥を追いかける	小田谷嘉弥	214	6 月
158	ミクロなきのこの多様性を解き明かす	栃原行人	215	7 月
159	どれぐらい遺伝的に違うと別種なのか？	照屋清之介	216	8 月
160	アイデアは現場で生まれてくる	大木淳一	217	9 月
161	博学連携とは？	髙橋一真	218	10 月
162	古代房総のアワビ	小川宏和	219	11 月
163	旅の終着地・千葉	小林大純	220	12 月

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
164	法から中世社会に思いをはせる	園部華与	221	1月
165	染織工芸作家・二口志保子 －「二口善雄植物画展」余話	幅　大	222	2月
166	これからの中央博物館への期待	稲村　弥	223	3月

（ウ）海からのたより「研究員ノート」

記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
強みを活かし欠点を補う、バイオロギングと直接観察の組み合わせ	平田和彦	230	4月
外房にタラバガニ?	奥野淳兒	231	5月
フグ毒は身を守る?　クサフグを襲うウツボの話	川瀬裕司	232	6月
鮎の季節がやってきました	乃一哲久	233	7月
勝浦・磯の生きものミニ水族館	菊地則雄	234	8月
東京湾で発見されたマメスナギンチャクのなかま	柳　研介	235	9月
ウニの話題あれこれ	立川浩之	236	10月
秋の理想郷観察エリアへ	松本光史	237	11月
漁港の夜間照明と海の生きもの	平田和彦	238	12月
謹賀新年 －海の博物館はリフォーム真最中－	乃一哲久	239	1月
南房総からスズメダイがいなくなる?海水温上昇に伴う温帯性魚類の動向	川瀬裕司	240	2月
マリンサイエンスギャラリー「超深海」始まる	柳　研介	241	3月

(3)エックス(旧ツイッター)

	アカウント名	フォロワー数	ポスト数	開始年月日
本　　館 大利根分館 大多喜城分館	@chiba_chuohaku	6,574	457	平成25年3月26日
分館海の博物館	@umihaku	3,217	803	平成25年4月18日
合　計	－	9,791	1,260	－

(4)YouTube

コンテンツ名
海をまとう－万祝染のわざ－(ダイジェスト版)【新規コンテンツ】
「チバニアン期の海」復元画ができるまで
フェアトレード：フェアトレードとはどんな活動ですか？
フェアトレード：フェアトレード商品ができるまで
フェアトレード：フェアトレードはどれだけ知られていますか？
フェアトレード：フェアトレードのこれから
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　松橋杏子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　杉山圭美さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　浦林貴子さんからのメッセージ
地球規模で考え、地域で活動する　―青年海外協力隊・環境教育分野の OB/OG たち
これからのバラの育種
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録　―北とつながる五つの物語―」第Ⅲ部　弥生再葬墓と地域交流(弥生時代)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録　―北とつながる五つの物語―」第Ⅳ部　房総から南東北へ　―人とモノの移動―(古墳時代)
令和2年度 千葉学講座　不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる　房総の川廻しトンネル
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録　―北とつながる五つの物語―」プロローグ
ダイオウイカ現る
巣から出入りするオオスズメバチ(千葉県立中央博物館 生態園)
アカメヤナギの柳絮(りゅうじょ)

コンテンツ名
海をまとう－万祝染のわざ－【新規コンテンツ】
フェアトレード：商品えらびで地球を考える(全体版)
フェアトレード：フェアトレード認証とは
フェアトレード：フェアトレードタウン
フェアトレード：フェアトレード商品はどこで買えますか？
フェアトレード：みなさんへのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　藤本亜子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　山口泰昌さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG　新堀春輔さんからのメッセージ
千葉県立中央図書館・中央博物館連携事業トークイベント「バラの図鑑ができるまで」
令和2年度千葉学講座　不思議ミステリー　房総丘陵の穴をさぐる　歴史秘話「印旛」(2)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録　―北とつながる五つの物語―」第Ⅴ部　―東北から房総へ(奈良・平安時代)―
令和2年度千葉学講座　不思議ミステリー　房総丘陵の穴をさぐる　歴史秘話「印旛」(1)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録　―北とつながる五つの物語―」第Ⅱ部　漁撈活動にみる地域間交流と地域性(縄文時代)
地質ジオラマの列車を動かします
よこすか登場
「房総富岳 36 景～カメラがとらえた千葉の魅力」　千葉県立中央博物館　トピックス展
房総の山のケモノ　ハクビシン

コンテンツ名
房総の山のケモノ　イタチ
昆虫標本　保管
昆虫標本　軟化
昆虫標本　展翅
昆虫標本　ラベル
昆虫標本　バッタ

コンテンツ名
昆虫標本　全体
昆虫標本　標本箱
昆虫標本　道具
昆虫標本　展足
昆虫標本　はりつけ
昆虫標本　トンボ

(5)デジタルミュージアムの公開

ア　本館

コンテンツ名
ふるさと千葉古写真デジタルアーカイブ【新規コンテンツ】
石灰岩生地衣類
地衣成分
日本の地衣類
チバニアン誕生
下総台地と周辺の貝化石
ノスタルジック・ポストカード
タネの大冒険
地衣類のタイプ標本
海岸生地衣類
房総の海の遊び
生態園の外来哺乳類
梵天にみる房総の出羽三山信仰
地衣類って何？
房総(千葉県)の地衣類誌
館蔵美術品紹介(絵画)
百年前の千葉県『日本博覧図』
中央博資料百選
樹木検索図鑑
房総ジオツアー
昆虫標本のつくり方
地域の音が出る地図
維管束植物標本百選
ネパールと東南アジアの蛾

コンテンツ名
世界のクジラ全種リスト
山の科学画・全展示図録
生態園の自然～生きもの写真記録
淡水生地衣類
音の標本箱
おばあちゃんの畑プロジェクト
ききみみコレクション
耳をたよりにプロジェクト
野草・雑草検索図鑑
房総の山のケモノ
花の植物画集
房総の植物誌づくりと中央博物館
千葉県の毒きのこ
空からみた千葉県(1987・88 年)
千葉県の滝－所在と成因
故・林辰雄氏撮影写真集
生態園植物歳時記
カラス大調査
カエル教室
浮世絵にみる江戸時代の園芸
房総のハチ世界のハチ
環境教育と千葉県
旅する地球の水

イ　大利根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

ウ　大多喜城分館

コンテンツ名
甲冑展
武具のデザイン

エ　分館海の博物館

コンテンツ名
磯の生きもの図鑑
館山の海底

コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑
勝浦探訪

3　マスコミ等の活用

マスコミ等を活用して、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1)本館

ア　記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	4 月 3 日(水)	房総半島沖の浦賀水道・相模湾から新種のアナエビ類を発見
	5 月 10 日(金)	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」
	5 月 30 日(木)	銚子市で市民が採集した岩石から世界初・バレミアン期の海水魚類の耳石化石を発見！

区分	発表日	内容
	7月 4 日(木)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」
	7月 19 日(金)	令和 6 年度第 1 回千葉県博物館協議会の開催について
	7月 23 日(火)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」オープニングイベントの開催について
	9月 18 日(水)	県立中央博物館の臨時休館について
	10 月 8 日(火)	秋の展示「二口善雄植物画展」
	10 月 11 日(金)	生態園トピックス展「生態園の地衣類」
	10 月 16 日(火)	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」
	10 月 25 日(金)	「自然誌フェスターみんなで楽しむ千葉の自然と歴史－」
	12 月 6 日(金)	トピックス展「十二支にちなんで－巳年－」
	1月 9 日(木)	令和 6 年度第 2 回千葉県博物館協議会の開催について
	1月 17 日(金)	トピックス展「神社の屋根より絵馬出いづる～富津市三柱神社の修復工事より～」
	1月 28 日(火)	交通分野で初の国登録有形民俗文化財に！ 利根川流域の繁栄を支えた水運の歴史を伝える川船資料
	1月 29 日(水)	博物館研究員が房総の魅力を語る！「千葉学講座－千葉県誕生 150 年 今までとこれから－」
	2月 18 日(火)	若狭湾と相模湾から新種テッポウエビ類の発見およびワカサムラサキエビの雄個体の記載
	2月 20 日(木)	県立中央博物館　春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの 35 年～」
	2月 26 日(水)	令和 6 年度第 3 回千葉県博物館協議会の開催について
知事定例会見	7月 5 日(木)	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」

イ　行事情報の発信　125 件

ウ　職員の取材対応
①　新聞・雑誌等　48 件
②　テレビ・ラジオ等 38 件

エ　メディア掲載実績
①　新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月 4 日(木)	日本経済新聞	新種のアナエビ類の発見について	駒井智幸
4月 11 日(木)	毎日新聞	新種のアナエビ類の発見について	駒井智幸
4月 12 日(金)	信濃毎日新聞	学校標本について	斎木健一
4月 18 日(木)	東京新聞	学校標本展について	斎木健一
4月 28 日(日)	千葉日報	赤いバッタについて	樽　宗一朗
4月 30 日(火)	千葉市環境協会 HP	本物の化石にさわってみようの案内	菊川照英
5月 4 日(土)	朝日新聞	利根川を利用した醤油輸送について	米谷　博
5月 11 日(土)	読売新聞	自身の研究について	駒井智幸
6月 4 日(火)	千葉日報	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	石井友菜
6月 5 日(水)	県民だより 6 月号	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	石井友菜
6月 8 日(土)	千葉日報社	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」(地域展)について	石井友菜
6月 11 日(火)	ぐるっと千葉 Web 版	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
6月 14 日(金)	福利ちば 6 月号	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
6月 16 日(日)	JAPAN TEXTILE NEWS	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	園部華与
6月 18 日(火)	東京新聞	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」(地域展)について	石井友菜
6月 20 日(木)	「千葉教育」蓮号	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
6月 21 日(金)	教育広報「夢気球」	千葉県内の県立博物館の案内	園部華与
6月 25 日(火)	千葉日報社	銚子市で発見された世界初の白亜紀バレミアン期の海生魚類の耳石について	伊左治鎭司
6月 30 日(日)	千葉日報社	「発掘された日本列島展」の見どころ解説記事 「地域展からオススメの遺物(遺跡)」	石井友菜
7月 1 日(月)	千葉日報社	「発掘された日本列島展」の見どころ解説記事 「地域展からオススメの遺物(遺跡)」	石井友菜
7月 3 日(水)	千葉日報社	「発掘された日本列島展」の見どころ解説記事 「地域展からオススメの遺物(遺跡)」	石井友菜
7月 18 日(木)	千葉日報	キツネのような生き物について	下稲葉さやか

掲載日	媒体名	内容	対応者
7月19日(金)	毎日新聞 1行展覧会情報	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	菊川照英
7月20日(土)	交通新聞社「散歩の達人」	常設展について	菊川照英
7月23日(火)	朝日新聞 美術館・博物館一覧	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	菊川照英
7月25日(木)	県教委ニュースVol.337	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
7月31日(水)	千葉経済新聞	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
8月 1日(木)	産経新聞	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
8月 7日(水)	千葉日報	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
8月16日(金)	読売新聞	令和6年度特別展「万祝博覧会」関連イベント、「万祝柄の暑中見舞い葉書を作ろう」	鈴木建人
8月17日(土)	千葉日報	ピンクのバッタについて	樽　宗一朗
9月15日(日)	公益社団法人日本愛玩動物協会「withPETs」	常設展について	菊川照英
9月15日(日)	東京新聞	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	玉井里奈
10月25日(金)	千葉日報	クロチクの開花について	天野　誠
11月13日(水)	大衆日報	トピックス展「近代文学を支えた寺田憲とその周辺」	米谷　博
11月21日(木)	毎日新聞	秋の季節展「二口善雄植物画展」について	御巫由紀
12月 3日(火)	朝日小学生新聞	カビについて	栃原行人
12月 6日(金)	朝日新聞	「深海生物の宝庫」魚やエビの新種、発見相次ぐ　羅臼の海でなぜ？	駒井智幸
12月12日(木)	茨城トヨタ自動車「nakama」vol.148	常設展について	菊川照英
1月 5日(日)	ちば民報	講座「房総の古墳」について	石井友菜
1月 9日(木)	東京新聞	令和6年度トピックス展「十二支にちなんで―巳年―」の取材	丸山啓志 鈴木建人
1月15日(水)	毎日新聞	毎日新聞の「十二支展」の紙面について	丸山啓志
1月21日(火)	京葉銀行情報誌「もっと知りたい！千葉のおもしろ博物館」	常設展について	菊川照英
1月25日(土)	千葉日報(・デジタル版)	利根川流域の川船について	米谷　博
1月31日(金)	読売新聞	利根川流域の川船について	榎　美香
3月13日(木)	千葉日報	春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの35年～」	西内李佳
3月28日(金)	読売新聞	春の展示「房総のミニチュア『生態園』～日本初エコロジー・パークの35年～」と、生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」	西内李佳
3月28日(金)	ちいき新聞	生態園展について	西内李佳

②　テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月20日(土)	NKKラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	ハルジオンとヒメジョオンについて	尾崎煙雄
5月25日(土)	NKKラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	ホオノキについて	尾崎煙雄
6月4日(火)	チバテレビ「ニュースチバ」	いすみ町で小学生が発見した八つ葉のクローバーについて	御巫由紀
6月8日(土)	bayfmラジオCM「サタデイ・ブレイシング・モーニング」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」について	石井友菜
6月11日(火)	チバテレビCM「ちば朝ライブ　モーニングこんぱす」番組内放送	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」について	石井友菜
6月11日(火)	NHKおはよう日本「イラスト解説　ここに注目」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」について	石井友菜

放送日	媒体名	内容	対応者
6月11日(火)	チバテレビ「チュバチュバワンダーランド」	印旛沼のナウマンゾウについて	丸山啓志
6月12日(水)	bayfm ラジオ CM「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	菊川照英
6月15日(土)～6月21日(金)	ジェイコム千葉セントラル「地元トピックス」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	石井友菜
6月20日(木)	チバテレビ「ニュースチバ」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	石井友菜
6月21日(金)	bayfm「ミンナノチカラ～CHIBA～」	文化庁合同特別展示「発掘された日本列島 2024」について	石井友菜
6月25日(火)	TBS テレビ「N スタ」	毒きのこオオシロカラカサタケについて	栃原行人
6月26日(水)	チバテレビ「ニュースチバ」	リュウゼツランについて	浅野紗彩
6月29日(土)	NKH ラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	アジサイについて	尾崎煙雄
7月5日(金)	NKH「首都圏ネットワーク」	梅の木台の素掘りトンネルについて	島立理子
7月20日(土)	bayfm ラジオ CM「サタデイ・ブレイシング・モーニング」	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
7月27日(土)	チバテレビ「ニュースチバ」	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
7月31日(水)	NHK「ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪」(再放送)	千葉県立中央博物館について	菊川照英
8月3日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	クサギについて	尾崎煙雄
8月6日(火)	NHK「ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪」(再放送)	千葉県立中央博物館について	菊川照英
8月10日(土)～8月16日(金)	ジェイコム千葉セントラル「地元トピックス」	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
8月26日(火)	bayfm ラジオ CM「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	特別展「万祝博覧会－海をまとう－」について	鈴木建人
9月 7日(土)	NHK ラジオ第 1「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	カヤについて	尾崎煙雄
10月 4日(金)	エフエム北海道「北川久仁子の brilliant days x F」	図鑑について	斎木健一
10月12日(土)	NHK ラジオ第 1「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	どんぐりについて	尾崎煙雄
10月22日(火)	NHK ラジオ第 1「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	どんぐりについて	尾崎煙雄
11月 2日(土)	コミュニティ FM 局「ボイスナビちば」	秋の展示「二口善雄植物画展」について	御巫由紀
11月 3日(日)	コミュニティ FM 局「ボイスナビちば」	秋の展示「二口善雄植物画展」について	御巫由紀
11月 8日(金)	bayfm「ミンナノチカラ～CHIBA～」	秋の展示「二口善雄植物画展」について	御巫由紀
11月16日(土)	NHK ラジオ第 1「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	ヤマノイモについて	尾崎煙雄
12月20日(土)	bayfm ラジオ CM「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	十二支にちなんで－巳年－	園部華与
12月21日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	メタセコイアについて	尾崎煙雄
1月25日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	イボタノキについて	尾崎煙雄

放送日	媒体名	内容	対応者
2月 2 日(日)	チバテレビ「ニュースチバ」	トピックス展「神社の屋根より絵馬出づる」、「利根川高瀬船フォトアルバム」及び「利根川中下流域の川船及び関連用具」の登録有形民俗文化財パネルについて	榎　美香
2月 3 日(月)	IVS テレビ制作株式会社「ネプリーグ」	クイズ番組で使用する貝の名称について	照屋清之介
2月 15 日(土)	J-COM「ジモト　トピックス」	トピックス展「神社の屋根より絵馬出づる」について	榎　美香
2月 26 日(水)	NHK・E テレ「ザ・バックヤード」内「その後のバックヤード」	「世界初！白亜紀バレミアン期の地層から海水魚類の耳石化石を発見！」について	伊左治鎭司 園部華与
3月 1 日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」内「いきもの☆いろいろ」コーナー	クロモジについて	尾崎煙雄

(2)大利根分館

ア　記者発表　0 件

イ　行事情報の発信　0 件

ウ　職員の取材対応
①　新聞・雑誌等　　2 件
②　テレビ・ラジオ等　1 件

エ　メディア掲載実績
①　新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
5月 1 日(水)	朝日新聞	利根川を利用した醤油輸送について	米谷　博
1月 21 日(土)	千葉日報	利根川流域の船について	米谷　博

②　テレビ・ラジオ等

掲載日	媒体名	内容	対応者
6月 8 日(土)	NHK World	佐原の町の成り立ちの歴史と江戸と利根川の関係について	米谷　博

(3)大多喜城分館

ア　記者発表　0 件

イ　行事情報の発信　0 件

ウ　職員の取材対応
①　新聞・雑誌等　　3 件
②　テレビ・ラジオ等　　10 件
※職員の映り込み等はないが、動画による外観撮影は 4 件あった。

エ　メディア掲載実績
①　新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
10 月上旬	中公ムック、歴史と人物	遠山金四郎景元の新説を紹介、遠山金四郎景元画像	村田憲一
10 月中旬～ 11 月中旬	NHK ホームページ	遠山金四郎景元特集番組の紹介、遠山金四郎景元画像	村田憲一
12 月中旬	千葉県誕生 150 周年記念誌	大河内正質・正敏の紹介、大河内正質・正敏写真	村田憲一

②　テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
5月 5 日(日)	東海 TV、東海のイイとこ教えて！ロンブー淳のスマホ旅	本多忠勝について、本多忠勝画像	村田憲一
5月 13 日(月)	NHK・E テレ、オハ！よ～いどん	本多忠勝について、本多忠勝画像	村田憲一
5月 19 日(日)	テレビ朝日、日曜マイチョイス	草花の説明、後三年合戦絵巻画像	村田憲一
7月中旬～2 年間	BS11、時代劇ヒーローたちの実像	遠山金四郎について、遠山金四郎景元画像	村田憲一
8月 13 日(火)	テレビ東京、開運！なんでも鑑定団	兜について、兎形変兜画像	村田憲一
9月 2 日(月)	テレビ朝日、クイズバラエティ Q さま！	本多忠勝について、本多忠勝画像	村田憲一
11 月 11 日(月)	NHK・E テレ、偉人の年収 How much？	遠山金四郎について、遠山金四郎景元画像	村田憲一

放送日	媒体名	内容	対応者
12 月 29 日(日)	BS4K、大江戸ルネサンスサミット 2025	遠山金四郎について、遠山金四郎景元画像	村田憲一
2 月 26 日(水)	テレビ朝日、じゅん散歩	遠山金四郎について、遠山金四郎景元画像	村田憲一
3 月 29 日(土)	テレビ朝日、サンドウィッチマン＆芦田愛菜の博士ちゃん、歴史を覆す！？戦国ヤバい説ランキング SP	本多忠勝について、本多忠勝画像	村田憲一

(4)分館海の博物館

ア　記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	6 月 28 日(金)	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」
資料提供	2 月 19 日(水)	マリンサイエンスギャラリー「超深海」開催

イ　行事情報の発信

（ア）行政、民間への定期広報　12 件

（イ）行政、民間への随時広報　自治体広報誌　6 件

新聞等　18 件

合計 36 件

ウ　職員の取材対応

①新聞・雑誌等　22 件

②テレビ・ラジオ等　8 件

エ メディア掲載実績

①　新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4 月 13 日(土)	いすみライフ 4 月号	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2－ノリの世界－」	松本光史
4 月 20 日(土)	房日新聞	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2－ノリの世界－」	菊地則雄
5 月 4 日(土)	房日新聞	南房総で確認されたケイマフリについて	平田和彦
5 月 11 日(土)	いすみライフ 5 月号	観察会「磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)」他	松本光史
6 月 6 日(木)	じゃらん家族旅行	海の博物館紹介	松本光史
7 月 5 日(金)	ちいき新聞	海の博物館紹介	松本光史
7 月 13 日(土)	いすみライフ 7 月号	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
8 月 4 日(日)	産経新聞	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
8 月 8 日(木)	房日新聞	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	菊地則雄
8 月 9 日(金)	びびなび	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
8 月 10 日(土)	いすみライフ 8 月号	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
8 月 11 日(日)	東京新聞	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
9 月 14 日(土)	いすみライフ 9 月号	海の体験コーナー「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」	松本光史
10 月 12 日(土)	いすみライフ 10 月号	博物館探検隊「標本庫ツアー」	松本光史
12 月 14 日(土)	いすみライフ 12 月号	海の体験コーナー「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」	松本光史
12 月 30 日(月)	光文社　新書	千葉県東京湾沿岸の干潟で食用にされていたイソギンチャクについて	柳　研介
1 月 11 日(土)	いすみライフ 1 月号	海の体験コーナー「コーラルプリントをしよう」	松本光史
1 月 30 日(木)	千葉教育	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	柳　研介
2 月 8 日(土)	いすみライフ 2 月号	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	松本光史
3 月 8 日(土)	いすみライフ 3 月号	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	松本光史
3 月 9 日(日)	産経新聞	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	柳　研介
3 月 11 日(火)	朝日新聞	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	柳　研介

②　テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
5 月 24 日(金)	TBS ラジオ	「金曜ボイスログ」海鳥について	平田和彦
6 月 14 日(金)	テレビ朝日	「グッド！モーニング」都心のビル街で繁殖するウミネコについて	平田和彦
7 月 12 日(金)	テレビ朝日	「羽鳥慎一モーニングショー」都心のビル街で繁殖するウミネコについて	平田和彦
7 月 15 日(月)	TBS テレビ	「Ｎスタ」都心のビル街で繁殖するウミネコについて	平田和彦
8 月 2 日(金)	チバテレビ	夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」	松本光史
8 月 22 日(木)	NHK・E テレ	キンチャクガニとイソギンチャクの関係について	柳　研介
8 月 25 日(日)	テレビ朝日	「ビートたけしのＴＶタックル」ビル街で繁殖するウミネコについて	平田和彦
2 月 22 日(土)	チバテレビ	マリンサイエンスギャラリー「超深海」	柳　研介

4　郵メンバー

郵メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度であり、令和6年度は25名の申込者に1回、「ゆうパケット」を利用して郵送した。

Ⅵ　施設維持保守

1　施設維持保守工事

本年度は、更新工事は行わなかった。

Ⅶ　千葉県立博物館ネットワーク

1　千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館情報システムは、博物館収蔵資料の管理を目的として平成 4 年度に供用開始した。これまで平成 9 年度、平成 13 年度、平成 18 年度、平成 23 年度、平成 29 年度にそれぞれシステムリプレースがあり、時代に応じた機能の追加や機器の更新等が行われてきた。平成 9 年度からは公式ウェブサイト「千葉の県立博物館」も公開している。

当館は千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括を行っている。令和 5 年度はシステムリプレースを行い、令和 6 年 3 月から新システムの稼働を開始した。今回の更新の主な変更点は、資料データベースおよびウェブサイトをクラウドシステムへ移行するとともに、運用管理システムを仮想化サーバに集約することで機密性、完全性、可用性を確保したことである。

令和 6 年度末の収蔵資料のシステム総登録件数は 573,750 件、インターネット公開件数は 484,660 件である。

2　千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」を会場とオンライン同時配信で実施した。千葉県立博物館ネットワークのセンター館である中央博が中心となり準備を進め、中央博物館を会場として 2 回開催した。

開催日時：令和 7 年 2 月 8 日(日)　13 時 30 分～15 時 50 分
会場：千葉県立中央博物館　講堂
参加人数：会場参加 20 名、オンライン参加 95 名
(1)「埋立地に新たな文化をつくるー「五十嵐靖晃　海風」の試みー」講師：千葉県立美術館　松田直子　研究員
(2)「県立高校の理科室に眠る昔の自然」講師：千葉県立中央博物館　斎木健一　主任上席研究員

開催日時：令和 7 年 2 月 22 日(日)　13 時 30 分～15 時 50 分
会場：千葉県立中央博物館　講堂
参加人数：会場参加 18 名、オンライン参加 90 名
(1)「千葉県の産業の歴史」講師：千葉県立現代産業科学館　井上翔太郎　研究員
(2)「「万祝」の昔と今　ー絵画・写真と史料からー」講師：千葉県立中央博物館　鈴木建人　研究員

Ⅷ　入館者状況

1　月別入館者数

※20 名以上のグループを団体とした

(1) 本館

ア　総入館者数（生態園入園者含む）

	開館日数	総入館者数	内訳		
			個人計	団体計	無料ゾーン※
4 月	25	7,430	7,271	103	56
5 月	27	7,371	6,711	216	444
6 月	26	8,672	7,792	648	232
7 月	25	8,439	7,380	521	538
8 月	29	9,589	8,896	184	509
9 月	25	6,944	6,246	488	210
10 月	21	6,926	5,055	1,806	65
11 月	26	11,133	8,597	2,473	63
12 月	22	5,233	4,265	834	134
1 月	23	7,068	5,926	837	305
2 月	24	10,317	9,202	772	343
3 月	26	9,155	8,661	413	81
合計	299	98,277	86,002	9,295	2,980
通算	10,775	5,506,696			

※無料ゾーンは、敷地内無料エリアで開催された講座等の参加者数

イ　個人（生態園入園者含む）

	個人計	有料合計	内訳		無料合計	内訳		
			一般	高・大		一般	高・大	中以下
4 月	7,271	1,599	1,503	96	5,672	4,708	0	964
5 月	6,711	1,794	1,672	122	4,917	4,044	1	872
6 月	7,792	2,020	1,859	161	5,772	4,763	29	980
7 月	7,380	2,383	2,210	173	4,997	3,678	93	1,226
8 月	8,896	3,178	2,860	318	5,718	3,611	12	2,095
9 月	6,246	1,984	1,837	147	4,262	3,175	0	1,087
10 月	5,055	1,138	1,094	44	3,917	3,278	1	638
11 月	8,597	1,462	1,332	130	7,135	6,187	25	923
12 月	4,265	838	779	59	3,427	2,886	11	530
1 月	5,926	1,348	1,273	75	4,578	3,880	0	698
2 月	9,202	2,033	1,913	120	7,169	6,047	2	1,120
3 月	8,661	1,960	1,823	137	6,701	5,527	12	1,162
合計	86,002	21,737	20,155	1,582	64,265	51,784	186	12,295

ウ　団体（生態園入園者含む）

	団体数	団体計	有料合計	内訳		無料合計	内訳		
				一般	高・大		一般	高・大	中以下
4 月	4	103	18	12	6	85	11	0	74
5 月	5	216	7	7	0	209	31	0	178
6 月	12	648	23	23	0	625	287	0	338
7 月	8	521	13	13	0	508	92	18	398
8 月	5	184	38	32	6	146	19	34	93
9 月	9	488	28	28	0	460	121	0	339
10 月	25	1,806	62	62	0	1,744	155	24	1,565
11 月	36	2,473	20	20	0	2,453	424	30	1,999
12 月	13	834	45	13	32	789	75	8	706
1 月	13	837	8	8	0	829	110	0	719
2 月	18	772	21	21	0	751	111	0	640
3 月	13	413	53	53	0	360	189	0	171
合計	161	9,295	336	292	44	8,959	1,625	114	7,220

エ　生態園（個人）

月	開館日数	合計
4月	25	3,670
5月	27	3,166
6月	26	2,639
7月	25	1,734
8月	26	1,850
9月	25	1,991
10月	21	2,402
11月	26	4,149
12月	22	2,260
1月	23	2,791
2月	24	4,589
3月	26	4,293
合計	296	35,534
通算	10,772	3,422,114

(2)大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3)大多喜城分館

ア　個人

	開館日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	5,773	5,773	0	0	0	5,773	5,773	0	0
5月	31	5,453	5,453	0	0	0	5,453	5,453	0	0
6月	30	3,847	3,847	0	0	0	3,847	3,847	0	0
7月	31	2,505	2,505	0	0	0	2,505	2,505	0	0
8月	31	4,206	4,206	0	0	0	4,206	4,206	0	0
9月	30	2,591	2,591	0	0	0	2,591	2,591	0	0
10月	31	3,816	3,816	0	0	0	3,816	3,816	0	0
11月	30	3,868	3,868	0	0	0	3,868	3,868	0	0
12月	31	3,024	3,024	0	0	0	3,024	3,024	0	0
1月	31	2,629	2,629	0	0	0	2,629	2,629	0	0
2月	28	2,820	2,820	0	0	0	2,820	2,820	0	0
3月	31	5,013	5,013	0	0	0	5,013	5,013	0	0
合計	365	45,545	45,545	0	0	0	45,545	45,545	0	0
通算	5,671	1,361,559	1,361,559							

イ　団体

	開館日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	0	0							
5月	31	0	0							
6月	30	0	0							
7月	31	0	0							
8月	31	0	0							
9月	30	0	0							
10月	31	0	0							
11月	30	0	0							
12月	31	0	0							
1月	31	0	0							
2月	28	0	0							
3月	31	0	0							
合計	365	0	0							
通算	5,671		96,773							

(4)分館海の博物館

ア　個人

	開館日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	3,715	3,715	1,969	1,867	102	1,746	877	5	864
5月	26	4,999	4,842	2,745	2,576	169	2,097	1,025	0	1,072
6月	26	4,275	3,381	1,758	1,675	83	1,623	948	18	657
7月	26	10,405	9,970	5,518	5,267	251	4,452	1,897	0	2,555
8月	26	19,108	18,737	10,299	9,409	890	8,438	3,282	16	5,140
9月	24	7,628	7,523	4,316	4,008	308	3,207	1,715	0	1,492
10月	27	4,503	4,321	2,394	2,247	147	1,927	1,205	13	709
11月	26	5,260	5,055	1,926	1,817	109	3,129	2,091	86	952
12月	21	2,485	2,409	1,291	1,210	81	1,118	698	1	419
1月	23	3,038	3,038	1,690	1,607	83	1,348	754	0	594
2月	24	5,289	5,171	2,995	2,740	255	2,176	1,224	0	952
3月	26	7,925	7,869	4,407	3,841	566	3,462	1,749	0	1,713
合計	300	78,630	76,031	41,308	38,264	3,044	34,723	17,465	139	17,119
通算		2,553,879	2,364,675							

イ　団体

	開館日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	26	2	157	11	8	3	146	6	0	140
6月	26	12	894	41	38	3	853	123	23	707
7月	26	11	435	73	42	31	362	79	0	283
8月	26	10	371	91	44	47	280	42	39	199
9月	24	3	105	32	30	2	73	31	38	4
10月	27	6	182	17	17	0	165	128	0	37
11月	26	4	205	134	15	119	71	71	0	0
12月	21	3	76	0	0	0	76	34	0	42
1月	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	24	4	118	12	12	0	106	47	0	59
3月	26	2	56	3	2	1	53	30	0	23
合計	300	57	2,599	414	208	206	2,185	591	100	1,494
通算			189,204							

2　団体入館状況

※20名以上のグループを団体とした

(1)本館(生態園を含む)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	2			20	4		2	15	16	3	5	1	2	70	42.2%
葛南				13	2		1		1	2	1			20	12.1%
東葛飾				10							1			11	6.6%
北総	1			12	2			2	1				2	20	12.1%
東上総				3						2	1		3	9	5.4%
南房総				6	2				3	1			6	18	10.8%
県外				7			1		1	2	1		5	17	10.7%
海外		1												1	0.6%
合計	3	1	0	71	10	0	4	17	22	10	9	1	18	166	
割合	1.8%	0.6%	0.0%	42.8%	6.0%	0.0%	2.4%	10.2%	13.3%	6.0%	5.4%	0.6%	10.8%	100%	

(2)大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3)大多喜城分館

団体の入館者なし。

(4)分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市										1			1	2	3.5
葛南		1							1					2	3.5
東葛飾												1		1	1.7
北総		1		1										2	3.5
東上総			4	4				1		1	1	1		12	21.1
南房総					1			1		3		4		9	15.8
県外		2	2	7	2					5	3	4	4	29	50.9
海外															
合計		4	6	12	3			2	1	10	4	10	5	57	
割合		7.0	10.6	21.1	5.3			3.5	1.7	17.5	7.0	17.5	8.8		

3　団体の種類・地域内訳

(1)本館(生態園を含む)

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市	2			20	4		2	15	16	3	5	1	2	70
葛南	市川市				2	1				1					4
	船橋市				5	1					2				8
	習志野市				5							1			6
	八千代市				1			1							2
	浦安市														
東葛飾	松戸市				2										2
	野田市														
	柏市				5										5
	流山市														
	我孫子市				2										2
	鎌ケ谷市				1							1			2
北総	銚子市														
	成田市				1										1
	佐倉市				2					1					3
	旭市				1										1
	四街道市	1			2	2			1						6
	八街市				1										1
	印西市				3				1					1	5
	白井市														
	富里市				1										1
	匝瑳市				1										1
	香取市													1	1
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
	多古町														
	東庄町														
東上総	茂原市				2						2				4
	東金市											1		1	2
	勝浦市														
	山武市														
	いすみ市													1	1
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町														
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町													1	1
	御宿町														
	大多喜町				1										1
	長生村														
南房総	館山市				1										1
	木更津市				1						1			4	6
	市原市				2	1				3					6
	鴨川市														
	君津市					1								1	2
	富津市				1									1	2
	袖ヶ浦市				1										1
	南房総市														
	鋸南町														
県外					7			1		1	2	1		5	17
海外			1												1
合計		3	1		71	10		4	17	22	10	9	1	18	166

都県/国名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				6			1		1	2	1		1	12
埼玉県				1									1	2
神奈川県													2	2
奈良県													1	1
台湾		1												1

(2)大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3)大多喜城分館
団体の入館者なし。

(4)分館海の博物館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市										1			1	2
葛南	市川市									1					1
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市		1												1
	浦安市														
東葛飾	松戸市														
	野田市														
	柏市												1		1
	流山市														
	我孫子市														
	鎌ケ谷市														
北総	銚子市														
	成田市														
	佐倉市		1		1										2
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市														
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
	多古町														
	東庄町														
東上総	茂原市												1		1
	東金市														
	勝浦市			1	3										4
	山武市														
	いすみ市			1	1							1			3
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町														
	長柄町														
	長南町			1											1
	睦沢町										1				1
	一宮町														
	御宿町														
	大多喜町			1					1						2
	長生村														
南房総	館山市														
	木更津市												1		1
	市原市										2				2
	鴨川市					1			1						2
	君津市										1		2		3
	富津市														
	袖ヶ浦市														
	南房総市												1		1
	鋸南町														
県外			2	2	7	2					5	3	4	4	29
海外															
合計			4	6	12	3			2	1	10	4	10	5	57

Ⅸ　組織・運営

1　千葉県博物館協議会

(1)協議会委員(任期：令和6年12月1日～令和8年11月30日)

分野	氏名	役職名
学校教育	齋藤智子	栄町立安食台小学校 校長
社会教育	布施利之	君津市教育委員会 生涯学習文化課 副課長
家庭教育	卯木伊津美	千葉県子ども会育成連合会 副会長
学識経験者	湯浅治久	専修大学文学部 教授
学識経験者	関沢まゆみ	国立歴史民俗博物館 教授
学識経験者	鴻野わか菜	早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部　教授
学識経験者	細矢　剛	国立科学博物館植物研究部 部長
学識経験者	髙橋　正	東邦大学 名誉教授
学識経験者	綱島浩三	NHK 千葉放送局 局長
学識経験者	門脇伊知郎	合同会社わんぱく 代表

(2)議題

月日	議　　題	場所
8月 2 日(金)	千葉県立美術館・博物館の令和7年度の事業計画について	中央博物館　会議室
1月 24 日(金)	千葉県立美術館・博物館5館の連携と新たな取り組みについて	中央博物館　会議室
3月 11 日(火)	各館の令和6年度の活動について 千葉県立美術館・中央博物館実施計画策定の進捗状況について	中央博物館　会議室

2　職員

(　)内は研究分野／〔兼※〕は環境生活部文化振興課、〔兼※※〕は環境生活部自然保護課生物多様性センター兼務

館　　長　稲村　弥
副　館　長　田中一成
副　館　長　小田島高之(地理学)

管理部

管　理　部　長　石塚春美

【管理課】

管　理　課　長　石塚春美
副　主　幹　柳原清一
副　主　査　長谷久夫
副　主　査　遠藤翔平〔兼※〕
主　　事　吉村　誠
主　　事　友田朱香
主　　事　川村智紘
主　　事　手塚美也
会計年度任用職員(その他)　金子まどか・塩地明子・井上久徳

【企画調整課】

企画調整課長　伊左治鎭司(古生物学)
副　主　査　水野大樹〔兼※〕(植物生態学)
上席研究員　石渡克彦(学校教育史・博物館学)
上席研究員　山本伸子(植物分類学)
研　究　員　菊川照英(地質学・層序学)
研　究　員　鈴木建人(日本神道史)
研　究　員　園部華与(日本中世史)

事業部

事　業　部　長　島立理子(民俗学・日本近代史)

【教育普及課】

教育普及課長　大木淳一(地質学)
副　主　査　林田嗣朗
主任上席研究員　幅　大（日本近代美術史・博物館学)
上席研究員　小林裕美(民俗学)
上席研究員　尾崎煙雄(森林生態学)
研　究　員　髙橋一真(博学連携)
研　究　員　栗田隆気(爬虫・両生類学)
研　究　員　須田華那(日本近世史)
研　究　員　小田谷嘉弥(鳥類学・動物生態学)
研　究　員　栃原行人(菌類系統分類学)
会計年度任用職員(体験交流員)　柳原亜矢子
会計年度任用職員(体験交流員)　阿部真理子
会計年度任用職員(体験交流員)　須藤大雅

【地域連携課】

地域連携課長　駒井智幸(動物分類学-甲殻類)
主任上席研究員　奥田昌明(第四紀地質学)
主任上席研究員　斎木健一(植物学・理科教育)
上席研究員　原田　浩(地衣類分類学)
上席研究員　高橋直樹(地質学・岩石学)
研　究　員　下稲葉さやか〔兼※※〕(哺乳類学)
研　究　員　石井友菜(日本考古学・古墳時代)
研　究　員　樽　宗一朗(昆虫分類学)
研　究　員　小川宏和(日本古代史 飛鳥・奈良・平安時代)

【展示課】

展示課長　御巫由紀(植物分類学)
主任上席研究員　宮　正樹(分子生態学・系統学)
上席研究員　林　紀男(微生物生態学)
研　究　員　西内李佳(植生史学)
研　究　員　丸山啓志(古生物学)
研　究　員　大津千晶(植物生態学)
研　究　員　照屋清之介(貝類学)
研　究　員　玉井里奈(日本民俗学)
研　究　員　山中　蛍(自然地理学・変動地形学・古地震学)

【資料管理課】

資料管理課長　榎　美香(日本民俗学・民具学)
主任上席研究員　友田暁子(図書資料論)
主任上席研究員　萩野康則(動物分類学(エダヒゲムシ類))
上席研究員　天野　誠(植物分類学(細胞分類学))
研　究　員　後藤　亮(魚類学)
研　究　員　小出麻友美(日本中世史)
研　究　員　千葉友樹(古生態学・堆積学)
研　究　員　浅野紗彩(植物保全・植物分類学)
研　究　員　小林大純(動物分類学・生態学-魚類)
主　　事　名越初音

【大利根分館】
主任上席研究員　米谷　博(日本近世史)
研　究　員　渡瀬綾乃(日本民俗学)
【大多喜城分館】
上 席 研 究 員　高橋　覚(日本近世史・博物館学)
上 席 研 究 員　村田憲一(日本古代史・日本仏教史)

研究部
研 究 部 長　島立理子(民俗学・日本近代史)
【研究課】
研 究 課 長　伊左治鎭司(古生物学)
主任上席研究員　加藤久佳(古生物学)
研　究　員　坂田歩美(地衣類分類学)

分館海の博物館
分　館　長　乃一哲久(魚類学・水産学)
主任上席研究員　川瀬裕司(魚類生態学)
主任上席研究員　奥野淳兒(動物分類学-甲殻類)
主任上席研究員　菊地則雄(藻類学)
主任上席研究員　柳　研介(動物分類学)
主任上席研究員　立川浩之(海洋生物学)
上 席 研 究 員　松本光史(博学連携)
研　究　員　平田和彦(海洋生態学・行動生態学)
副 主 幹　鈴木徳美
主　事　角田竜太郎
会計年度任用職員(体験交流員)　金子美織
会計年度任用職員(体験交流員)　原　礼
会計年度任用職員(その他)　浅野光春

3 分掌

(1)管理部
管　理　課　・庶務、会計、施設管理に関すること
企画調整課　・館事業の企画運営、評価事業に関すること
・博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること
・報道、広報に関すること

(2)事業部
教育普及課　・教育普及、学校教育等との連携、本館施設利用・来館者対応に関すること
・生態園の運営・維持管理に関すること
・「体験学習室」の維持管理に関すること
地域連携課　・館外活動(生態園以外)、フィールド・ミュージアムに関すること
・地域連携、市町村等への支援に関すること
・千葉県博物館協会の事務、県立博物館合同企画事業に関すること
展　示　課　・展示室および生態園の維持管理に関すること
・展示の開催調整及び事務等に関すること
・展示技術の研究に関すること
資料管理課　・博物館資料・の管理・活用、収蔵庫の維持管理・運営に関すること
・県立博物館情報システムの管理に関すること
・図書資料等の管理に関すること
大利根分館　・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること
大多喜城分館　・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること

(3)研究部
研　究　課　・博物館資料の収集活動や研究活動の推進及び調整に関すること
・研究倫理教育、市民研究員等の活動推進に関すること

(4)分館海の博物館　・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
・分館海の博物館の博物館事業に関すること

4 運営推進チーム・委員会・研究グループ・プロジェクトチーム

複数の組織にまたがる業務は、各課科職員により構成された以下のチーム、委員会及びグループにより、企画運営を行った。
・委員会　資料管理委員会／資料審査委員会／衛生委員会
・研究グループ　地学／生物学（動物）／生物学（植物・菌類）／人文科学／博物館学
・プロジェクトチーム　機能強化／情報システム／映像記録／特別展、季節展チーム

5 利用方法

■開館時間・休館日
(1)本館
ア 開館時間　午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
(令和6年6月22日(土)、7月6日(土)、8月17日(土)　午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで))
イ 休 館 日　毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌平日が休館)
年末年始(令和6年12月27日～令和7年1月4日)
※令和6年度実施
臨時開館日　令和5年8月5日(月)、8月13日(火)、8月19日(月)
(本館のみ開館、生態園は休園)
臨時休館日　令和6年7月23日(火)、10月1日(火)～10月6日(日)
(メンテナンス作業のため、本館・生態園とも)

(2)大利根分館
本館への機能集約のため、令和4年6月20日より休館

(3)大多喜城分館
ア　開館時間　(研修館のみ)午前9時～午後4時
イ　休　館　日　(研修館)なし

(4)分館海の博物館
ア　開館時間　午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
イ　休　館　日　毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌平日が休館)
年末年始(令和6年12月28日～令和7年1月4日)
※令和6年度実施
臨時休館日　令和6年5月8日(水)、8月16日(金)、9月3日(火)、12月10日(火)～11日(水)
(メンテナンス作業のため。8月16日(金)は台風による。)

■入場料

	本館						分館海の博物館	
	通常期間		文化庁合同特別展示		特別展期間		通常期間・企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一　般	300円	240円	600円	480円	800円	640円	200円	160円
高校生・大学生	150円	120円	300円	240円	400円	320円	100円	80円

※団体は20名以上
※65歳以上の者、小・中学生以下の者、障害者(身体障害者、知的障害者又は精神障害者及び、これらの者を介護する者)は無料
※6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)は入場無料
※生態園は入場無料

■年間パスポート

	本館			分館海の博物館
	料　金	文化庁合同特別展示追加料金	特別展追加料金	料　金
一　般	1,500円	300円	500円	1,000円
高校生・大学生	750円	150円	250円	500円

■所在地
千葉県立中央博物館(本館・生態園、フィールド・ミュージアム連絡先)
〒260-8682　千葉市中央区青葉町955-2
電　話 043-265-3111　　FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館
〒287-0816　香取市佐原ハ4500
電　話 0478-56-0101　　FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館
〒298-0216　夷隅郡大多喜町大多喜481
電　話 0470-82-3007　　FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242　勝浦市吉尾123
電　話 0470-76-1133　　FAX 0470-76-1821

千葉県立中央博物館年報37
（令和6年度版）

編集・発行　　千葉県立中央博物館
〒260-8682　千葉市中央区青葉町955-2
電　話 043-265-3111　FAX 043-266-2481
https://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/

発　行　日　　令和 7年 11月 11日